

令和7年版

# 消防年報



令和7年8月 秋田県総合防災訓練  
(鹿角市・小坂町)



令和8年刊行

鹿角広域行政組合消防本部

当消防本部では令和5年1月1日より新しい情報発信元としてSNS運用を開始しています。SNSは発信力が強く、多くの人目に留まりやすいことから、様々な広報活動を行う上で効果的だと考えました。SNSを利用し鹿角圏域住民をはじめ多くの方々に当消防本部が主催、または参加する行事等の情報を発信します。

表紙の「 Instagram 」「 Facebook 」のQRコード又は鹿角広域行政組合消防本部ホームページのQRコードからご覧になれます。

# は し が き

1. この年報は、消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化のための資料とし、併せて火災の実態や消防、救急活動の現状等を広く一般に紹介して消防行政に対する理解を深めるとともに、住民の防火意識の高揚を図るため作成した。
2. 本書の内容中、予算関係及び人事関係については会計年度とし、その他のものは原則として暦年としたが、年月日を明示したものは、その時点での現況である。

令和8年4月

鹿角広域行政組合消防本部

# 目 次

鹿角広域行政組合圏の位置及び地勢	1
鹿角広域行政組合圏域図	2
管内の面積・人口・世帯数	3
消防の沿革	4 ～ 11
受章記録	12 ～ 13

## 【総 務】

歴代管理者・副管理者・消防長・署長一覧表	14
鹿角広域行政組合消防本部組織図/消防職員配置状況	15
消防本部事務分掌	16 ～ 17
消防署事務分掌	17
消防庁舎の概要	18 ～ 19
消防職員勤務年数表/消防職員階級別年齢表/消防吏員年齢別階級分布図	20
消防費分類表	21
消防職員免許所持状況	22
消防職員学校教育派遣状況	23

## 【施 設】

消防車両等一覧表	24 ～ 26
消防車両の使用経過年数状況	27
消防水利状況	28
水防倉庫所在地一覧/水防倉庫資材状況	29

## 【予 防】

防火対象物及び立入検査状況	30
危険物製造所等の立入検査状況/消防法令等による許可申請等の状況	31
建築同意状況	32
防火対象物定期点検報告制度状況/表示マーク交付状況	33
住宅用火災警報器設置調査状況	33
過去5年間の火災原因	34
月別火災状況	35
鹿角広域行政組合発足以降の火災状況	36
幼少年婦人防火クラブ加入団体/活動状況	37

## 【救 急】

救急出動状況/救急小隊別出動内訳	38
バイスタンダーによる応急手当・救命処置数	38
月別救急活動状況調	39
月別事故種別救急出動状況調/事故種別救急出動件数の推移	40
年別・曜日別出動状況/事故種別・時間別・傷病者搬送状況	41
事故種別・年齢別・傷病者搬送状況/急病にかかわる疾病別搬送人員調べ	42
事故種別・地域別出動状況	43
救急蘇生指標/特定行為実施件数	44
救急救命士による救命処置領域人数/ドクターヘリ要請事案件数調	45
各種実習・研修等/救急に関する職員免許・資格所持状況	45

## 【警防・救助】

安全管理及び指揮体制	46
警防活動状況	47
各種訓練状況	48
救助体制/救助器具保有状況	49 ~ 50
救助訓練状況	50
緊急消防援助隊出動履歴	51
緊急消防援助隊秋田県隊登録車両	52
緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練出動開催地	52

## 【通信】

気象状況・極値	53
過去10年間の気象の推移/気象観測開始からの気象極値	54
119番・専用回線着信状況/災害情報配信システム(メール配信)登録状況	55
消防緊急通信指令施設等の機器構成	56
通信設備状況	57
ドクターヘリ要請状況	58

## 【消防団】

消防団装備・階級別実員	59
鹿角市消防団組織図	60
鹿角市消防団管轄区域/鹿角市消防団員階級別報酬及び諸手当	61
小坂町消防団組織図/小坂町消防団管轄区域	62
小坂町消防団員階級別報酬及び諸手当	62
消防本部と消防団との安全管理体制	63
秋田県消防操法(訓練)大会成績	64 ~ 65

## 【災害記録】

災害記録	66 ~ 73
------	---------

## 鹿角広域行政組合圏の位置及び地勢

この圏域は、北東北三県（青森・秋田・岩手）のほぼ中央、秋田県の北東部、奥羽山脈を形成する鹿角盆地に位置し、南は八幡平、北は十和田湖の国立公園を控え、これに連なる緑の山々と清れつな河川に恵まれ、その自然の豊かさは「青垣山をめぐらす鹿角」の言葉で象徴されています。

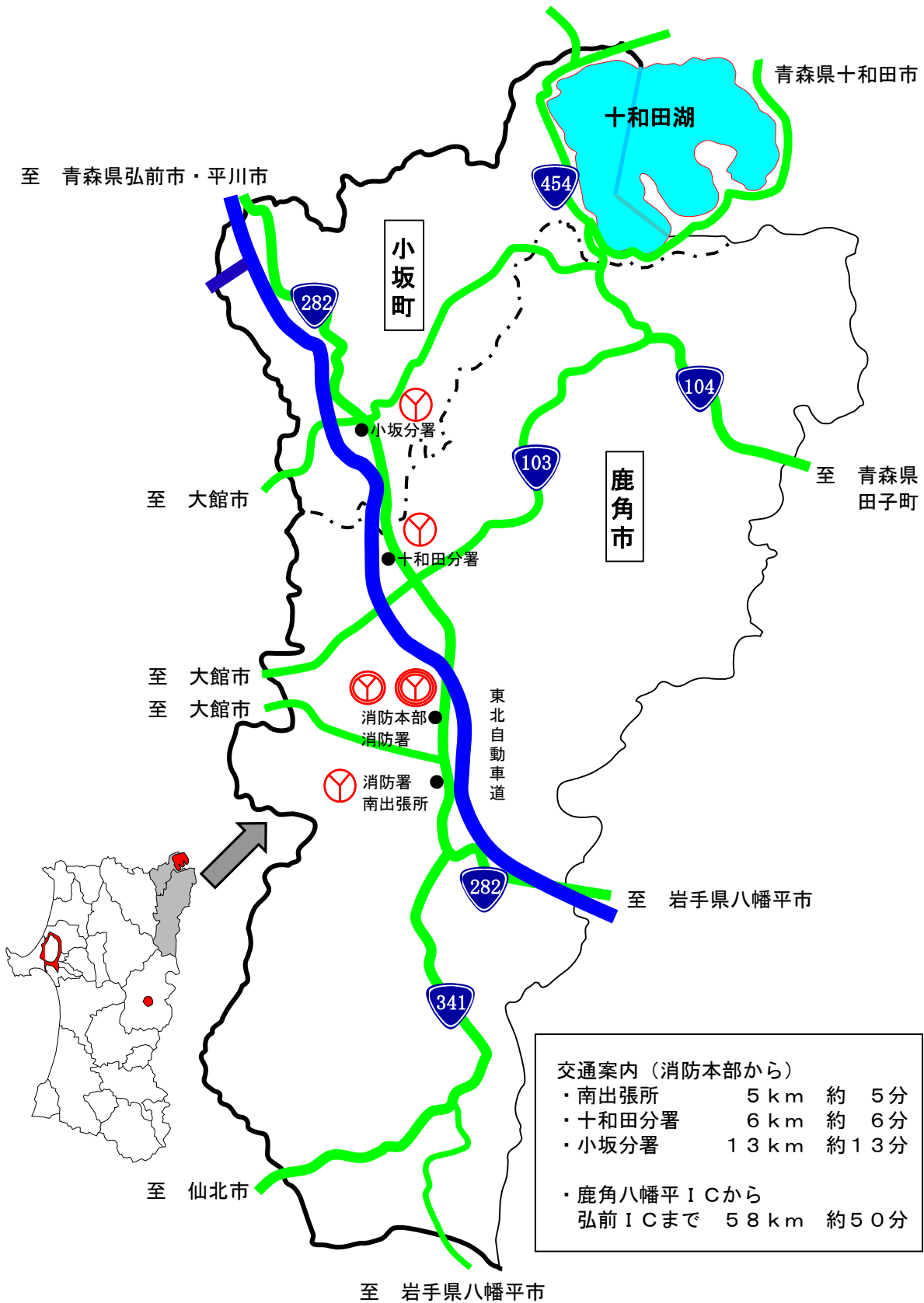
総面積は909.22km<sup>2</sup>で、秋田県の総面積(11,637.54km<sup>2</sup>)の約7.8%にあたる広さをもっています。そして、鹿角盆地の中央部を貫流する米代川を本流として、小坂川、大湯川、熊沢川などの河川が流れ河岸や台地に花輪、毛馬内などの市街地が開け、田園や畑地には大小の集落が点在しており、その周りは広大な山地で平坦地の少ない地勢となっています。

気候は盆地型に属し、年間を通じて昼夜間の気温の差が大きく、平均気温は10℃前後、降水量は年間約1,400mm程度であり、積雪は平坦地で約80cm、積雪期間は12月から3月までです。

国立公園十和田八幡平を擁する圏内を東北自動車道が南北に通じ「鹿角八幡平」「十和田」「小坂」の三つのインターチェンジにより、青森、弘前、八戸、盛岡などの各都市とは1時間経済圏となっています。また、秋田自動車道と東北自動車道を接続するため、小坂町濁川地内に小坂ジャンクションと小坂北インターチェンジが開設されました。

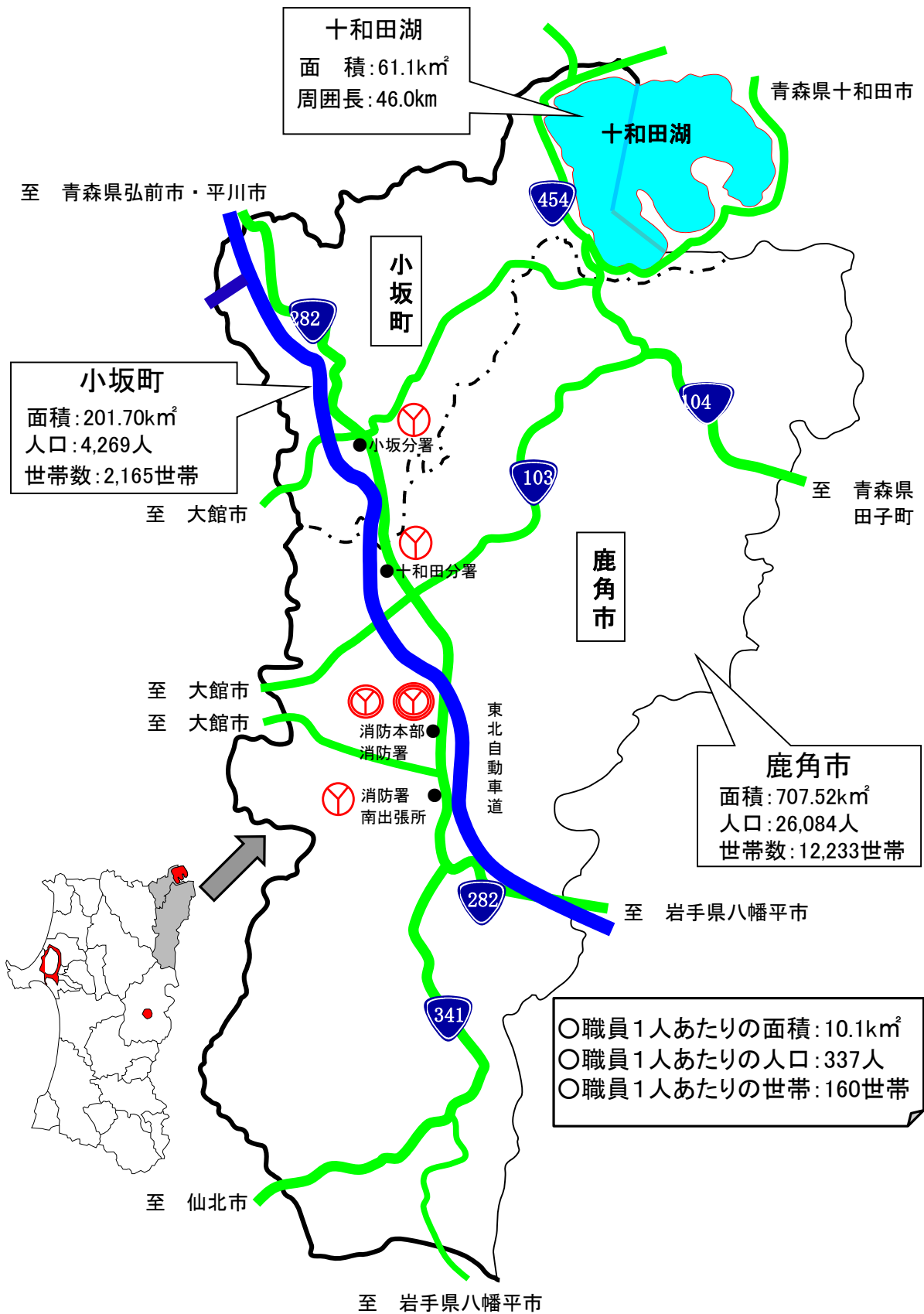
東北新幹線、あきた北空港と相まって首都圏との所要時間が大幅に短縮されたことから、自然をはじめとする豊富な資源を生かし、県内はもとより、北東北でも有数の観光地として21世紀での産業、観光面の発展が期待されています。

# 鹿角広域行政組合圏域図



# 管内の面積・人口・世帯数

令和8年4月1日現在



## 消防の沿革

年 月	事 項
明治23年 4月	鹿角郡内に消防組が創設される。
明治23年 5月	花輪町消防組創設される。(2部制で120名の組織)
明治26年以前	私立消防組である小坂鉦山消防隊創設される。 (明治44年当時2部制で消防夫は300名)
明治28年 9月	毛馬内消防組創設される。(2部制で81名の組織)
明治42年 9月	小坂村消防組創設される。(2部制で95名の組織)
昭和12年 4月	毛馬内消防組、消防ポンプ自動車(ダッジブラザーズ)1台購入配備する。 鹿角市消防団第12分団(旧毛馬内1分団)が記念保存。
昭和23年 7月	消防団令公布となる。警防団は改組し消防団となる。
昭和29年 7月	花輪町消防団常備部が設置される。 小坂町と七滝村が合併し、新小坂町が発足する。
昭和30年 4月	花輪町消防団常備部を廃止し、花輪町消防本部及び消防署が設置される。 小坂町消防団初代団長に小笠原省吾氏就任。
昭和34年 4月	小坂町消防団長に山内二郎氏就任。
昭和36年10月	花輪町消防庁舎を新築。(鹿角市消防団第1分団、旧花輪第1分団第2部器具置き場)
昭和39年 4月	小坂町消防団に常備部が設置される。
昭和40年12月	花輪町消防署救急業務開始。
昭和45年 4月	十和田町消防団に常備部が設置される。
昭和46年 4月	小坂町消防団長に多田弘氏就任。
昭和47年 4月	花輪町、十和田町、尾去沢町、八幡平村の4箇町村が合併し鹿角市が誕生。 鹿角市消防本部及び消防署を設置し発足する。 鹿角市消防長事務取扱に鹿角市長阿部新氏就任。 暫定措置として、消防団組織を当分の間、「鹿角市連合消防団」として発足する。 (4団、花輪、十和田、尾去沢、八幡平、39箇分団、定員1,132名) 鹿角市連合消防団長に大里文雄氏就任。 小坂町消防団長に山崎文夫氏就任。
昭和48年 4月	鹿角市消防長に石木田芳郎氏就任。
昭和49年 5月	鹿角市花輪字高井田64番地2に消防本部・署庁舎新築移転、業務開始。
昭和49年11月	ポンプ車1台(日本損害保険協会)が寄贈され、消防署に配備する。
昭和50年 5月	鹿角市十和田毛馬内字上陣場74番地1に消防署十和田分署庁舎新築移転、業務開始。
昭和50年 8月	第28回全県消防大会を鹿角市で開催。
昭和50年 9月	鹿角市消防本部救助隊を設置する。
昭和50年12月	救急車(2B型)1台(秋田県農業共済組合)が寄贈され、十和田分署へ配備する。
昭和51年 9月	救急車(2B型)1台(財団法人日本消防協会)が寄贈され、消防署へ配備する。 秋田県総合防災訓練を鹿角市で開催。
昭和54年 9月	鹿角市連合消防団長に関富治氏就任。 鹿角市連合消防団(17箇分団39部制)が統合し、鹿角市消防団として発足する。(消防団員定員1,150人)
昭和55年 2月	消防署八幡平分駐所(第7分団、旧八幡平第1分団第1部番屋、一部改築)を設置、職員(機関員)を派遣し、業務開始。
昭和56年 4月	鹿角市消防長に泉谷金悦氏就任。

## 消防の沿革

年 月	事 項
昭和56年10月	救急車（2B型）1台（財団法人日本消防協会）が寄贈され、消防署へ配備する。
昭和57年 4月	鹿角市消防長に奈良喜三郎氏就任。
昭和57年 9月	鹿角市少年婦人防火委員会発足。
昭和58年10月	東北自動車道鹿角八幡平IC開通。 盛岡地区広域行政事務組合と東北自動車道消防相互応援協定を締結。
昭和59年 1月	救助工作車を購入し、消防署に配備する。
昭和59年 5月	鹿角市消防長に山崎寛二氏就任。
昭和59年 7月	第37回秋田県消防大会を鹿角市で開催。
昭和59年 9月	東北自動車道十和田IC開通。
昭和60年 2月	化学車を購入し、消防署に配備する。
昭和60年 5月	全国消防長会法制委員会を鹿角市で開催。
昭和60年 8月	秋田県総合防災訓練を鹿角市で開催。
昭和61年 1月	鹿角市・小坂町が救急に関する覚書締結。
昭和61年 5月	弘前地区消防事務組合・小坂町と東北自動車道消防相互応援協定を締結。
昭和61年 6月	東日本高速道路(株)（旧日本道路公団）と消防無線設備に関する確認書を締結。
昭和61年 7月	東日本高速道路(株)（旧日本道路公団）と東北自動車道安代IC～碓ヶ関ICの覚書を締結。東北自動車道の全線開通に先駆けて坂梨トンネルの総合防災訓練を実施する。
昭和62年 6月	鹿角市消防団再編成計画策定される。
昭和62年 7月	東北自動車道全線開通後、弘前地区消防事務組合・小坂町と坂梨トンネル夜間総合防災訓練を実施する。
昭和63年 2月	鹿角市緊急通報システム業務開始。（一人暮らし老人等世帯）
昭和63年 7月	鹿角市消防長に阿部貫雄氏就任。
昭和63年10月	第11回全国消防操法大会に鹿角市消防団第14分団（旧十和田錦木第1分団第3部）が出演し、準優勝する。
平成元年 4月	鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の改正により消防団員の定員1,030人。
平成元年 9月	各防災関係機関及び医療機関による集団救急災害対策訓練を実施する。 財団法人全国消防協会東北地区支部予防広報講習を鹿角市で開催。
平成元年10月	鹿角市・小坂町の東北自動車道消防相互応援協定を締結。 鹿角市・小坂町の消防相互応援協定を締結。
平成 2年 4月	幼年消防クラブが結成、鹿角市幼少年婦人防火委員会となる。 鹿角市消防団第1分団（旧花輪第1分団）の部を統合し、4部から2部となる。（消防団再編成 17分団38部）
平成 2年10月	東北自動車道小坂IC開通。小坂町消防団常備部で救急業務を開始。
平成 3年 2月	救急車（2B型）4WD1台（秋田県経済連農業協同組合連合会）が寄贈され、消防署へ配備する。
平成 3年 4月	鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の改正により消防団員の定員930人。 鹿角市消防長に杉澤誠志郎氏就任。
平成 3年 9月	小型動力ポンプ付積載車1台（財団法人日本消防協会）が寄贈され、鹿角市消防団第8分団（旧八幡平第2分団第2部、長牛）へ配備する。
平成 3年10月	平成3年度鹿角市総合防災訓練を花輪地区大町で実施する。

## 消防の沿革

年 月	事 項
平成 4年 4月	鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の改正により消防団員の定員 892 人。 鹿角市消防長に阿部菊美氏就任。
平成 5年 1月	鹿角市消防出初式を花輪地区大町に会場を変更して開催。
平成 5年 7月	第 46 回秋田県消防大会を鹿角市で開催。
平成 5年 8月	湯瀬温泉地区自主防災組織が八幡平湯瀬で総合防災訓練を実施する。
平成 6年 4月	鹿角市消防長に大里博志氏就任。
平成 6年 6月	鹿角市と小坂町との一部事務組合に消防・救急業務を加えた広域行政組合が発足、鹿角広域行政組合消防本部として消防職員定数 98 名で平成 6 年 6 月 1 日より業務を開始する。 鹿角広域行政組合消防救助隊を設置する。 青森県十和田地区消防事務組合と消防応援協定を締結。 鹿角広域行政組合消防長に大里博志氏就任。
平成 6年 9月	秋田県総合防災訓練を鹿角市で開催。
平成 6年11月	小坂町総合防災訓練を実施。
平成 7年 4月	鹿角広域行政組合消防長に佐藤一彦氏就任。
平成 7年 6月	財団法人日本防火協会と財団法人自治総合センターから、視聴覚資機材を搭載した『宝くじ号・防火広報車』1 台寄贈され、消防署に配備する。
平成 7年 8月	平成 7 年度鹿角市総合防災訓練を十和田毛馬内地区で実施する。
平成 7年 9月	鹿角市消防団長に菅原徳弥氏就任。
平成 8年 1月	秋田県緊急消防援助隊発足。秋田県消火部隊・化学消火部隊として登録する。
平成 8年 8月	平成 8 年度鹿角市総合防災訓練を尾去沢地区で実施する。
平成 8年11月	救急車（2B 型）4WD 1 台を購入し、十和田分署へ配備する。
平成 9年 3月	救急車（2B 型）4WD 1 台（秋田県経済連農業協同組合連合会）が寄贈され、消防署へ配備する。
平成 9年 4月	鹿角広域行政組合消防長に大里勲氏就任。
平成 9年11月	消防署通信指令台を更新する。
平成10年 3月	鹿角郡小坂町小坂字中前田 68 番地 1 に消防署小坂分署新築移転し、業務を開始する。
平成10年 8月	平成 10 年度鹿角市総合防災訓練を八幡平地区で実施する。
平成10年12月	小坂町消防団長に多田勝一氏就任。
平成11年 4月	消防職員の勤務体制を 2 部制から 3 部制へ移行する。 高規格救急車を配置し、救急救命士が搭乗し運用を開始する。 鹿角市消防団第 2 分団（旧花輪 2 分団）が消防団再編成により分離し、1 部制から 2 部制に再編する。
平成11年 5月	地震災害対策訓練を実施する。
平成11年 8月	平成 11 年度鹿角市総合防災訓練を大湯地区で実施する。（秋田県消防航空隊参加）
平成12年 4月	鹿角広域行政組合消防長に児玉弘志氏就任。
平成12年 8月	平成 12 年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練が秋田市新屋旧空港跡地で開催され、秋田県消火部隊として訓練参加する。
平成12年10月	小坂町総合防災訓練を実施する。
平成13年 3月	小坂町消防団長に本田隆爾氏就任。
平成13年10月	消防署十和田分署のポンプ車を水槽付消防ポンプ自動車（4WD）へ更新配備する。 消防署小坂分署に高規格救急車を配備し運用を開始する。また、それまで運用していた救急車（2B 型）4WD 1 台を秋田県消防学校へ寄贈する。

## 消防の沿革

年 月	事 項
平成14年 3月	秋田県緊急消防援助隊部隊に救助隊を追加登録する。
平成14年 7月	第55回秋田県消防大会を鹿角市で開催予定であったが、大雨の為中止となる。
平成15年 2月	消防署の救助工作車を更新配備する。
平成15年 3月	財団法人日本消防協会より『消防団指揮広報車』を寄贈され、鹿角市消防団本部へ配備する。
平成15年 4月	鹿角市消防団長に米沢将之助氏就任。
平成15年 8月	秋田県消防操法大会ポンプ車操法の部において、小坂町消防団第4分団万谷班が優勝。
平成15年 9月	秋田県総合防災訓練を鹿角市で開催。
平成16年 4月	鹿角広域行政組合消防長に齊藤寛樹氏就任。
平成16年 6月	消防署広報車を更新配備する。
平成17年 1月	消防署ポンプ1号車を水槽付消防ポンプ自動車（CD-II）へ更新配備する。
平成17年 4月	鹿角市消防団十和田地区毛馬内、錦木、大湯の各分団を十和田第1分団から第6分団へ名称を改訂する。
平成18年 4月	国道282号錦木バイパス開通に伴い、火災・救急の出場区分の見直しをする。 消防本部消防行財政改革により、消防署八幡平分駐所を消防署へ統合する。 「災害情報配信システム」によるメール配信サービスの運用を開始する。
平成19年 2月	消防署十和田分署の救急車（2B型）を高規格救急車（4WD）へ更新配備する。
平成19年 4月	鹿角広域行政組合消防長に田中孝夫氏就任。 消防長の階級を消防組織法の基準に基づき改正。 鹿角市消防団長に柳澤誠氏就任。 消防団規則改正。鹿角市消防団名称を一連番号に変更。 （鹿角市消防団第1分団～第17分団） 鹿角市消防団「市民を守る魅力ある消防団づくり」基本計画を策定。 秋田県初となる機能別団員の導入、協力事業所として3社が登録される。 鹿角市初の女性消防団員が誕生する。
平成19年 8月	消防署十和田分署に共動車両として、鹿角市消防団第12分団第1部（旧十和田第1分団第1部）の積載車を配備する。
平成19年10月	消防署の指令車を指揮車へ更新配備する。
平成20年 1月	消防署の救急2号車（2B型）を高規格救急車へ更新配備する。これにより、鹿角広域管内の救急車が全車両、高規格救急車になる。 消防署の化学車を災害対応特殊化学消防ポンプ自動車として更新配備する。 （圧縮空気泡消火装置：CAFS搭載型）
平成20年 3月	鹿角市消防団が団員確保策として、機能別団員の導入、女性消防団員の誕生などが評価され、消防庁長官表彰「消防団等地域活動表彰」を受賞。 「秋田県消防広域化推進計画」が策定され、鹿角市、小坂町は大館市、北秋田市、上小阿仁村で構成されるブロックを提示され、連絡協議会が発足する。
平成20年 4月	女性消防団員によるカラーガード隊発足。
平成20年 6月	平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震により、鹿角広域行政組合消防本部初となる緊急消防援助隊（救助隊1隊、後方支援隊1隊）が宮城県栗原市へ出動。現場活動に従事し、行方不明者1名を発見する。

## 消防の沿革

年 月	事 項
平成20年 7月	第66回鹿角支部消防訓練大会で鹿角市女性消防団員がカラーガード隊やポンプ車の機関員として揚水訓練を披露する。また、腕用ポンプでの揚水を披露する。 岩手県沿岸北部を震源とする地震（7月24日発生）により、緊急消防援助隊（救助隊1隊、後方支援隊1隊）が岩手県へ出動。活動無し。 鹿角市消防団第12分団第1部に、県内最古の消防車、通称「ダッチ」の展示スペースを設置。
平成20年 8月	消防署十和田分署の広報車を更新配備する。
平成20年12月	鹿角市女性消防団が地域づくりに貢献したことが評価され、秋田県鹿角地域振興局長から「ふるさと鹿角・小坂いきいき地域づくり活動」特別賞を受賞する。
平成21年 2月	鹿角市消防団機能別消防団の(株)柳沢建設が消防庁長官から「消防団等地域活動表彰」を受賞する。
平成21年 4月	鹿角市消防団長に黒澤文男氏就任。 小坂町消防団長に成田俊昭氏就任。
平成21年 8月	消防署小坂分署の広報車を更新配備する。 鹿角市消防団略帽からアポロキャップへ更新する。 小坂町消防団車両未配備の班へ軽積載車を配備する。 （苦竹・余路米班を除く）
平成21年 9月	小坂町消防団員数を202人から190人に定員を改正。
平成21年11月	鹿角市消防団第2分団第1部（下川原）の器具置場を新築移転する。多目的消防拠点施設として水防資材を備え、手引きポンプ、腕用ポンプを展示する。
平成21年12月	鹿角市消防団救急救助支援隊発足。（第7分団、第16分団）
平成22年 3月	携帯電話、IP電話の位置情報通知システムの運用を開始する。
平成22年 4月	鹿角広域行政組合消防長に奈良俊幸氏就任。
平成22年 9月	鹿角市消防団第2分団第2部（用野目）へ消防団救助機材搭載型車両を配備する。
平成22年11月	小坂町で消防団協力事業所の表示証を交付する。（1事業所）
平成23年 1月	鹿角市で消防団協力事業所の表示証を交付する。（10事業所）
平成23年 2月	消防署小坂分署のポンプ車を災害対応水槽付消防ポンプ自動車に更新配備する。（圧縮空気泡消火装置：CAFS搭載型） 消防署小坂分署に共動車両として、小坂町消防団第1分団小坂班の積載車を配備する。
平成23年 3月	平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）により緊急消防援助隊（救助隊1隊、消火隊1隊、救急隊1隊、後方支援隊1隊）が岩手県宮古市田老地区及び、山田町へ出動。現場活動に従事する。 高規格救急車1台（全国共済農業協同組合連合会）が寄贈され、消防署へ配備する。
平成23年 4月	鹿角広域行政組合消防長に沢田正氏就任。 平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）により緊急消防援助隊（救急隊1隊、後方支援隊1隊）が宮城県本吉郡南三陸町及び、登米市へ出動。現場活動に従事する。
平成23年 6月	小坂町消防団略帽からアポロキャップへ更新する。 第64回秋田県消防大会を鹿角市で開催する。
平成24年 4月	小坂町消防団員定数を190人から170人に改正する。 鹿角広域行政組合消防長に熊谷純二氏就任。

## 消防の沿革

年 月	事 項
平成24年 8月	平成24年度秋田県総合防災訓練が鹿角市を会場に開催される。
平成24年12月	消防署に資機材搬送車を新規導入する。
平成25年 3月	鹿角市消防団第7分団第2部（熊沢）に日本損害保険協会から軽積載車が寄贈され車両更新する。
平成25年11月	大館市消防本部と秋田自動車道（大館北IC～小坂北IC）消防相互応援協定、覚書を締結。 弘前地区消防事務組合消防本部と東北道消防相互応援協定書、覚書を改正し締結。
平成26年 3月	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部と十和田八幡平地域における消防相互応援協定書、覚書を改正し締結。
平成26年 4月	鹿角広域行政組合消防長に米田均氏就任。 鹿角市消防団員による防災指導員認定制度を導入する。
平成26年12月	財団法人日本消防協会より『防災活動車』を寄贈され、鹿角市消防団本部へ配備する。
平成27年 3月	盛岡地区広域消防組合消防本部と消防相互応援協定書、覚書を締結する。
平成27年 3月	鹿角広域行政組合消防署南出張所竣工。
平成27年 7月	鹿角広域行政組合消防本部消防署新庁舎竣工。旧庁舎から移転
平成27年 7月	鹿角広域行政組合消防本部消防署及び南出張所 運用開始。（7月27日）
平成27年 7月	FAX119通報の運用を開始する。
平成27年 8月	鹿角広域行政組合消防本部消防署新庁舎竣工式。（8月2日）
平成28年 4月	鹿角広域行政組合消防長に秋元英俊氏就任。 市消防団の定年を延長。 鹿角広域行政組合消防本部初の再任用制度を運用する。（1名） 鹿角市消防団長に児玉誠喜氏就任。 一般財団法人日本消防協会より『災害活動車』を寄贈され、小坂町消防団本部へ配備する。
平成28年11月	消防署小坂分署の救急車を更新配備する。 財団法人全国消防協会東北地区支部予防広報講習を鹿角市で開催。
平成29年 2月	平成28年度秋田県冬期防災訓練が鹿角市八幡平を会場に開催される。
平成29年 4月	鹿角広域行政組合消防長に田中政幸氏就任。
平成29年12月	東北自動車道上り緊急流入路（花輪字中柴内地内）整備事業完了し、運用が開始される。
平成30年 6月	119番多言語通訳サービスの運用を開始する。
平成30年 8月	小坂町消防団長に澤口紀夫氏就任。
平成31年 4月	鹿角広域行政組合消防長に奈良巧一氏就任。 消防署通信指令室を消防本部通信指令課へ改編する。
令和元年 9月	消防本部の「本部広報車」を更新配備する。
令和元年10月	台風19号に伴う大雨洪水被害により、緊急消防援助隊（消火隊、後方支援隊）が宮城県伊具郡丸森町へ出動。現場活動に従事する。（10月13日～18日）
令和 2年 4月	鹿角広域行政組合消防署十和田湖出張所 運用開始。（4月1日） 鹿角市消防団長に内田清隆氏就任。 十和田地域広域事務組合と消防応援協定を解消し、新たに消防相互応援協定を締結する。 十和田湖増殖漁業協同組合と消防活動の協力に関する協定書を締結する。 小坂町消防団の設置並びに小坂町消防団員の定員及び任免に関する条例を改正。独自階級の廃止及び定員の見直しをし、定員数を150人とする。
令和 2年 6月	第73回秋田県消防大会を鹿角市で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため延期。

## 消防の沿革

年 月	事 項
令和 2年 7月	NET119 緊急通報システムの運用を開始する。 潜水救助隊が発足。 第73回秋田県消防大会は、令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策のため開催されず次年度に再延期。
令和 3年10月	秋田大学医学部附属病院ドクターカーの運用に関する協定締結。
令和 3年12月	消防署の救急1号車を更新配備する。また、搬送用アイソレーターを導入する。
令和 4年 3月	(株)現代と消防訓練場所の確保及び訓練用車両の提供の協力に関する協定締結する。
令和 4年 4月	消防職員の勤務体制を3部制から2部制へ移行。 消防本部通信指令課を消防本部警防予防課の分室となる通信指令センターへ改組。
令和 4年 4月	女性消防吏員2名を採用する。
令和 4年 6月	電話リレーサービス(聴覚障がい者等用通報サービス)を運用開始する。
令和 4年 7月	第73回秋田県消防大会は新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
令和 4年 8月	第50回全国消防救助技術大会(東京都立川市)の水上の部(複合検索)に初めて出場する。
令和 4年11月	鹿角市消防団ホームページ及びSNSを開設する。
令和 4年12月	消防本部のアポロキャップの仕様を変更し更新する。
令和 5年 1月	十和田分署救急車を更新配備する。
令和 5年 4月	鹿角広域行政組合消防本部に準救助隊を新たに任命する。
令和 5年 7月	管内宿泊施設と大規模災害時における宿泊施設の提供に関する協定を締結する。
令和 6年 1月	鹿角市消防団旗を更新する。 鹿角市消防団組織改編計画を策定する。
令和 6年 3月	小坂町消防団新基準高視認性活動服を更新整備する。 水槽付消防ポンプ自動車(本署水槽車)を更新配備する。
令和 6年 4月	消防職員の勤務体制を2部制から3部制へ移行。 鹿角市消防団員定数を892人から820人に改正する。 鹿角市消防団組織体を17分団37部とする。 (鹿角市消防団第12分団第4部を第12分団第1部に統合) 小型無人航空機(ドローン)を更新し、運用を開始する。
令和 6年 7月	12誘導心電図伝送システムの運用を開始する。
令和 6年11月	令和2年4月締結の十和田地域広域事務組合と消防相互応援協定を廃止し、新たに消防相互応援協定を締結する。
令和 6年12月	鹿角広域行政組合消防署十和田湖出張所廃止。(12月1日)
令和 7年 2月	岩手県大船渡市の林野火災により、緊急消防援助隊(消火隊、後方支援隊)が岩手県大船渡市へ出動。現場活動に従事する。(2月27日～3月16日)
令和 7年 3月	鹿角市消防団の高視認性活動服及び高視認雨衣を更新整備する。
令和 7年 4月	鹿角広域行政組合消防長に木村正樹氏就任。
令和 7年 4月	鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例を改正。団員階級の年額報酬を36,500円、出動報酬を4時間以上の活動を8,000円、4時間未満を4,000円とする。 小坂町消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例を改正。団員階級の年額報酬を36,500円、出動報酬を4時間以上の活動を8,000円、4時間未満を4,000円とする。

## 消防の沿革

年 月	事 項
令和 7年 8月	第53回全国消防救助技術大会（兵庫県神戸市）の陸上の部（ほふく救出）に連携訓練の種目で初めて出場する。
令和 7年 8月	令和7年度秋田県総合防災訓練が鹿角市、小坂町を会場に開催される。
令和 7年 9月	八幡平谷内地区に地域救急救命サポーターが発足。
令和 7年10月	マイナンバーカードを使用した、マイナ救急の運用を開始する。
令和 8年 1月	令和7年2月岩手県大船渡市で発生した大規模林野火災を受け、火災の発生を防止するため火災予防条例を改正し、「林野火災注意報」、「林野火災警報」の発令を開始する。（1月1日）
令和 8年 3月	一般財団法人日本消防協会より『防災活動2号車』を寄贈され、消防署へ配備する。
令和 8年 3月	鹿角広域行政組合消防署十和田分署新庁舎竣工。旧庁舎から移転し運用開始する。（3月26日） 同敷地内に鹿角市水防倉庫（十和田）を新築移転。

## 受 章 記 録

※平成11年以降を記載

《鹿角市》

平成11年11月	勲七等青色桐葉章	元副団長	大里克三氏
平成12年4月	勲六等单光旭日章	元消防司令	廣林忠好氏
平成13年4月	勲六等瑞宝章受章	元副団長	田原四郎氏
平成15年11月	瑞宝单光章	元消防司令	高橋六郎氏
平成16年4月	瑞宝单光章	元消防司令	高橋七郎氏
平成16年10月	瑞宝单光章	元消防司令補	藤井喜久治氏
平成17年4月	瑞宝双光章	元団長	菅原徳弥氏
平成18年4月	瑞宝单光章	元消防司令	星川俊一氏
平成18年11月	瑞宝单光章	元消防司令長	田口信一氏
平成19年4月	瑞宝单光章	元消防司令	山口喜八郎氏
平成19年11月	瑞宝单光章	元消防司令	工藤菊良氏
平成21年6月	瑞宝单光章	元副分団長	加藤悦郎氏
平成21年11月	瑞宝单光章	元団長	米沢將之助氏
平成22年2月	瑞宝单光章	元分団長	糠塚誠造氏
平成22年3月	瑞宝单光章	元消防司令長	海沼忠氏
平成22年4月	瑞宝单光章	元副団長	伊藤勇氏
平成23年6月	瑞宝单光章	元消防司令長	奥村多喜男氏
平成24年1月	瑞宝单光章	元副分団長	菅生省三氏
平成24年1月	瑞宝单光章	元消防監	齊藤寛樹氏
平成25年4月	瑞宝单光章	元消防司令長	金澤秀美氏
平成25年5月	瑞宝单光章	元分団長	澤田正司氏
平成26年11月	瑞宝单光章	元団長	柳澤誠氏
平成27年5月	瑞宝双光章	元消防司令長	田中孝夫氏
平成28年4月	瑞宝双光章	元消防司令長	奈良俊幸氏
平成29年4月	瑞宝双光章	元団長	黒澤文男氏
平成29年11月	瑞宝双光章	元消防司令長	沢田正氏
令和元年5月	瑞宝单光章	元副団長	阿部文一郎氏
令和2年4月	瑞宝单光章	元分団長	成田威氏
令和3年4月	瑞宝双光章	元消防司令長	米田均氏
令和3年11月	瑞宝双光章	元団長	児玉誠喜氏
令和6年11月	瑞宝单光章	元副団長	児玉忠幸氏

## 受 章 記 録

※平成11年以降を記載

《小坂町》

平成11年 2月	勲 五等 双光 旭日 章	元 団 長	山 崎 文 夫 氏
平成13年11月	勲 六等 瑞宝 章	元 分 団 長	工 藤 亮 氏
平成17年11月	瑞 宝 単 光 章	元 消 防 司 令	和 田 眞 氏
平成20年 4月	瑞 宝 単 光 章	元 分 団 長	木 村 甚 衛 門 氏
平成21年11月	瑞 宝 単 光 章	元 分 団 長	小 笠 原 吉 孝 氏
平成22年11月	瑞 宝 単 光 章	元 消 防 司 令 長	川 口 正 勝 氏
平成22年11月	瑞 宝 単 光 章	元 分 団 長	清 藤 貞 夫 氏
平成23年11月	瑞 宝 単 光 章	元 団 長	本 田 隆 爾 氏
令和元年11月	瑞 宝 双 光 章	元 団 長	成 田 俊 昭 氏
令和 2年11月	瑞 宝 単 光 章	元 分 団 長	中 村 脩 太 郎 氏
令和 3年 4月	瑞 宝 単 光 章	元 分 団 長	大 内 正 富 氏
令和 5年11月	瑞 宝 単 光 章	元 分 団 長	和 田 隆 悦 氏

総務

総務



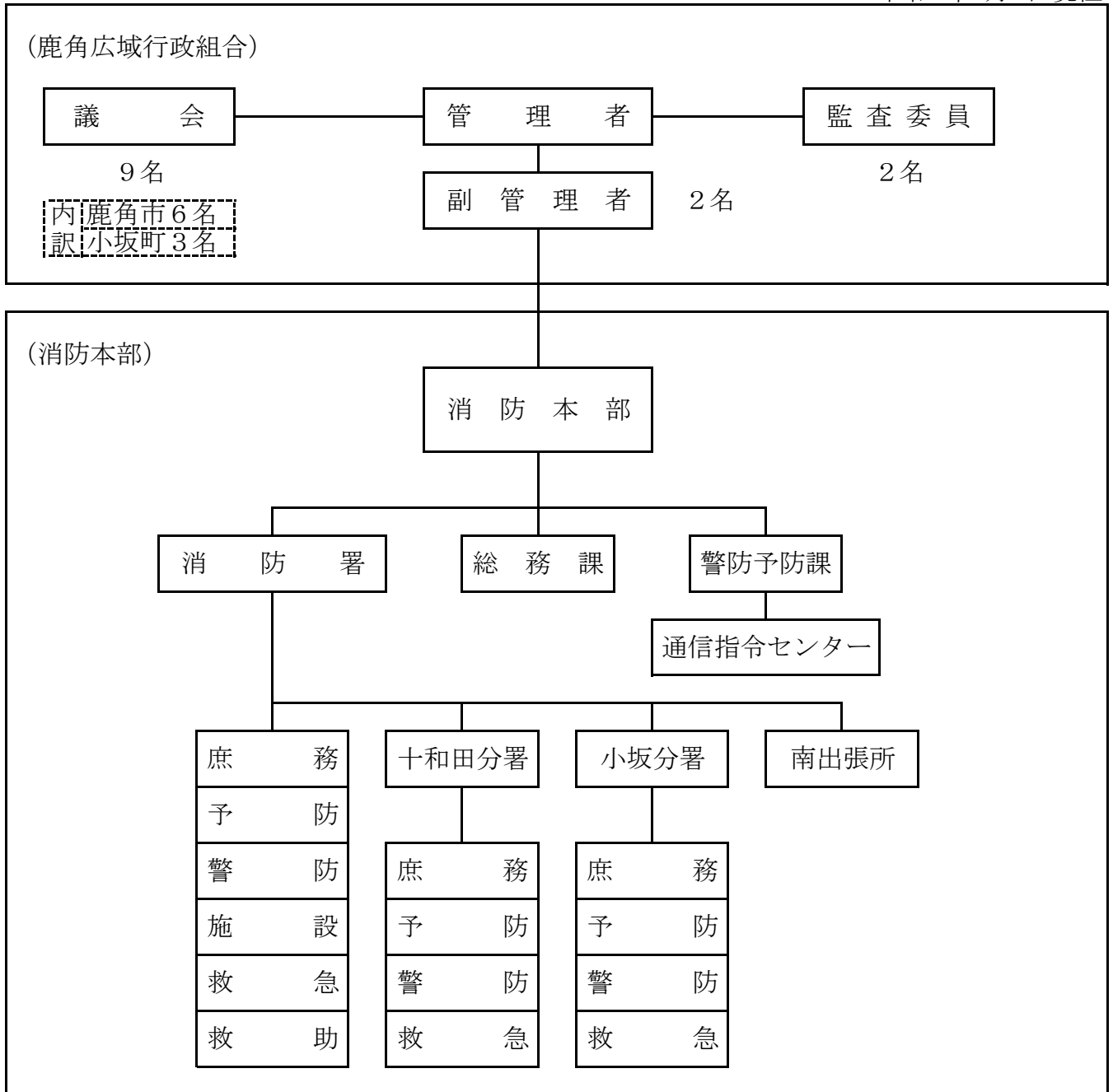
## 歴代管理者・副管理者・消防長・消防署長一覧表

令和8年4月1日現在

区分	歴代	氏名	就任	退任	在職期間	備考
管理者	初代	杉江宗祐	H 6. 6. 1	H12. 4. 25	5年10月	鹿角市長
	2代	佐藤洋輔	H12. 4. 25	H17. 6. 6	5年1月	鹿角市長
	3代	児玉一	H17. 7. 3	R 3. 7. 2	16年11月	鹿角市長
	4代	関厚	R 3. 7. 3	R 7. 3. 21	3年9月	鹿角市長
	5代	笹本真司	R 7. 4. 27	(現在)		鹿角市長
副管理者	初代	阿部節雄	H 6. 6. 10	H 8. 4. 24	1年10月	鹿角市助役
		川口博	H 6. 6. 1	H21. 3. 31	14年9月	小坂町長
	2代	佐藤秀朗	H 8. 5. 15	H12. 5. 2	3年11月	鹿角市助役
	3代	三村陽一	H12. 5. 23	H16. 5. 16	3年11月	鹿角市助役
	4代	児玉一	H16. 5. 28	H17. 6. 23	1年	鹿角市助役
	5代	松浦春男	H17. 8. 26	H19. 3. 31	1年7月	鹿角市助役
	6代	大野佑司	H19. 4. 24	H21. 6. 30	2年1月	鹿角市副市長
	7代	細越満	H21. 4. 30	(現在)		小坂町長
	8代	阿部一弘	H21. 8. 5	R 3. 7. 29	11年11月	鹿角市副市長
9代	舛屋修美	R 4. 11. 1	(現在)		鹿角市副市長	
消防長	初代	大里博志	H 6. 6. 1	H 7. 3. 31	0年10月	
	2代	佐藤一彦	H 7. 4. 1	H 9. 3. 31	2年	
	3代	大里勲	H 9. 4. 1	H12. 3. 31	3年	
	4代	児玉弘志	H12. 4. 1	H16. 3. 31	4年	
	5代	齊藤寛樹	H16. 4. 1	H19. 3. 31	3年	
	6代	田中孝夫	H19. 4. 1	H22. 3. 31	3年	
	7代	奈良俊幸	H22. 4. 1	H23. 3. 31	1年	
	8代	沢田正	H23. 4. 1	H24. 3. 31	1年	
	9代	熊谷純二	H24. 4. 1	H26. 3. 31	2年	
	10代	米田均	H26. 4. 1	H28. 3. 31	2年	
	11代	秋元英俊	H28. 4. 1	H29. 3. 31	1年	
	12代	田中政幸	H29. 4. 1	H31. 3. 31	2年	
	13代	奈良巧一	H31. 4. 1	R 7. 3. 31	6年	
	14代	木村正樹	R 7. 4. 1	(現在)		
消防署長	初代	大里勲	H 6. 6. 1	H 9. 3. 31	2年10月	
	2代	田口信一	H 9. 4. 1	H12. 3. 31	3年	
	3代	奥村多喜男	H12. 4. 1	H13. 3. 31	1年	
	4代	海沼忠	H13. 4. 1	H14. 3. 31	1年	
	5代	田中孝夫	H14. 4. 1	H16. 5. 19	2年1月	
	6代	金澤秀美	H16. 5. 20	H19. 3. 31	2年11月	
	7代	畠山裕	H19. 4. 1	H22. 3. 31	3年	
	8代	工藤清一	H22. 4. 1	H23. 3. 31	1年	
	9代	小館照男	H23. 4. 1	H24. 3. 31	1年	
	10代	柳沢政雄	H24. 4. 1	H25. 3. 31	1年	
	11代	相馬朗	H25. 4. 1	H28. 3. 31	3年	
	12代	田中政幸	H28. 4. 1	H29. 3. 31	1年	
	13代	奈良巧一	H29. 4. 1	H31. 3. 31	2年	
	14代	折戸一	H31. 4. 1	R 3. 7. 16	2年3月	
	15代	小笠原稔	R 3. 8. 1	R 7. 3. 31	3年9月	
	16代	阿部茂雄	R 7. 4. 1	R 8. 3. 31	1年	
	17代	高畑政弘	R 8. 4. 1	(現在)		

## 鹿角広域行政組合消防本部組織図

令和8年4月1日現在



## 消防職員配置状況

令和8年4月1日現在

階級等 所属別	計	消 防 吏 員						派遣職員		事務職員
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	鹿角市へ派遣	秋田県消防防災航空隊へ派遣	鹿角市から派遣
消防本部	15	1	5	8		1		1	0	1
消防署	45		5	17	5	8	10			
十和田分署	15		1	5	4	3	2			
小坂分署	15		1	7	4	2	1			
合計	90	1	12	37	13	14	13	1	0	1

## 消防本部事務分掌

総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 庶務に関する事。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 組織及び運営に関する事。</li> <li>イ 消防事務の企画総務調整に関する事。</li> <li>ウ 庁舎及び消防車両の集中管理に関する事。</li> <li>エ 消防本部の庶務に関する事。</li> </ul> </li> <li>(2) 消防職員の任命、昇任、昇格、賞罰その他身分に関する事。</li> <li>(3) 表彰に関する事。</li> <li>(4) 条例規則に関する事。</li> <li>(5) 行事及び会議に関する事。</li> <li>(6) 文書に関する事。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 公印の保管に関する事。</li> <li>イ 文書の收受、発送及び完結文書保存に関する事。</li> <li>ウ 図書及び消防資料の整理保存に関する事。</li> </ul> </li> <li>(7) 消防予算、決算及び経理に関する事。</li> <li>(8) 財産の取得及び処分に関する事。</li> <li>(9) 契約及び物品の調達に関する事。</li> <li>(10) 職員被服に関する事。</li> <li>(11) 消防職員の公務災害に関する事。</li> <li>(12) 消防職員委員会に関する事。</li> <li>(13) 消防職員の研修実施に関する事。</li> <li>(14) 消防職員の福利厚生に関する事。</li> <li>(15) 他の課に属さない事。</li> </ul>
警防予防課	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 警防に関する事。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 火災警報の発令及び解除に関する事。</li> <li>イ 消防相互応援に関する事。</li> <li>ウ 警戒区域の設定に関する事。</li> <li>エ 消防職員の訓練等に関する事。</li> <li>オ 消防統計及び消防情報に関する事。</li> <li>カ 消防施設及び消防水利に関する事。</li> <li>キ 消防施設及び設備の整備計画に関する事。</li> <li>ク 救急に関する事。</li> <li>ケ 救助に関する事。</li> <li>コ 水防に関する事。</li> <li>サ 行方不明者捜索の相互連絡に関する事。</li> <li>シ 消防通信に関する事。</li> <li>ス 消防団の訓練等に関する事。</li> <li>セ 消防計画に関する事。</li> <li>ソ 緊急消防援助隊に関する事。</li> </ul> </li> <li>(2) 予防に関する事。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 防火推進団体の育成及び指導に関する事。</li> <li>イ 防火思想の普及、防火広報に関する事。</li> <li>ウ 火災損害調査及び火災原因に関する事。</li> <li>エ 防火管理者及び防火対象物の指導に関する事。</li> <li>オ 火災予防条例、規則等の制定改廃に関する事。</li> </ul> </li> <li>(3) 設備危険物に関する事。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 建築同意事務に関する事。</li> <li>イ 消防用設備及び消防設備士の指導等に関する事。</li> <li>ウ 危険物施設等の許認可に関する事。</li> <li>エ 危険物等に係る条例、規則等の制定改廃に関する事。</li> <li>オ 液化石油ガス販売事業所及び火薬庫設置にかかる意見に関する事。</li> </ul> </li> </ul>

	<p>カ 液化石油ガス等の設備工事及び特定液化石油ガス設備工事事業の届出に関する事。</p> <p>(4) 通信指令に関する事。</p> <p>ア 消防通信の確保及び統制に関する事。</p> <p>イ 通信施設、機器の保全運用に関する事。</p> <p>ウ 気象情報、災害情報及び救急医療情報の収集並びに連絡に関する事。</p> <p>エ 火災警報に関する事。</p> <p>オ 消防通信の統計及び報告に関する事。</p> <p>カ 消防通信技術の調査研究に関する事。</p> <p>キ その他通信指令センターの分掌として相当とする事項に関する事。</p> <p>(5) その他警防予防課に関する事。</p>
--	--

## 消防署事務分掌

消 防 署	<p>(1) 庶務に関する事。</p> <p>ア 署の庶務に関する事。</p> <p>イ 公印の保管に関する事。</p> <p>ウ 署員の服務規律に関する事。</p> <p>エ 消防署の予算に関する事。</p> <p>(2) 警防に関する事。</p> <p>ア 警防の実施計画に関する事。</p> <p>イ 火災その他の災害の防衛及び調査に関する事。</p> <p>ウ 署員の訓練実施等に関する事。</p> <p>エ 非常警備に関する事。</p> <p>オ 消防水利施設の調査及び保守管理に関する事。</p> <p>カ 水防訓練実施に関する事。</p> <p>キ 消防団員の訓練指導実施等に関する事。</p> <p>ク 火災予防条例等の届出に関する事。</p> <p>(3) 予防に関する事。</p> <p>ア 予防査察及び予防広報に関する事。</p> <p>イ 火災の原因調査に関する事。</p> <p>ウ 危険物に関する事。</p> <p>エ 防火管理者の消防計画に関する事。</p> <p>オ 鹿角広域行政組合火災予防条例に基づく届出及び指導に関する事。</p> <p>カ 火災予防条例等の届出及び違反処理に関する事。(警防に関する事は除く。)</p> <p>(4) 施設に関する事。</p> <p>ア 消防機械器具の整備及び保守管理に関する事。</p> <p>イ 消防機械器具の部品及び燃料等の調達、管理に関する事。</p> <p>ウ 機械器具操作技術の指導に関する事。</p> <p>(5) 救急に関する事。</p> <p>ア 救急業務に関する事。</p> <p>イ その他救急全般に関する事。</p> <p>(6) 救助に関する事。</p> <p>ア 救助及び行方不明者捜索業務に関する事。</p> <p>イ 救助隊に関する事。</p> <p>ウ 救助の統計及び報告に関する事。</p> <p>エ 緊急消防援助隊の編成、訓練及び出動に関する事。</p>
-------	--

## 消防庁舎の概要

### 消防本部・署庁舎



所在地：鹿角市花輪字向畑100番地2

敷地面積：4,412.34㎡

建物構造：鉄骨鉄筋コンクリート3階建

庁舎棟：2,839.76㎡

竣工年月日：平成27年 8月 1日

主訓練棟：201.45㎡ 副訓練棟：295.21㎡

### 十和田分署庁舎



所在地：鹿角市十和田毛馬内字城ノ下7番地11 敷地面積：1,189.78㎡

建物構造：木造平屋建

延べ面積：296.45㎡

竣工年月日：令和8年 3月26日

## 消防庁舎の概要

### 小坂分署庁舎



所在地：鹿角郡小坂町小坂字中前田68番地1 敷地面積：3,700.29㎡

建物構造：鉄筋コンクリート2階建 延べ面積：935.57㎡

竣工年月日：平成10年 2月28日

### 南出張所庁舎



所在地：鹿角市花輪字高井田64番地2 敷地面積：635.00㎡

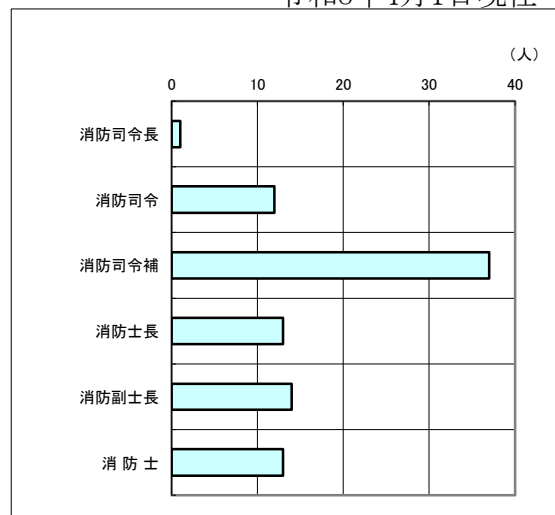
建物構造：木造平屋建 延べ面積：147.33㎡

竣工年月日：平成27年 8月 1日

## 消防吏員勤務年数表

令和8年4月1日現在

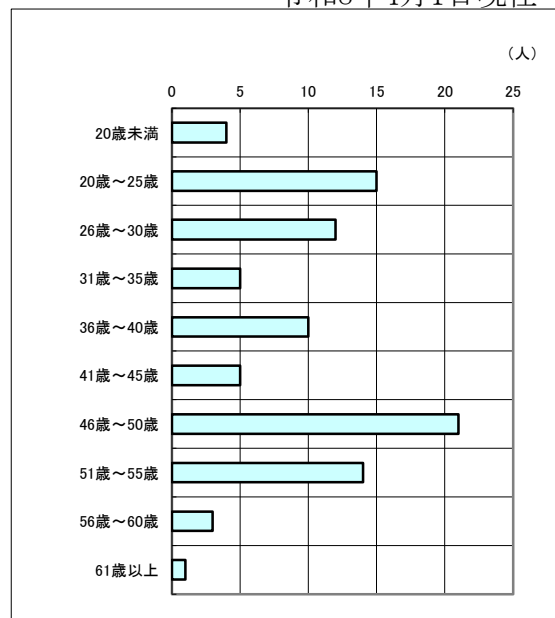
階級等 年数	計	消 防 吏 員					
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
1年未満	6						6
1年～5年	12					5	7
6年～10年	10				1	9	
11年～15年	11			1	10		
16年～20年	8			6	2		
21年～25年	5			5			
26年～30年	16		1	15			
31年以上	22	1	11	10			
計	90	1	12	37	13	14	13



## 消防吏員階級別年齢表

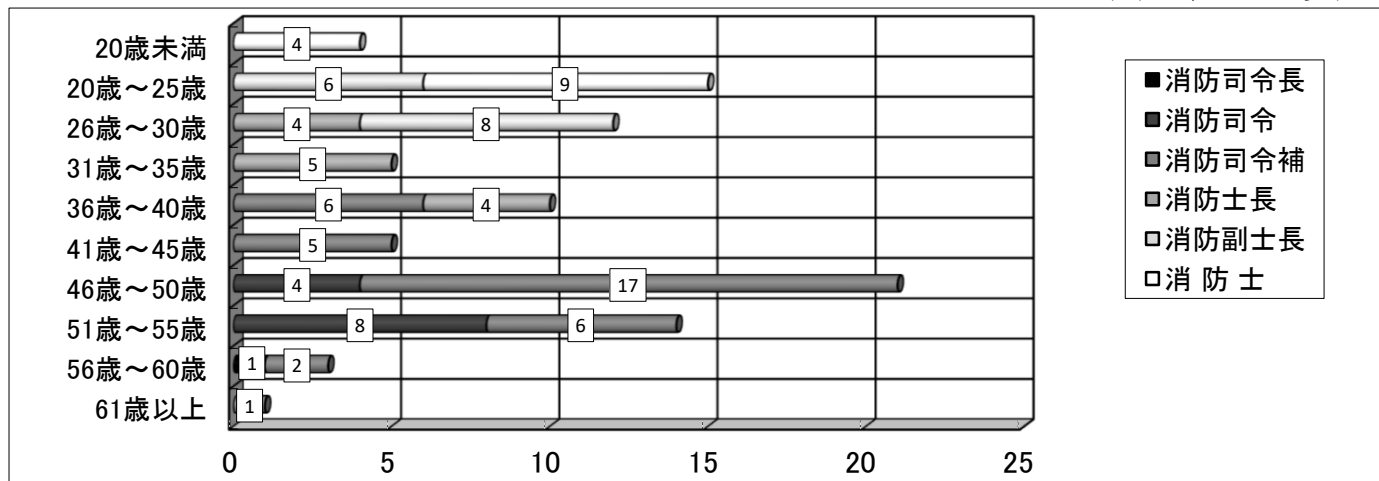
令和8年4月1日現在

階級等 年齢	計	消 防 吏 員					
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
20歳未満	4						4
20歳～25歳	15					6	9
26歳～30歳	12				4	8	
31歳～35歳	5				5		
36歳～40歳	10			6	4		
41歳～45歳	5			5			
46歳～50歳	21		4	17			
51歳～55歳	14		8	6			
56歳～60歳	3	1		2			
61歳以上	1			1			
計	90	1	12	37	13	14	13
平均年齢	38.8	59.0	51.7	47.3	33.2	25.9	20.7



## 消防吏員年齢別階級分布図

令和8年4月1日現在



## 消防費分類表

令和8年4月1日現在

(単位：千円)

款 項 目	節	当初予算	
		令和8年度	令和7年度
3 消防費		957,572	1,092,176
1 消防費		957,572	1,092,176
1 常備消防費		863,696	857,042
	2給料	348,485	338,060
	3職員手当等	274,835	266,939
	4共済費	121,123	116,001
	7報償費	0	0
	8旅費	1,338	2,024
	10需用費	38,765	46,338
	11役務費	9,428	10,505
	12委託料	35,362	30,765
	13使用料及び賃借料	14,656	17,406
	14工事請負費	0	0
	15原材料費	100	100
	17備品購入費	1,763	8,593
	18負担金、補助及び交付金	17,167	19,768
	26公課費	674	543
2 消防施設費		93,876	235,134
	8旅費	0	0
	10需用費	0	0
	11役務費	125	112
	12委託料	15,132	10,564
	13使用料及び賃借料	0	0
	14工事請負費	36,630	207,595
	15原材料費	0	0
	17備品購入費	41,956	16,863
	26公課費	33	0

# 消防職員免許所持状況

令和8年4月1日現在

種 別	階級等	計	消 防 吏 員					
			消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
自動車	大 型 特 殊	13		3	5	4	1	
	引	2		1	1			
	大 型 一 種	73	1	12	37	13	10	
	普 通 一 種	90	1	12	37	13	14	13
	自 動 二 輪	17			12	2	1	2
整備	可 搬 ポ ン プ	4		2	2			
救急 関係	救 急 救 命 士	25		3	11	3	3	5
	救急科（救急Ⅱ課程）資格	68	1	12	34	10	10	1
救 助 関 係	移 動 式 ク レ ー ン 技 能	64	1	12	33	12	6	
	玉 掛 技 能	64	1	12	33	12	6	
	ガ ス 溶 接 技 能	55		11	32	7	5	
	有 機 溶 剤 作 業 主 任 者	49	1	11	30	6	1	
	特 定 化 学 物 質 作 業 主 任 者	45	1	11	29	4		
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	58	1	12	33	9	3	
	巻上げ機運転業務に係る特別講習	36		7	21	5	3	
	ド ロ ー ン 操 縦 資 格	6			2	4		
	チ ェ ン ソ ー 取 扱 技 能	28	1	5	16	5		1
	潜 水 士	26		2	9	8	6	1
予 防 関 係	予防技術資格者	防 火 査 察	14	1	3	9	1	
		消 防 用 設 備 等	4	1		2	1	
		危 険 物	6	1		4	1	
	危 険 物 取 扱 者 甲 種	3			2	1		
	危 険 物 取 扱 者 乙 種 4 類	80	1	12	36	13	13	5
通 信 関 係	第 1 級 陸 上 無 線 技 術 士	1			1			
	第 2 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	84	1	12	37	13	14	7
	ア マ チ ュ ア 無 線 技 士	13	1	5	6	1		
そ の 他	大 型 車 両 系 建 設 機 械 の 運 転 業 務	4			2	2		
	小 型 車 両 系 建 設 機 械 の 運 転 業 務	63		10	30	13	10	
	防 災 士	12	1	3	5	2		1
	フルハーネス型墜落防止用器具	41		5	18	9	9	
	衛 生 管 理 者	3	1		2			
	ボ イ ラ ー 技 士 ・ 取 扱 技 能	5		2	3			
	ア ー ク 溶 接 技 能	43	1	11	27	3	1	

## 消防職員学校教育派遣状況

令和7年度

年度別 教育課程		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	R元年度 ） R7年度計
		秋田県消防学校	初任教育	4	2	3	2	4	
専科教育	警防科	1	1	1	1	1	1	1	7
	予防査察科		1	休講	1	休講	1	休講	3
	火災調査科	1	1	1	1	1	1	1	7
	救急科	2	2	1	2	2	2	2	13
	救助科	1	1	1	1	1	1	1	7
	危険物科	1		1	休講	1	休講	1	4
	特殊災害科		1		1		1	1	4
幹部教育	1		1		1		1	4	
特別教育	消防操法指導員講習	2	中止	2	2	2	2	2	12
	救急救命処置再教育	2	2	1	1		1	1	8
	ビデオ喉頭鏡追加講習			1					1
消防大 学 校					1		1		2
救急救命東京研修所 救急救命士教育						1		2	3
指導救命士養成研修		2							2
救急救命九州研修所 感染防止対策強化研修					1				1
合 計		17	11	13	14	14	15	15	99

### 秋田県消防学校

	期 間	実施時間	派遣数	備 考
初 任 教 育	令和7年4月7日～9月18日	800	2	第79期
消防操法指導員講習	令和7年4月23日～4月24日	14	2	
幹 部 教 育	令和7年7月16日～7月25日	49	1	第20期
警 防 科	令和7年9月29日～10月10日	70	1	第52期
救 助 科	令和7年10月1日～10月29日	140	1	第34期
火 災 調 査 科	令和7年10月20日～10月31日	70	1	第57期
特 殊 災 害 科	令和7年11月6日～11月14日	49	1	第18期
危 険 物 科	令和7年12月1日～12月5日	49	1	第21期
救 急 科	令和8年1月6日～2月27日	250	2	第34期

施設

施設





# 消防車両等一覧表

令和8年4月1日現在

消	名称	指揮車	
	購入年月	平成19年10月	
	車名	日産キャラバン	
	出力	130ps	
	気筒数	4	
	装備	照明灯、ルーフキャリア	
	駆動方式	四輪駆動	
防	名称	本部広報車	
	購入年月	令和元年9月	
	車名	日産キャラバン	
	出力	147ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	その他	緊急消防援助隊登録車両	
部	名称	査察広報車（旧消防団広報車）	
	購入年月	平成15年3月	
	車名	日産ブルーバードシルフィー	
	出力	120ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	二輪駆動	
	備考	日本消防協会寄贈	
消	名称	資機材搬送車	
	購入年月	平成24年12月	
	車名	いすゞエルフ	
	出力	110ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備 ぎ装 対空表示	ウイングボディー、マルチゲート いすゞ車体、北村製作所、新明和工業 秋田鹿角搬送	
防	名称	防災活動2号車	
	購入年月	令和8年1月	
	車名	日産キャラバン	
	出力	150ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
署	名称	水槽付ポンプ自動車	
	購入年月	令和6年3月	
	車名	日野レンジャー	
	出力	240ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	積載水2,000ℓ 薬剤A20ℓ	
	対空表示	秋田かつのT1	
	ポンプ	株式会社モリタ	
	その他	緊急消防援助隊登録車両	

消	名称	ポンプ1号車	
	購入年月	平成17年1月	
	車名	日野レンジャー	
	出力	225ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	パワーゲート、照明灯 積載水900ℓ	
	ポンプ	日本機械工業株式会社	
	対空表示	鹿角ポ1	
	名称	ポンプ2号車	
購入年月	昭和62年12月		
車名	三菱キャンター		
出力	110ps		
気筒数	4		
駆動方式	四輪駆動		
装備	パワーゲート		
ポンプ	日本機械工業株式会社		
防	名称	救助工作車	
	購入年月	平成15年2月	
	車名	いすゞフォワード	
	出力	225ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	照明、クレーン、ウインチ、噴霧装置 ぎ装 日本機械工業株式会社	
対空表示	秋田R 4		
署	名称	化学車	
	購入年月	平成20年1月	
	車名	日野レンジャー	
	出力	220ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	積載水1,500ℓ 薬剤A30ℓ 薬剤B500ℓ	
	ポンプ	日本機械工業株式会社	
	対空表示	秋田化2	
署	名称	救急1号車	
	購入年月	令和3年12月	
	車名	トヨタハイメディック	
	出力	151ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様	
	対空表示	秋田鹿角A 1	
その他	緊急消防援助隊登録車両		
南出張所	名称	救急2号車	
	購入年月	平成23年3月	
	車名	トヨタハイメディック	
	出力	151ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様	
	その他	全国共済農業協同組合連合会寄贈	

十和田	名称	十和田水槽付ポンプ自動車	
	購入年月	平成13年9月	
	車名	いすゞフォワード	
	出力	225ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	積載水2,000ℓ 三連梯子自動昇降装置 照明灯	
ポンプ	日本機械工業株式会社		
田分	名称	十和田救急車	
	購入年月	令和5年1月	
	車名	トヨタハイメディック	
	出力	151ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様 対空表示 秋田かづのA3	
署	名称	十和田広報車	
	購入年月	平成20年7月	
	車名	三菱デリカ	
	出力	170ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
小坂	名称	小坂水槽付ポンプ自動車	
	購入年月	平成23年2月	
	出力	220ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	積載水2,000ℓ 薬剤A20ℓ	
	ポンプ	株式会社モリタ	
対空表示	秋田Tかづの		
その他	緊急消防援助隊登録車両		
坂分	名称	小坂救急車	
	購入年月	平成28年11月	
	車名	トヨタハイメディック	
	出力	151ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様 対空表示 秋田小坂A1	
署	名称	小坂広報車	
	購入年月	平成21年7月	
	車名	三菱デリカ	
	出力	170ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	

## 消防車両の使用経過年数状況

令和8年4月1日現在  
(台)

		配備年月	経過年数	1 年 未 満	1 年 以 上	2 年 以 上	3 年 以 上	4 年 以 上	5 年 以 上	7 年 以 上	1 0 年 以 上	1 5 年 以 上	2 5 年 以 上
消 防 本 部	指揮車	平成19年10月	18年 6月									1	
	本部広報車	令和元年9月	6年 7月						1				
	査察広報車 (旧消防団広報車)	平成15年3月	23年 1月									1	
消 防 署	資機材搬送車	平成24年12月	13年 4月								1		
	防災活動2号車	令和8年1月	0年 3月	1									
	水槽付ポンプ自動車	令和6年3月	2年 1月			1							
	ポンプ1号車	平成17年1月	21年 3月									1	
	ポンプ2号車	昭和62年12月	38年 4月										1
	救助工作車	平成15年2月	23年 2月										1
	化学車	平成20年1月	18年 3月										1
	救急1号車	令和3年12月	4年 4月					1					
	救急2号車(南出張所)	平成23年3月	15年 1月										1
	十 和 田 分 署	水槽付ポンプ自動車	平成13年9月	24年 7月									
救急車		令和5年1月	3年 3月			1							
広報車		平成20年7月	17年 9月										1
小 坂 分 署	水槽付ポンプ自動車	平成23年2月	15年 2月										1
	救急車	平成28年11月	9年 5月							1			
	広報車	平成21年7月	16年 9月										1
消防車両総数			18台	1	0	2	0	1	1	1	1	10	1

## 消防水利状況

令和8年4月1日現在

水利区分 管轄別	消火栓			防火水槽				指定外 その他 水利
	布設管径			有蓋		無蓋		
	100mm	100mm		40m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup>	
	以上	未満	(基準)	以上	未満	以上	未満	
<b>消防署小計</b>	<b>322</b>	<b>76</b>	<b>(70)</b>	<b>170</b>	<b>13</b>	<b>9</b>	<b>2</b>	<b>0</b>
花 輪	123	61	(58)	70	2	2	0	
尾 去 沢	125	12	(10)	20	9			
八 幡 平	74	3	(2)	80	2	7	2	
<b>十和田分署小計</b>	<b>151</b>	<b>54</b>	<b>(44)</b>	<b>75</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
毛 馬 内	75	26	(25)	18				
大 湯	49	16	(11)	32				
錦 木	27	12	(8)	25	1			
<b>小坂分署小計</b>	<b>96</b>	<b>41</b>	<b>(28)</b>	<b>49</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>
上向・十和田湖	11	7	(5)	8	1			1
中 央	36	24	(17)	20				
川 上	24	7	(3)	6				
七 滝	25	3	(3)	15				
<b>合 計</b>	<b>569</b>	<b>171</b>	<b>(142)</b>	<b>294</b>	<b>15</b>	<b>9</b>	<b>2</b>	<b>1</b>

※消防水利の基準(消防法第20条第1項)

消防水利は、常時貯水量が40m<sup>3</sup>以上又は取水可能水量が毎分1m<sup>3</sup>以上で、かつ、連続40分以上の給水能力を有するものでなければならない。

## 水防倉庫所在地一覧

令和8年4月1日現在

地区名	河川名	水防倉庫名	建築年月日	設置場所
花輪	米代川	鹿角市	平成11年3月18日	鹿角市花輪字新田町11番地4
	米代川	下川原	平成21年11月20日	鹿角市花輪字下川原35番地4
十和田	大湯川	十和田	令和8年3月26日	鹿角市十和田毛馬内字城ノ下7番地11
小坂	小坂川	小坂	平成22年2月12日	鹿角郡小坂町小坂字中前田68番地3

## 水防倉庫資材状況

令和8年4月1日現在

品名	倉庫名		単位	鹿角市	下川原	十和田	小坂	計
	鹿角市	下川原						
土	囊	袋		331	52	245	180	808
麻	袋	枚		64	220	53	0	337
ビニール	袋	枚		0	0	0	0	0
PPクランプ	袋	枚		0	0	0	0	0
PE土囊	袋	枚		0	0	320	2,260	2,580
掛	矢	丁		4	3	1	8	16
角スコップ		丁		0	0	0	42	42
剣スコップ		丁		34	10	56	60	160
鈍	線	kg		95	70	0	0	165
鉋	鎌	丁		0	0	3	1	4
竹		本		12	40	0	24	76
杭	木	本		0	0	0	19	19
ロ	プ	本		0	0	4	12	16
鋸		丁		1	1	2	0	4
鉋		丁		8	0	2	14	24
斧		丁		2	1	1	3	7
絶縁ペンチ		本		1	1	1	0	3
S B パイプル		本		173	27	246	149	595
ビニールシート		枚		20	14	13	13	60
もっこ		枚		0	7	0	0	7
唐	鍬	丁		7	0	15	17	39
つるはし		丁		0	0	1	34	35
一輪車		台		0	0	0	6	6
防火用具	袋	袋		0	0	0	0	0
道具	袋	袋		3	1	1	0	5
ハンドマイク		台		5	0	0	0	5
BBワーカー16型		台		2	0	0	0	2
BBワーカー4型		台		0	0	0	3	3
ライフジャケット		着		0	5	0	8	13

予 防

予 防



## 防火対象物及び立入検査状況（150㎡以上）

※立入検査を複数回実施している防火対象物があります

防火対象物の用途		市 町 別		立入検査実施数	
		鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町
1	イ 劇場・映画館等	3			
	ロ 公会堂又は集会場	12	5	6	2
2	イ キャバレー等				
	ロ 遊技場・ダンスホール	4			
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等				
	ニ カラオケボックス等				
3	イ 待合・料理店等				
	ロ 飲食店	26	2	2	
4	百貨店又はマーケット等	54	6	15	1
5	イ 旅館・ホテル等	27	11	6	3
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	159	25	5	4
6	イ 病院・診療所等	14	2	2	1
	ロ 福祉施設等（障害程度が重い）	30	7	5	
	ハ 福祉施設等（障害程度が軽い）	23	9	10	1
	ニ 幼稚園・特別支援学校等	2		2	
7	学校関係	18	1	4	
8	図書館・博物館等	6	4	3	
9	イ 蒸気浴場・その他				
	ロ イ以外の公衆浴場	5		1	
10	車両停車場等	3			
11	神社・寺院等	37	3	4	
12	イ 工場・作業場	176	64	11	23
	ロ スタジオ				
13	イ 自動車車庫・駐車場	38	6	2	
	ロ 飛行機等の格納庫		1		
14	倉庫	136	38	10	8
15	前各項に該当しない事業所	306	155	10	19
16	イ 複合用途防火対象物(特定用途)	144	16	11	3
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	86	16	3	1
そ の 他		3	2	1	2
合 計		1,312	373	113	68

## 危険物製造所等の立入検査状況

令和7年度

製造所の別		廃止		総施設数		立入検査実施施設数	
		鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町
製造所							
貯蔵所	屋内			11	4	3	
	屋外タンク		1	5	10		7
	屋内タンク			3			
	地下タンク		1	79	17	24	1
	移動タンク	4	1	52	9	46	8
	屋外			1	1		1
	簡易タンク						
取扱所	給油	営業		17	5	12	5
		自家		8			
	一般			28	8	12	5
合計		4	3	204	54	97	27

## 消防法令等による許可申請等の状況

令和7年度

種別	件数
工事整備対象設備等着工届	32
消防用設備等設置届	128
消防用設備等検査済証	56
消防用設備等点検結果報告書	746
防火管理者選任届	71
防火管理者解任届	70
消防計画届	141
防火対象物使用開始届	36
自衛消防訓練通知書	366
火災とまぎらわしい行為届出	200
少量危険物貯蔵取扱届	48
り災証明	11

種別	件数	
危険物製造所等	設置許可申請	2
	設置許可指令	2
	変更許可申請	10
	変更許可指令	10
	設置完成検査申請	2
	設置完成検査済証	2
	変更完成検査申請	10
	変更完成検査済証	9
	譲渡引渡届	2
	廃止届	7
仮使用承認	4	
危険物保安監督者選任届	6	
危険物保安監督者解任届	7	
危険物種類数量変更届		
危険物仮貯蔵仮取扱承認	2	

## 建築同意状況

令和7年度

防火対象物の用途		鹿角市	小坂町	計
1	イ 劇場・映画館等			
	ロ 公会堂又は集会場			
2	イ キャバレー等			
	ロ 遊技場・ダンスホール			
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等			
	ニ カラオケボックス等			
3	イ 待合・料理店等			
	ロ 飲食店			
4	百貨店又はマーケット等	2		2
5	イ 旅館・ホテル等			
	ロ 寄宿舍・共同住宅等		2	2
6	イ 病院・診療所等	1		1
	ロ 福祉施設等（障害程度が重い）	1		1
	ハ 福祉施設等（障害程度が軽い）			
	ニ 幼稚園・特別支援学校等			
7	学校関係			
8	図書館・博物館等			
9	イ 蒸気浴場・その他			
	ロ イ以外の公衆浴場			
10	車両停車場等			
11	神社・寺院等			
12	イ 工場・作業場	2	2	4
	ロ スタジオ			
13	イ 自動車車庫・駐車場	2	3	5
	ロ 飛行機等の格納庫			
14	倉庫	7	2	9
15	前各項に該当しない事業所	7	2	9
16	イ 複合用途防火対象物（特定用途）			
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	1		1
上記以外の住宅等建築物		10		10
合 計		33	11	44

## 防火対象物定期点検報告制度状況

令和7年度

防火対象物の用途			市 町 別		対 象 物		点検基準適合数		特例認定数	
			鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町		
1 項	イ	劇場・映画館等	2	0	1	0	0	0		
	ロ	公会堂・集会場	5	4	3	1	0	0		
2 項	ロ	遊技場・ダンスホール	2	0	1	0	1	0		
3 項	ロ	飲食店	0	0	0	0	0	0		
4 項		百貨店・マーケット等	5	1	0	1	5	0		
5 項	イ	旅館・ホテル等	6	0	1	0	1	0		
6 項	イ	病院・診療所等	2	0	1	0	0	0		
6 項	ロ	有料老人ホーム等	1	0	0	0	0	0		
16 項	イ	複合用途防火対象物	13	0	6	0	1	0		
合 計			36	5	13	2	8	0		

## 表示マーク交付状況

令和7年度

	鹿角市	小坂町	計
適マーク（金）	1		1
適マーク（銀）			

※ 防火・防災管理上の一定基準に適合している旅館・ホテルについて、その情報を利用者に提供するための「表示」を行い、安全・安心を推進するものです。

## 住宅用火災警報器設置率調査結果

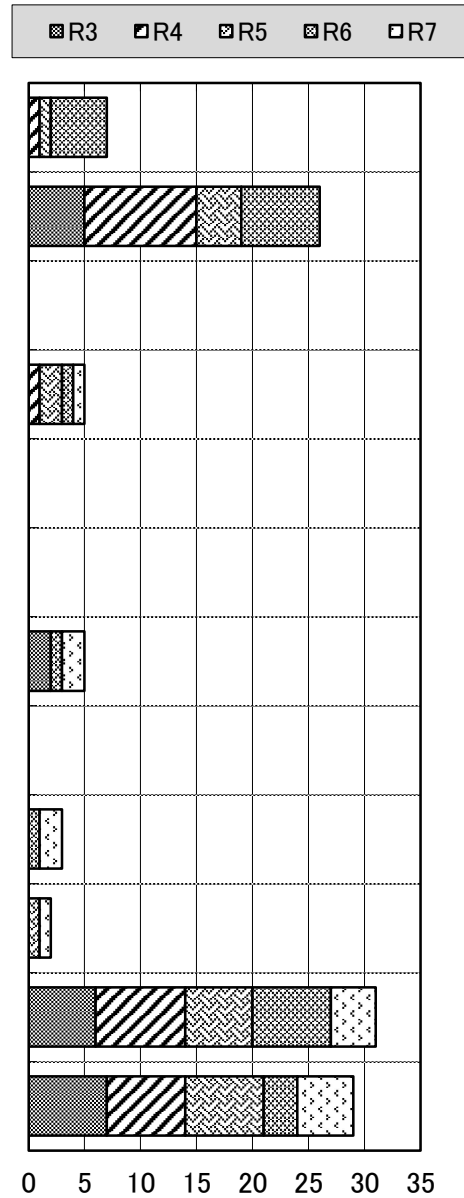
令和8年3月31日現在

調査年度	鹿角広域	鹿角市	小坂町	実施方法
平成29年度	85.5%	83.5%	88.0%	訪問調査(全分団管轄の自治会)
平成30年度	83.7%	81.0%	100.0%	訪問調査(住民防火運動実施自治会)
令和元年度	86.0%	84.4%	90.9%	訪問調査(住民防火運動実施自治会)
令和2年度	92.9%	91.4%	97.1%	アンケート調査等(コロナ対策)
令和3年度	87.6%	87.2%	89.7%	アンケート調査等(コロナ対策)
令和4年度	92.8%	92.2%	96.8%	アンケート調査等(コロナ対策)
令和5年度	64.2%	60.5%	70.8%	訪問調査(市町のすべての自治会)
令和6年度	78.7%	76.1%	86.7%	訪問調査(無作為抽出により自治会を決定)
令和7年度	77.3%	78.5%	70.8%	訪問調査(無作為抽出により自治会を決定)

## 過去5年間の火災原因

(件)

	R3	R4	R5	R6	R7
たばこ		1	1	5	
たき火(火入れ)	5	10	4	7	
火あそび					
コンロ		1	2	1	1
風呂・ボイラー					
こたつ					
ストーブ	2			1	2
煙突・煙道					
電気系統				1	2
放火・放火疑い			1		1
その他	6	8	6	7	4
不明・調査中	7	7	7	3	5
合計	20	27	21	25	15



# 月別火災状況

令和7年

区分		月別												合計	前 年	前 年 比
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
件数		1		3	3	3		1		2	1	1		15	25	-10
火災種別 (件)	建物	1		2	2	1		1		2		1		10	9	1
	林野				1									1	4	-3
	車両													0	1	-1
	その他			1		2					1			4	11	-7
覚知別 (件)	119	1		3	2	3				2	1	1		13	21	-8
	加入電話				1			1						2	3	-1
	その他													0	1	-1
出勤人員 (人)	職員	18		43	82	56				44	13	17		273	479	-206
	団員	15		59	59	26				25				184	361	-177
放水ポンプ (台)	消防署	2		4	8	10				4				28	59	-31
	消防団			5	2	1				2				10	15	-5
焼損棟数 (棟)	住宅	全焼			1		1							2	1	1
		半焼												0	0	0
		部分焼									2			2	6	-4
		ぼや									1		1	2	1	1
	非住家	全焼				1	1				1			3	4	-1
		半焼									1			1	0	1
		部分焼	1		3									4	2	2
		ぼや				1				1				2	1	1
り災世帯 (世帯)	全損			1		1							2	1	1	
	半損												0	1	-1	
	小損									3		1	4	6	-2	
り災人員 (人)				2		4				6		1	13	26	-13	
焼損面積	建築物 (㎡)	5		151	211	148				132			647	691	-45	
	表面積 (㎡)									54			54	123	-69	
	林野 (a)				11								11	416	-405	
	車両 (台)										1		1	1	0	
死者 (人)						2				1			3	2	1	
負傷者 (人)						1					1		2	2	0	
損害見積額 (千円)	建物	321		2,404	831	73				1,384			5,013	14,261	-9,248	
	収容物			284	6,085	50				273		2	6,694	3,403	3,291	
	その他												0	25,829	-25,829	
	合計	321	0	2,688	6,916	123	0	0	0	1,657	0	2	0	11,707	43,493	-31,786

## 鹿角広域行政組合発足以降の火災の状況

区分 年	件数					死者	負傷者	損害額
	計	建物	林野	車両	その他	(人)	(人)	(千円)
平成6	19	15	2	1	1	2	4	70,798
7	17	14	2	1	0	1	0	52,388
8	21	12	2	4	3	1	1	46,110
9	17	13	2	2	0	0	4	25,952
10	24	13	7	4	0	2	2	25,485
11	18	12	1	2	3	2	3	31,475
12	18	11	0	4	3	0	2	45,959
13	24	8	8	4	4	0	4	25,558
14	18	9	2	3	4	0	1	29,272
15	23	15	4	3	1	1	3	70,916
16	22	15	2	2	3	1	0	102,918
17	17	14	0	3	0	2	3	111,583
18	13	9	1	1	2	2	1	337,962
19	21	12	2	5	2	2	2	22,409
20	26	15	7	1	3	0	4	180,155
21	23	9	7	6	1	2	1	66,649
22	11	8	0	2	1	0	1	11,902
23	17	11	0	3	3	3	5	52,424
24	13	11	1	1	0	1	2	40,440
25	24	12	7	5	0	2	3	107,317
26	14	6	5	1	2	0	0	7,354
27	29	16	6	6	1	1	4	31,801
28	13	4	5	2	2	1	1	7,348
29	14	7	5	2	0	0	4	17,855
30	16	5	5	5	1	1	0	29,879
令和元	19	8	6	1	4	1	3	16,178
2	18	9	7	0	2	0	0	42,592
3	20	7	3	5	5	0	1	21,932
4	27	9	8	3	7	1	0	60,057
5	21	5	1	3	12	3	3	19,348
6	25	9	4	1	11	2	2	43,493
7	15	10	1	0	4	3	2	11,707

## 幼少年婦人防火クラブ加入団体

令和7年度

No.	少年消防クラブ	会員数(人)
1	湯瀬少年消防クラブ	5
2	館子供会	27
3	下モ平子供会	22
4	小枝指子供会	10
5	花輪小学校	349
6	松館子供会	9
7	松山子供会	12
8	西道口子供会	5
9	石鳥谷・黒沢子供会	6
10	甚兵エ川原子供会	1
11	神田子供会	6
12	用野目子供会	10
13	谷内子供会	16
14	長牛子供会	8
15	上台子供会	6
16	沢尻子供会	6
17	古川子供会	15
18	上山子供会	5
19	小割沢子供会	2
20	長嶺子供会	10
21	新田町3区子供会	13
22	舟場3区子供会	6
23	下川原子供会	8
24	長野子供会	8
25	市街地子供会	4
26	土深井子供会	10
27	三ノ丸子供会	23
28	二本柳子供会	4
29	東町子供会	9
30	冠田・曲谷地子供会	1
31	柴平小学校	146
合 計		762

No.	幼年消防クラブ	会員数(人)
1	花輪にこにこ保育園幼年消防クラブ	65
2	毛馬内保育園幼年消防クラブ	49
3	錦木保育園幼年消防クラブ	34
4	花輪さくら保育園幼年消防クラブ	81
5	八幡平なかよしセンター幼年消防クラブ	45
6	あおぞらこども園幼年消防クラブ	40
合 計		314

No.	婦人防火クラブ	会員数(人)
1	蟹沢婦人防火クラブ	20
2	小坂三区婦人防火クラブ	9
合 計		29

鹿角市幼少年婦人防火クラブ	
加入団体	39
会員数(人)	1,105

## 活動状況

令和7年度

事業名	場 所	実施日	内 容
鹿角市幼少年婦人防火委員会総会	消防庁舎	6月24日	委員5名出席
秋の火災予防週間防火PR	花輪さくら保育園	11月4日	花輪さくら保育園幼少年消防クラブによる防火パレード
秋の火災予防週間防火PR	毛馬内保育園	11月7日	毛馬内保育園幼少年消防クラブによる防火パレード
令和7年度秋田県女性防火研修会	県庁第2庁舎	11月11日	蟹沢婦人防火クラブ4名が参加
鹿角市幼少年婦人防火委員会救急講習会	消防庁舎	2月22日	5団体11名参加

救 急



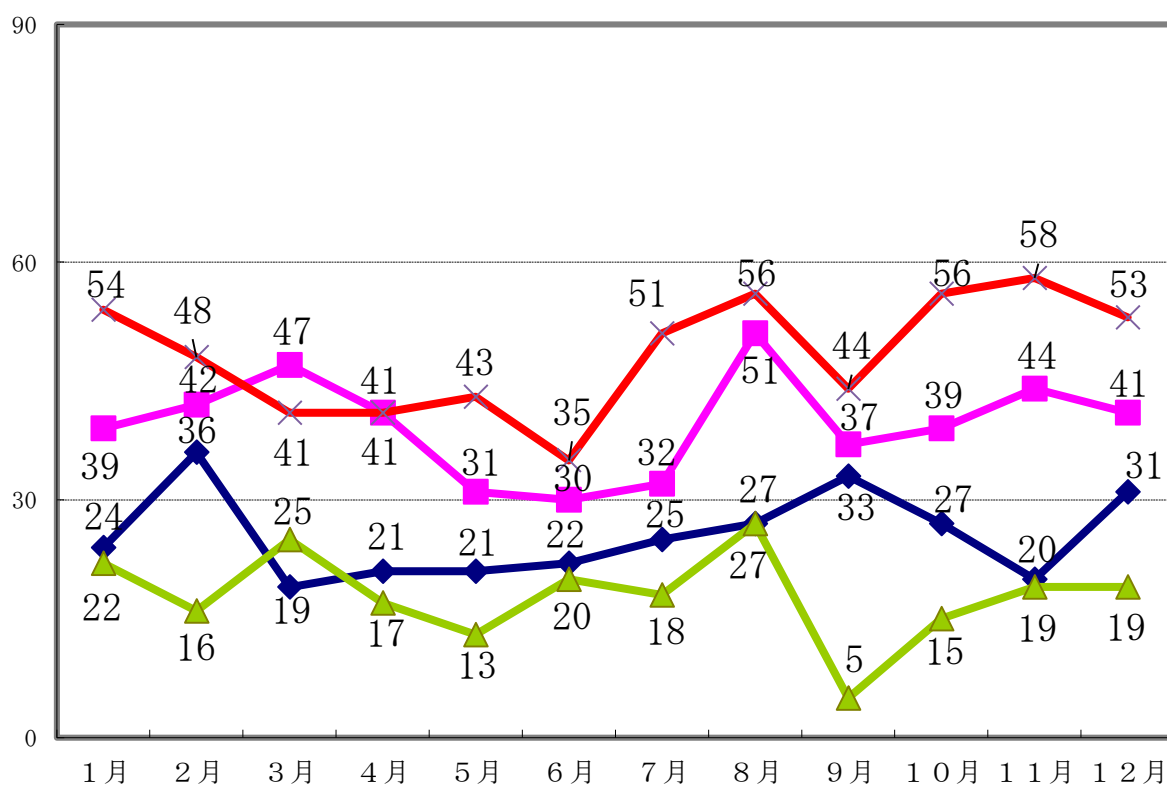
## 救急出動状況

令和7年

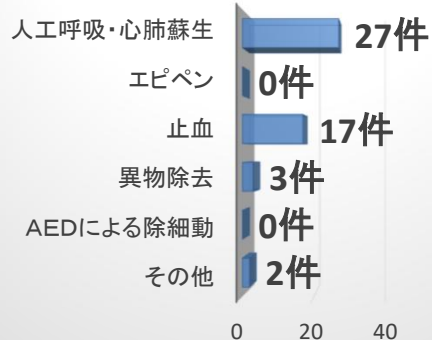
救急出動件数	1, 576件
搬送人員	1, 409人
不搬送件数	182件
一日平均出動件数	4.3件
平均現場到着時間	12.1分

## 救急小隊別出動内訳

◆ 鹿角第1救急小隊 306件   
 ■ 十和田救急小隊 474件   
 ▲ 小坂救急小隊 216件   
 × 鹿角第2救急小隊 580件



## バイスタンダーによる応急手当・救命処置数



# 月 別 救 急 活 動 状 況 調

(単位：件・人)

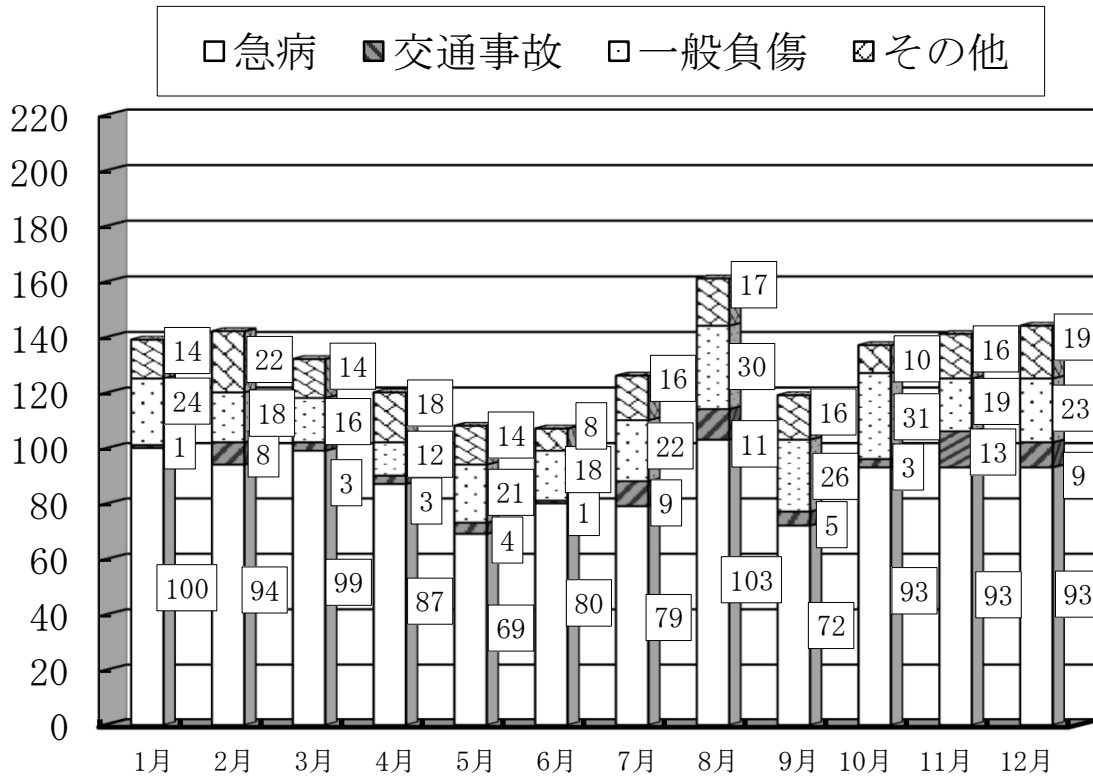
【令和7年 鹿角広域消防本部全救急隊】

月 別	種 別 区 分	合 計	救 急 事 故 種 別											その他			
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
1月	出動件数	139	1			1	1	1	24		1	100	10				
	不搬送件数	15	1						2		1	11					
	搬送人員	125				2	1	1	22			89	10				
2月	出動件数	142				8	2	5	18		2	94	13				
	不搬送件数	15				2			1			12					
	搬送人員	130				9	2	5	17		2	82	13				
3月	出動件数	132	3			3	1	2	16		2	99	6				
	不搬送件数	16	3					1	1		1	10					
	搬送人員	117				3	1	1	15		1	90	6				
4月	出動件数	120	2		1	3		2	12	1	2	87	10				
	不搬送件数	13	2			1			1	1	2	6					
	搬送人員	108			1	2		2	11			82	10				
5月	出動件数	108	1			4		1	21	1	3	69	8				
	不搬送件数	12							2	1		9					
	搬送人員	96	1			4		1	19		3	60	8				
6月	出動件数	107				1			18	1	2	80	5				
	不搬送件数	11										11					
	搬送人員	96				1			18	1	2	69	5				
7月	出動件数	126	2			9	1		22	5	1	79	7				
	不搬送件数	12	2			3			1	3		3					
	搬送人員	115				7	1		21	2	1	76	7				
8月	出動件数	161	1			11	4	1	30		1	103	10				
	不搬送件数	16	1			2			1			12					
	搬送人員	145				9	4	1	29		1	91	10				
9月	出動件数	119	3			5			26		1	72	12				
	不搬送件数	14	3			1			1			9					
	搬送人員	106				4			26		1	63	12				
10月	出動件数	137				3	1		31		1	93	6				2
	不搬送件数	18							1			15					2
	搬送人員	121				5	1		30		1	78	6				
11月	出動件数	141	3			13	2		19			93	11				
	不搬送件数	23	3			4			2			14					
	搬送人員	123				14	2		17			79	11				
12月	出動件数	144				9	1		23	1	2	93	15				
	不搬送件数	17				4			1	1		11					
	搬送人員	127				5	1		22		2	82	15				
計	出動件数	1,576	16	0	1	70	13	12	260	9	18	1,062	113	0	0	0	2
	不搬送件数	182	15	0	0	17	0	1	14	6	4	123	0	0	0	0	2
	搬送人員	1,409	1	0	1	65	13	11	247	3	14	941	113	0	0	0	0

## 月別事故種別救急出動状況調

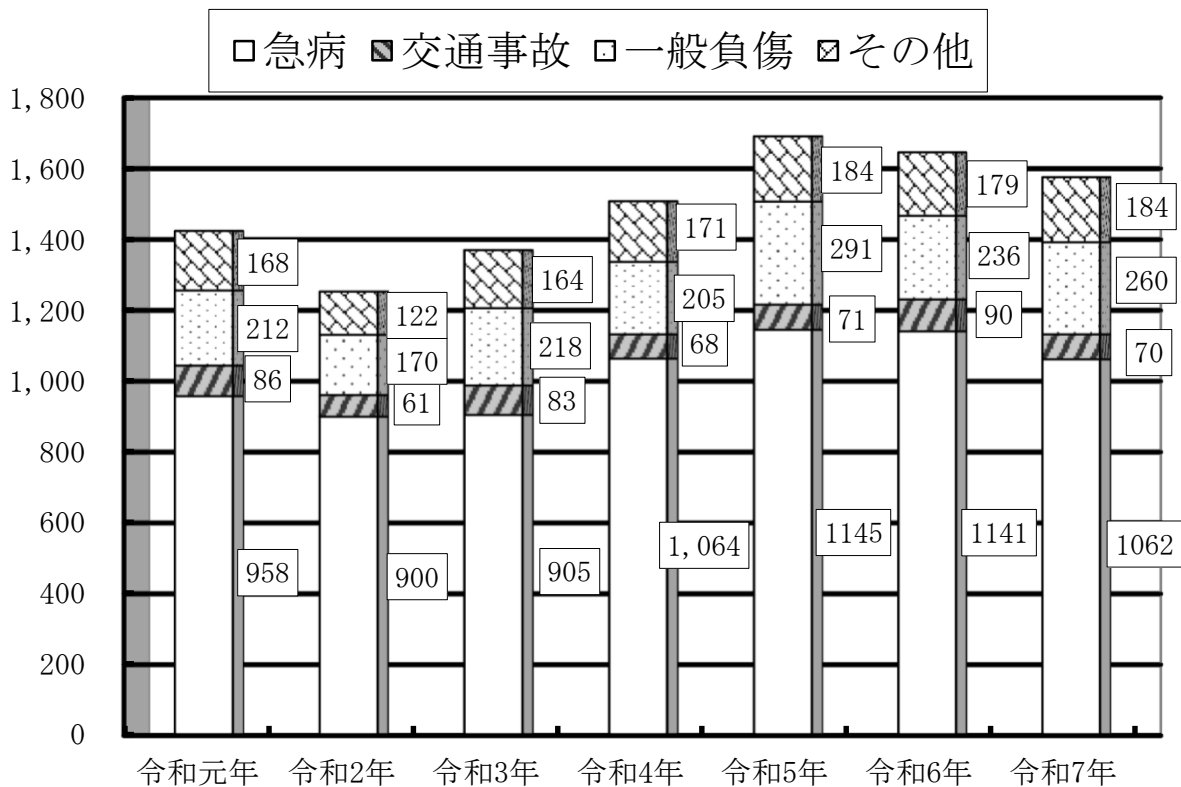
(単位：件)

令和7年



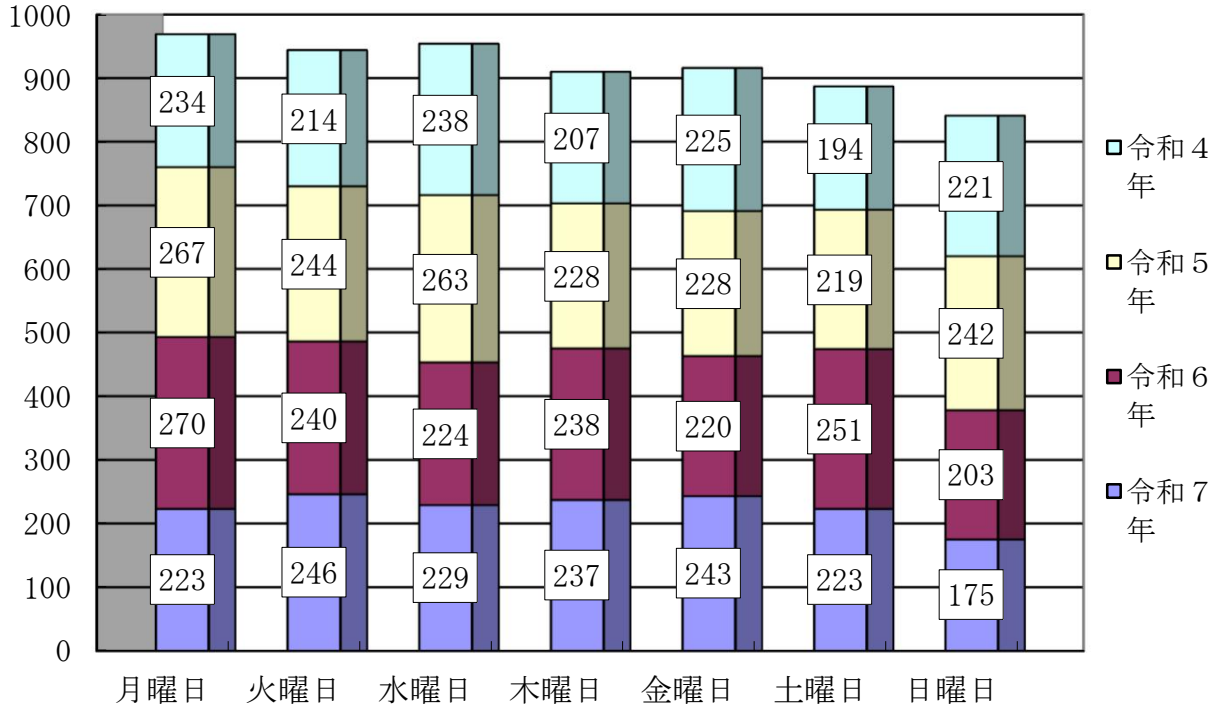
## 事故種別救急出動件数の推移（過去7年間）

(単位：件)



## 年別・曜日別出動状況(出動件数)

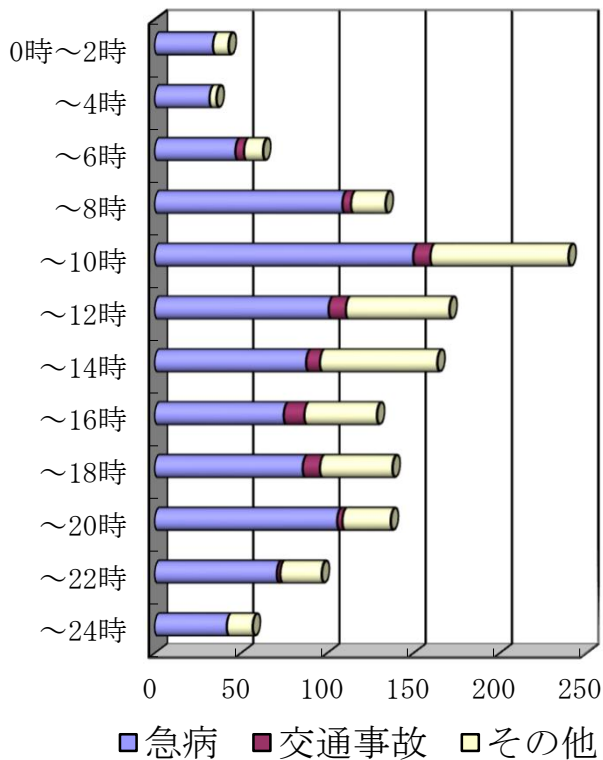
(単位：件)



## 事故種別・時間別・傷病者搬送状況

(単位：人)

令和7年

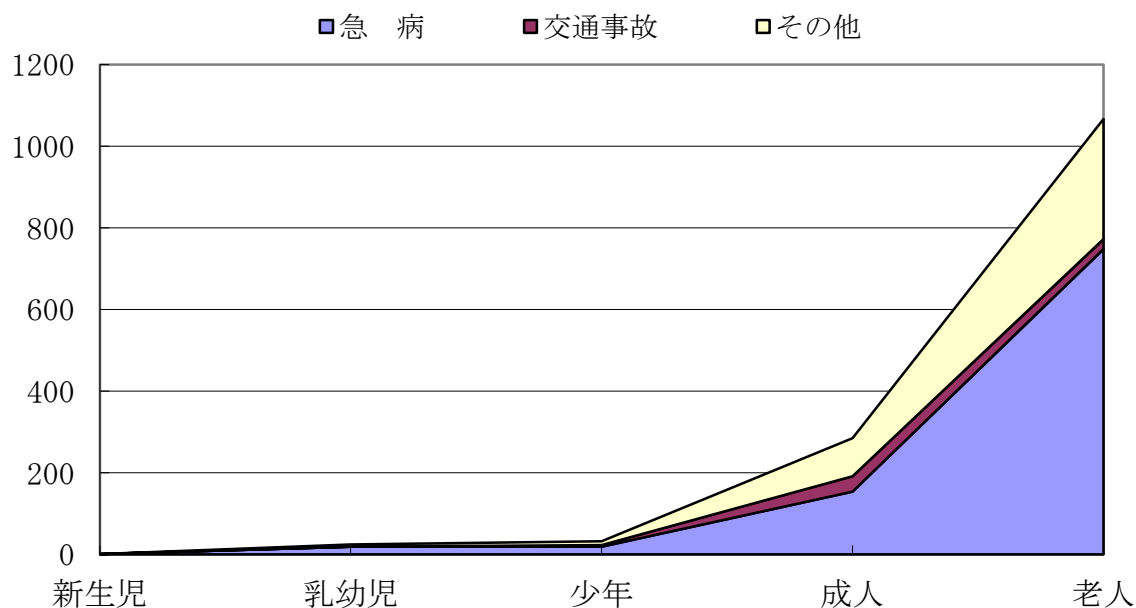


	急病	交通事故	その他
0時～2時	34	0	9
～4時	32	0	4
～6時	47	5	11
～8時	109	5	20
～10時	150	10	80
～12時	101	10	60
～14時	88	8	68
～16時	75	12	42
～18時	86	10	42
～20時	106	3	28
～22時	71	2	24
～24時	42	0	15
合計	941	65	403

## 事故種別・年齢別・傷病者搬送状況（搬送人員）

（単位：人）

令和7年

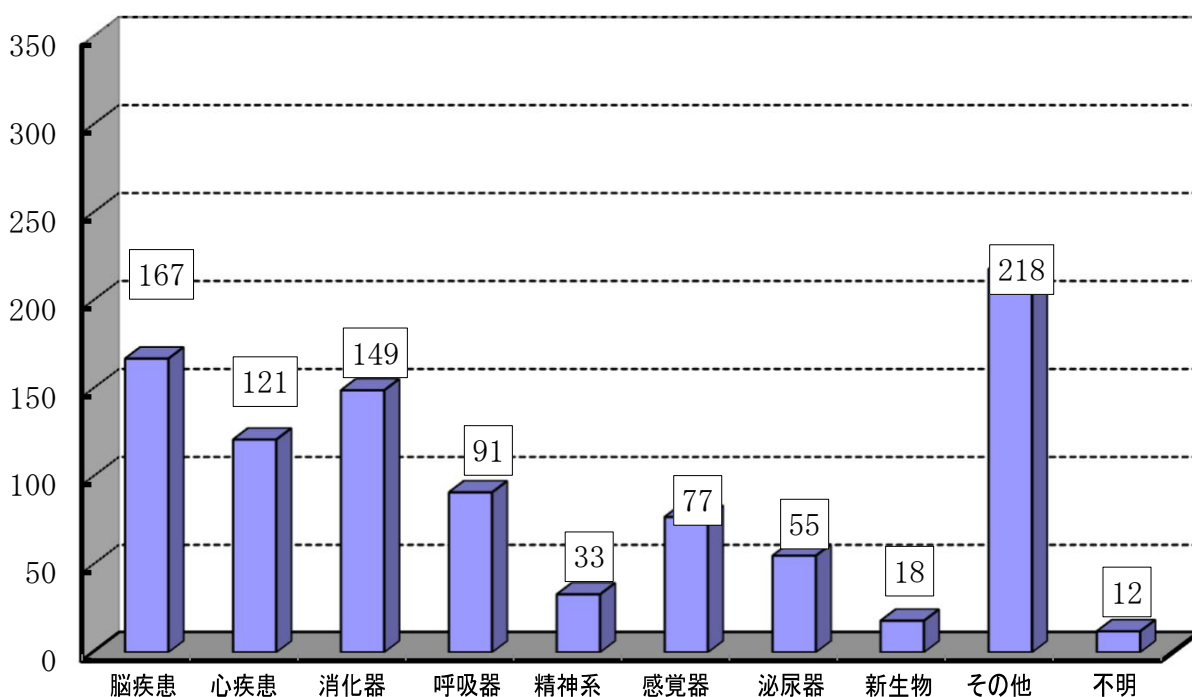


	新生児 0～28日未満	乳幼児 28日～7歳未満	少年 7～18歳未満	成人 18～65歳未満	老人 65歳以上
急病	1	19	19	154	748
交通事故	0	0	4	37	24
その他	0	5	9	94	295
合計	1	24	32	285	1067

## 急病にかかわる疾病別搬送人員調べ（搬送人員）

（単位：人）

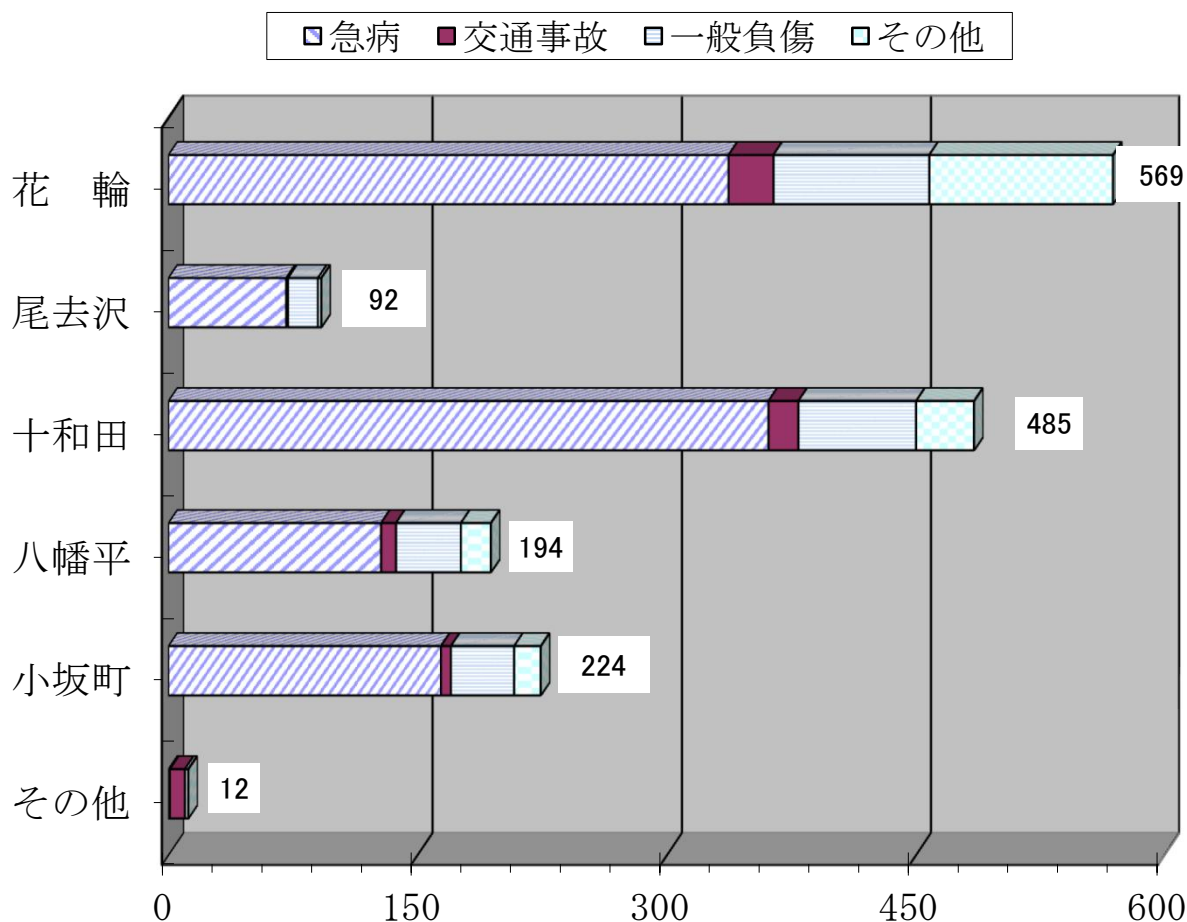
令和7年



# 事故種別・地域別出動状況（出動件数）

（単位：件）

令和7年

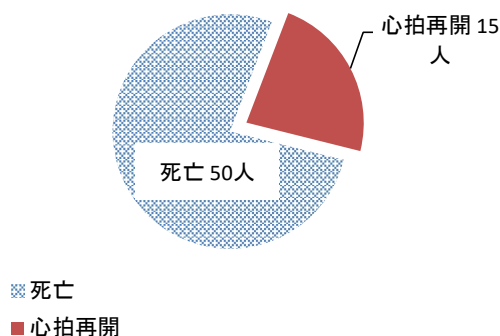


種別 地域	合計	救急事故種別													
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他
花輪	569	2			27	4	6	94	2	5	337	92			
尾去沢	92				1	1	1	18			71				
十和田	485	4			18	1	1	71	2	7	361	18			2
八幡平	194	2			9	3	4	39	5	4	128				
小坂町	224	6		1	6	4		38		2	164	3			
その他	12	2			9						1				
計	1,576	16	0	1	70	13	12	260	9	18	1,062	113	0	0	2

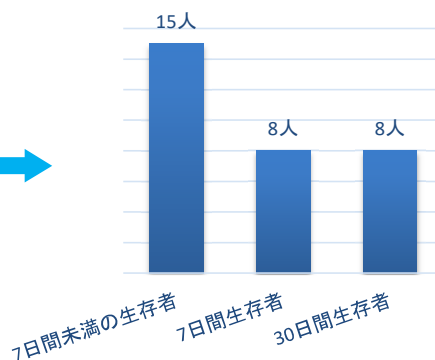
## 救 急 蘇 生 指 標

	令和5年	令和6年	令和7年
救 急 搬 送 人 員	1,479 人	1,468 人	1,409 人
搬送人員のうち心肺停止傷病者	76 人 ( 5.1%)	74 人 ( 5.0%)	65 人 ( 4.6%)
心肺停止傷病者のうち心拍再開傷病者	10 人 ( 13.2%)	14 人 ( 18.9%)	15 人 ( 23.1%)
心肺停止傷病者のうち7日間生存者	2 人 ( 2.6%)	4 人 ( 5.4%)	8 人 ( 12.3%)
心肺停止傷病者のうち30日間生存者	2 人 ( 2.6%)	4 人 ( 5.4%)	8 人 ( 12.3%)

令和7年 搬送した心肺停止傷病者の予後



心拍再開傷病者の内訳



心肺停止傷病者のうち目撃有り傷病者	39 人 ( 51.3%)	32 人 ( 43.2%)	25 人 ( 38.5%)
目撃有り傷病者のうち心拍再開	9 人 ( 23.1%)	7 人 ( 21.9%)	6 人 ( 24.0%)

## 特 定 行 為 実 施 件 数

救急救命士が行った特定行為実施率

	令和5年	令和6年	令和7年
心肺停止傷病者	76 人	74 人	65 人
器具を使用した気道確保	43 件 ( 56.6%)	44 件 ( 59.5%)	37 件 ( 56.9%)
(内) 気管挿管	4 件 ( 5.3%)	4 件 ( 5.4%)	6 件 ( 9.2%)
末梢静脈路確保	58 件 ( 76.3%)	50 件 ( 67.6%)	52 件 ( 80.0%)
薬剤投与(アドレナリン)	14 件 ( 18.4%)	9 件 ( 12.2%)	23 件 ( 35.4%)
電氣的除細動	4 件 ( 5.3%)	4 件 ( 5.4%)	5 件 ( 7.7%)
ショック傷病者	20 人	13 人	17 人
末梢静脈路確保(心停止前)	8 件 ( 40.0%)	11 件 ( 84.6%)	14 件 ( 82.4%)
低血糖傷病者	10 人	5 人	7 人
末梢静脈路確保(心停止前)	9 件 ( 90.0%)	5 件 ( 100.0%)	7 件 ( 100.0%)
薬剤投与(ブドウ糖)	5 件 ( 55.6%)	3 件 ( 60.0%)	3 件 ( 42.9%)

※成功率ではありません。

## 救急救命士による救命処置領域人数

各科搬送人数

	令和5年	令和6年	令和7年
小児科領域の処置	68 人	51 人	49 人
産婦人科領域の処置	6 人	7 人	7 人
精神科領域の処置	12 人	17 人	30 人

## ドクターヘリ要請事案件数調べ

( ) はドクターヘリによる搬送件数

	令和5年	令和6年	令和7年
急 病	0 件 ( 0 )	1 件 ( 0 )	2 件 ( 1 )
交通事故	3 件 ( 2 )	5 件 ( 2 )	8 件 ( 1 )
一般負傷	7 件 ( 2 )	2 件 ( 1 )	8 件 ( 2 )
労働災害	2 件 ( 0 )	2 件 ( 0 )	2 件 ( 0 )
その他	0 件 ( 0 )	0 件 ( 0 )	1 件 ( 0 )

## 各 種 実 習 ・ 研 修 等

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
救急救命東京研修所	1 名	0 名	2 名
指導救命士養成研修	0 名	0 名	0 名
救急救命士就業前病院実習	0 名	1 名	1 名
新規気管挿管病院実習	1 名	1 名	1 名
新規ビデオ喉頭鏡病院実習	0 名	0 名	1 名
救急隊員病院実習	2 名	1 名	2 名

## 救急に関する職員免許・資格所持状況

令和8年4月現在

名 称	実施機関、実習医療機関	職員受講人数
救急科 (救急Ⅱ・救急標準)	秋田県消防学校	68 人
救急救命士 (救急救命士法第34条第1号～第3号)	各大学、専門学校等	15 人
救急救命士 (救急救命士法第34条第4号)	救急救命東京研修所	12 人
指導救急救命士	救急救命九州研修所	3 人
気管挿管認定救急救命士	大館市立総合病院	13 人
ビデオ喉頭鏡認定救急救命士	大館市立総合病院	11 人
薬剤投与 (アドレナリン) 認定救急救命士	かづの厚生病院	21 人
薬剤投与 (ブドウ糖) 認定救急救命士	かづの厚生病院	21 人

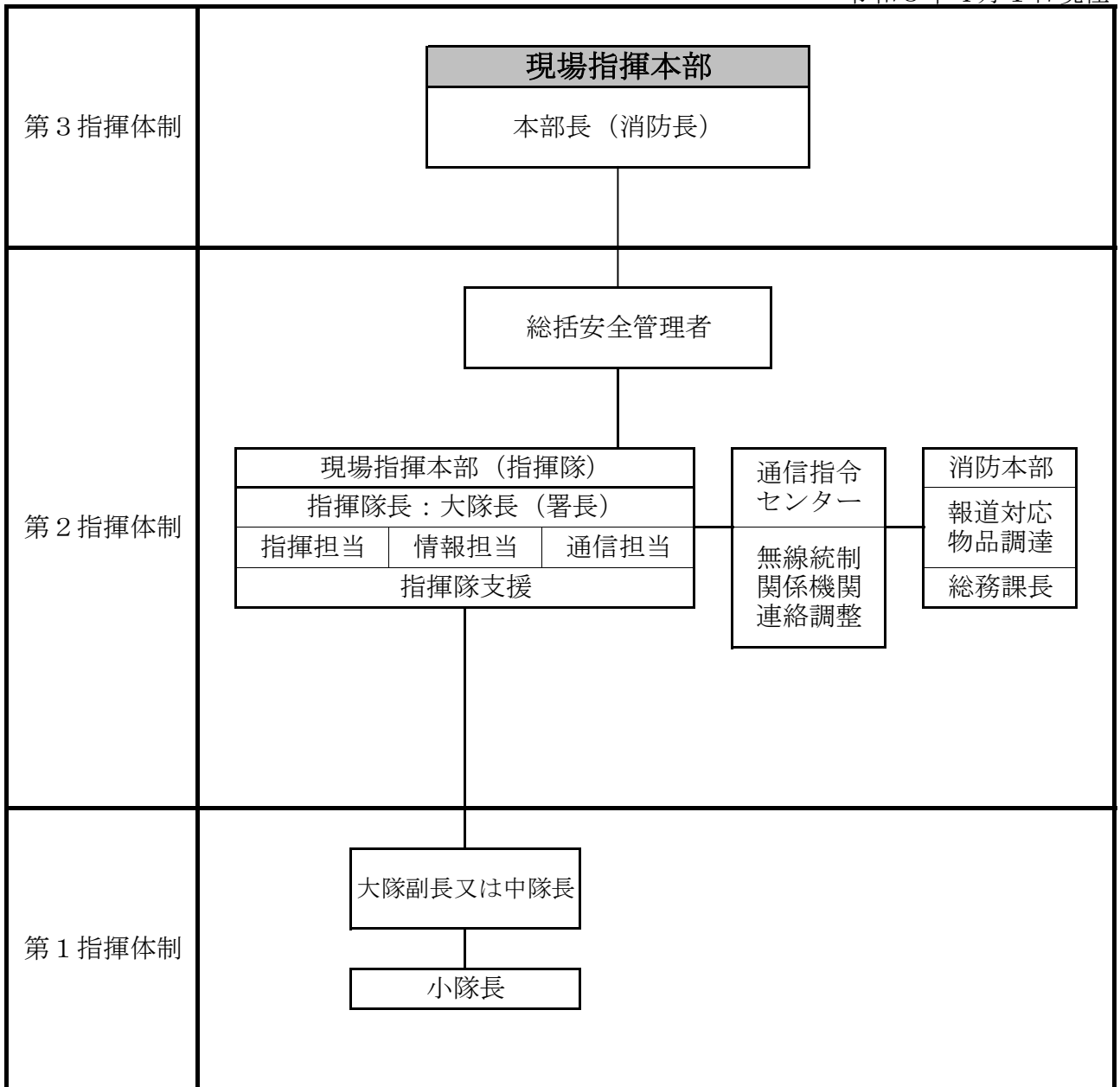
警防・救助

警防・救助



# 安全管理及び指揮体制

令和8年4月1日現在



第1 指揮体制：通常の救急救助事案や警戒事案など、2 個小隊以上が出場する場合は大隊副長又は中隊長の指揮とする。

第2 指揮体制：火災事案や救急救助事案などで2 個中隊以上が出場する場合は、大隊長（署長）の指揮とする。

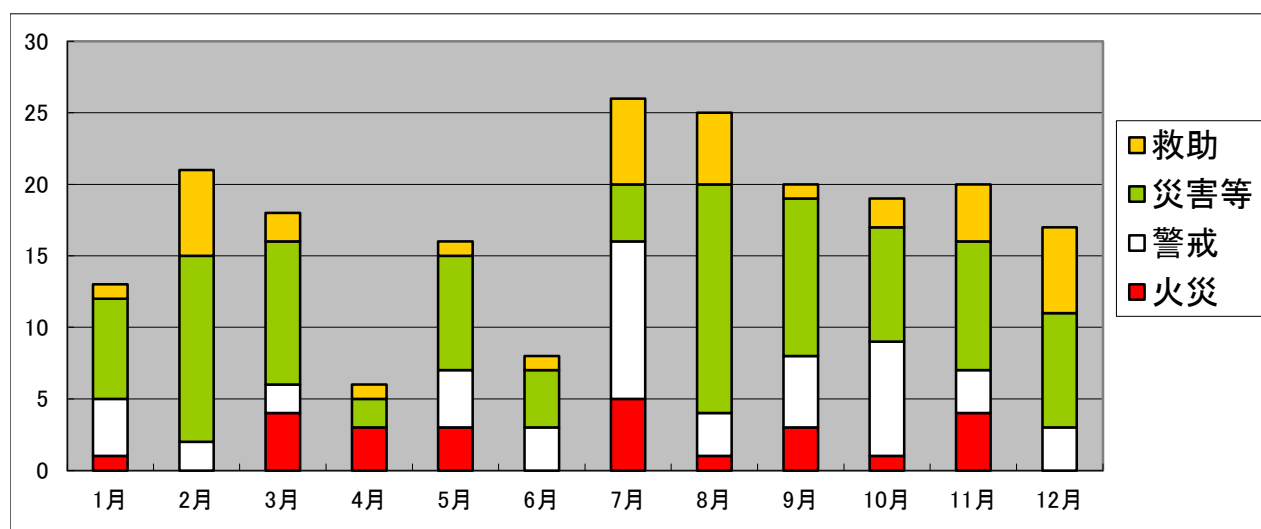
第3 指揮体制：特異火災事案および大規模な救急救助事案などの場合は、本部長（消防長）の指揮とする。

# 警防活動状況

令和7年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災出動件数	建物	1		3	2	1		2		3		3		15
	林野				1	2								3
	車両								1			1		2
	その他			1				3			1			5
警戒	危険物流出	4	1	1		2	1	3		2	2	1		17
	ヘリコプター 離着陸警戒			1		1	1	7	3	3	5	1	2	24
	偵察		1			1	1	1			1	1	1	7
災害等	水害		2				2	1	5	1				11
	台風													0
	雪害												2	2
	その他	7	11	10	2	8	2	3	11	10	8	9	6	87
救助	火災													0
	交通事故		4	1				4	4	1	1	4	6	25
	水難事故				1			1						2
	自然災害													0
	機械による事故	1	1	1										3
	捜索										1			1
	その他		1			1	1	1	1					5
合計	13	21	18	6	16	8	26	25	20	19	20	17	209	

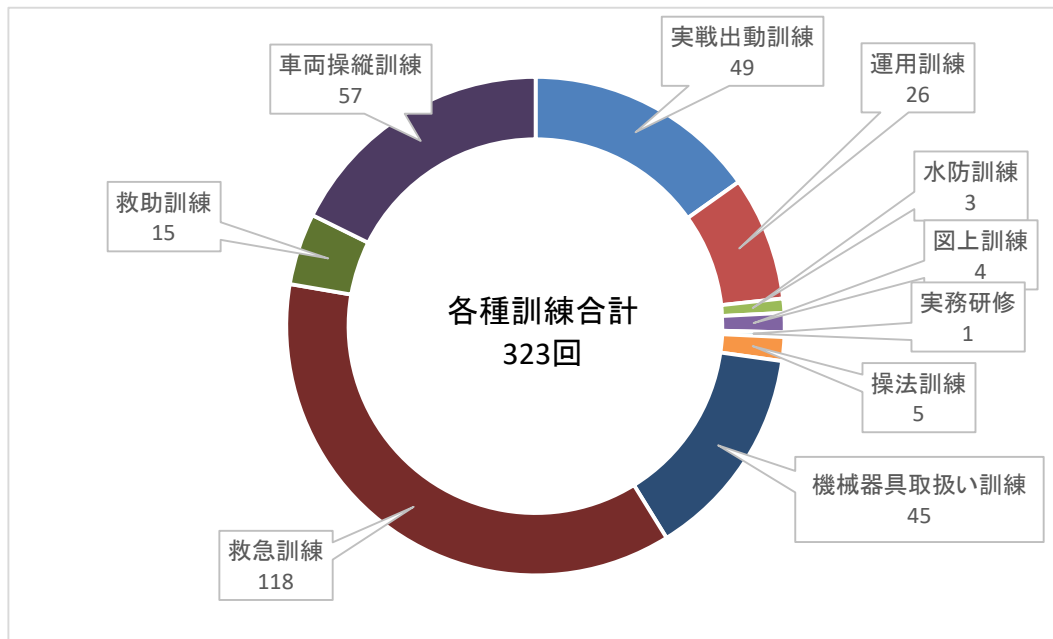
※ 上記の火災出動件数は火災統計上の件数とは一致しません。



## 各種訓練状況

令和7年

種 別	回 数 ( 回 )
実 戦 出 動 訓 練	49
運 用 訓 練	26
水 防 訓 練	3
図 上 訓 練	4
実 務 研 修	1
操 法 訓 練	5
機 械 器 具 取 扱 い 訓 練	45
救 急 訓 練	118
救 助 訓 練	15
車 両 操 縦 訓 練	57
合 計	323



- 実戦出動訓練とは、火災を想定した実戦的な訓練です。
- 運用訓練とは、車両等の操作・構造・性能を熟知するための訓練です。
- 水防訓練とは、水災害に対処するための技術訓練です。
- 図上訓練とは、作戦・計画を考え現場を想定した訓練です。
- 実務研修とは、長期研修中に、消防署内で行った研修です。
- 操法訓練とは、基本動作を主とした規律・技術訓練です。
- 機械器具取扱い訓練とは、現場で使用する資機材を熟知する訓練です。
- 救急訓練とは、救急現場で必要とする知識・手技の向上訓練です。
- 救助訓練とは、救助資機材を使用した救助隊の訓練及び消防救助技術大会へ向けての訓練です。
- 車両操縦訓練とは、機関員養成及び運転技術向上のための訓練です。

## 救助体制

令和8年4月1日現在

隊数	合計	専任救助隊数	兼任救助隊数
	省令第3条救助隊	1	0

隊員数	合計	救助科修了者	消防長認定者
	兼任救助隊員数	28	8

車数	合計	取得年月日	型式	メーカー	原動機の種類	取得方法
	救助工作車数	1	平成15年2月5日	II型	日本機械工業	ディーゼル

## 救助器具保有状況

令和8年4月1日現在

分類	名 称	消防本部	消防署		十和田分署	小坂分署	省令別表第1の必要個数	省令別表第2の必要個数
		総務省貸与	救助隊					
一般救助器具	かぎ付はしご	4		2	1		1	
	三連はしご	6		3	1	1	1	
	金属製折りたたみ梯子又はワイヤはしご	3		2		1	1	
	空気式救助マット	1			1		1	
	救命索発射銃	1			1		1	
	サバイバースリング又は救助用縛帯	4			1	1	2	1
	平担架	1			1		1	
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	2			2		1	
	油圧スプレッダー	2			1	1	1	
	可搬ウィンチ	3			1	1	1	
	マンホール救助器具	1			1		1	
	マット型空気ジャッキ	1			1			1
	大型油圧スプレッダー	2			1	1		1
切断用器具	油圧切断機	2			1	1	1	
	エンジンカッター	4		1	1	1	1	
	ガス溶断器	1			1		1	
	チェーンソー	7		3	1	1	2	1
	鉄線カッター	4		1	1	1	1	
	空気鋸	2		1		1		1
	大型油圧切断機	2			1	1		1
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1	1		1			1
破壊用器具	万能斧	3			1	1	2	
	ハンマー	8		2	2	3	1	
	携帯用コンクリート破壊器具	1			1		1	
	削岩機	1			1			1
	ハンマドリル	2			2			1
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	1			1		1	
	有毒ガス測定器	1			1		1	
	酸素濃度測定器	1			1		1	
	放射線測定器	8	8	8			1	
呼吸保護用器具	空気呼吸器(予備ボンベ含む)	50		29	5	8	8	5
	空気補充用ボンベ	6			6			1
	送排風機	2		1	1			1

## 救助器具保有状況

分類	名 称	消防本部		消防署		十和田分署	小坂分署	省令別表 第1の必要 個数	省令別表 第2の必要 個数
			総務省 貸与		救助隊				
隊員保護用器具	耐電手袋	2			2			5	
	耐電衣	2			2				2
	耐電ズボン	2			2				2
	耐電長靴	2			2				2
	防塵メガネ	0						5	
	携帯警報器	15			5	5	5	5	
	防毒マスク	15	15	15				5	
	化学防護服(陽圧式化学防護服を除く)	5			5			2	
	陽圧式化学防護服	3			3			5	
	耐熱服	4			4			2	
	個人線量計	21	21	21				2	
	特殊ヘルメット	2			2				2
	除染用器具	除染シャワー	1	1	1				1
除染剤散布器		2	2	2				2	
水難・山岳用器具	救命胴衣	37		21	5	7	4	5	
	救命浮環	4		2		1	1	10	
	救命ボート	2			1		1	1	
	バスケット担架	1			1			1	
	潜水器具一式	5		5				5	
	水難救助用ヘルメット	7		7					
	水難救助用ウェットスーツ(ドライ含む)	18		18					
	PFD (警笛、ナイフ含む)	7		7					
	シューズ	8		8					
スローバック	16		12			4			
その他の救助器具	投光器一式	7		4	1	1	1	1	
	携帯投光器	8		2		4	2	5	
	携帯拡声器	13		8	1	2	2	2	
	緩降器	1			1				1
	ロープ登降機	5			5				1
	携帯無線機	40		21	1	9	9	2	
	発電機	9		5	1	1	2		1

## 救助訓練状況

令和7年

訓練種別			
	実施延回数	実施延人員	実施延時間
体力練成訓練	61回	1,072名	62時間
ロープ基本・応用訓練	96回	1,312名	130時間
検索・救助訓練	88回	1,201名	103時間
各種救助器具取扱訓練	43回	251名	64時間
各種救助事象想定訓練	32回	215名	45時間
その他の訓練	61回	1082名	69時間

## 緊急消防援助隊 出動履歴

災害名	派遣先	派遣期間	派遣隊		隊数	人員	
平成20年(2008年) 岩手・宮城内陸地震	宮城県 (栗原市)	平成20年 6月14日 ～平成20年 6月18日	秋田県隊 第1派遣	一次	救助隊	1 隊	5 名
					後方支援隊	1 隊	2 名
岩手県沿岸北部を 震源とする地震	岩手県 (活動無し)	平成20年 7月24日 ～平成20年 7月25日	秋田県隊 第1派遣	一次	救助隊	1 隊	5 名
					後方支援隊	1 隊	2 名
平成23年(2011年) 東北地方太平洋沖地震  「東日本大震災」	岩手県 (宮古市)	平成23年 3月11日 ～平成23年 3月15日	秋田県隊 第1派遣	一次	救助隊	1 隊	5 名
				後方支援隊	1 隊	2 名	
		平成23年 3月12日 ～平成23年 3月15日		二次	消火隊	1 隊	4 名
		平成23年 3月15日 ～平成23年 3月19日		三次	救助隊	1 隊	5 名
					救急隊	1 隊	3 名
		平成23年 3月19日 ～平成23年 3月23日		四次	後方支援隊	1 隊	2 名
					救助隊	1 隊	5 名
	平成23年 3月23日 ～平成23年 3月27日	五次	救急隊	1 隊	3 名		
			後方支援隊	1 隊	2 名		
	平成23年 3月27日 ～平成23年 3月31日	六次	救急隊	1 隊	3 名		
後方支援隊			1 隊	2 名			
平成23年 3月31日 ～平成23年 4月 4日	七次	救急隊	1 隊	3 名			
		後方支援隊	1 隊	2 名			
宮城県 (登米市)	平成23年 4月25日 ～平成23年 4月28日	秋田県隊 第2派遣	四次	救急隊	1 隊	3 名	
				後方支援隊	1 隊	2 名	
東日本大震災への派遣合計						17 隊	51 名
令和元年(2019年) 台風第19号に伴う災害	宮城県 (丸森町)	令和元年10月13日 ～令和元年10月16日	秋田県隊 第1派遣	一次	消火隊	1 隊	5 名
				後方支援隊	1 隊	2 名	
		令和元年10月16日 ～令和元年10月18日	秋田県隊 第2派遣	二次	消火隊	1 隊	5 名
				後方支援隊	1 隊	2 名	
令和元年台風第19号に伴う災害への派遣合計						4 隊	14 名
令和7年(2025年) 岩手県大船渡市山林火 災に伴う出動	岩手県 (大船渡市)	令和7年2月27日 ～令和7年3月1日	秋田県隊 第1派遣	一次	消火隊	1 隊	5 名
				後方支援隊	1 隊	2 名	
		令和7年3月1日 ～令和7年3月4日	秋田県隊 第2派遣	二次	消火隊	1 隊	5 名
				後方支援隊	1 隊	2 名	
		令和7年3月4日 ～令和7年3月7日	秋田県隊 第3派遣	三次	消火隊	1 隊	5 名
				後方支援隊	1 隊	2 名	
	令和7年3月7日 ～令和7年3月10日	秋田県隊 第4派遣	四次	消火隊	1 隊	5 名	
	後方支援隊		1 隊	2 名			
令和7年3月10日 ～令和7年3月13日	秋田県隊 第5派遣	五次	消火隊	1 隊	5 名		
		後方支援隊	1 隊	2 名			
令和7年3月13日 ～令和7年3月16日	秋田県隊 第6派遣	六次	消火隊	1 隊	5 名		
				後方支援隊	1 隊	2 名	
令和7年岩手県大船渡市山林火災に伴う出動派遣合計						12 隊	42 名

## 緊急消防援助隊 秋田県隊登録車両

令和8年4月1日現在

車両区分		所属	国庫補助、起債	緊援隊登録年	対空表示	NBC登録
消火隊	水槽付消防ポンプ車（Ⅱ型）	消防署	緊急消防援助隊 施設整備費補助金	令和6年	秋田かづのT1	—
	水槽付消防ポンプ車（Ⅱ型）	小坂分署	緊急消防援助隊 施設整備費補助金	平成23年	秋田Pかづの	—
救急隊	高規格救急車	消防署	緊急消防援助隊 施設整備費補助金	令和4年	秋田鹿角A1	—
後方支援	人員輸送車	消防本部	緊急防災・減災事業債	令和2年	—	—

## 緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練出動開催地

年度	開催地	訓練隊	訓練内容
平成12年	秋田県秋田市	消火隊	危険物火災対応訓練
平成18年	青森県八戸市	救助隊	多重衝突事故救出救護 訓練野営訓練
平成20年	秋田県大仙市	特殊災害支援隊 及び消火隊	野営訓練、特殊(BC)災害救出救護訓練 及び遠距離送水・延焼阻止線設定訓練
平成21年	山形県鶴岡市	救助隊	野営訓練及び多重損壊建物救出救護訓練
平成25年	北海道苫小牧市	救急隊	5階建物座屈救助・救急訓練・野営訓練
平成26年	青森県弘前市	救助隊及び 後方支援小隊	野営訓練・都市型災害捜索救助訓練（USAR訓練） 土砂災害救出訓練
平成28年	秋田県能代市	救助隊及び 後方支援小隊	土砂災害救出訓練・後方支援活動訓練・野営訓練
令和5年	岩手県宮古市	救急隊及び 後方支援小隊	野営訓練及び土砂災害救出訓練・多重損壊建物救出訓練
令和6年	秋田県秋田市	救急隊	落石交通事故多数傷病者対応訓練
令和7年	山形県新庄市	消火隊及び 後方支援小隊	浸水地域及び土砂災害救出訓練、後方支援活動訓練



# 通信

## 災害情報の配信

災害情報自動案内サービス 30-1720

(発生中の災害等の情報を提供しています。)

### 鹿角市・小坂町メール配信サービス

防災情報をはじめ、気象警報や火災事故・防犯・農林業・学校などに関する情報、市・町のイベント情報やお知らせ情報を配信します。

鹿角市・小坂町メール配信サービスの利用を希望される方は、登録が必要です。  
下記のメールアドレスへ空メールを送信して下さい。

鹿角市 [e-kazuno@xpressmail.jp](mailto:e-kazuno@xpressmail.jp)

小坂町 [e-kosaka@xpressmail.jp](mailto:e-kosaka@xpressmail.jp)



鹿角市用QRコード 小坂町用QRコード



# 気象状況・極値

令和7年

観測地点 鹿角広域行政組合消防署 秋田県鹿角市花輪字向畑100番地2

緯 度 北緯40度13分04秒  
 経 度 東経140度47分14秒  
 標 高 121.5m

〈気象状況〉

要素		月												年合計	年平均		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
気温 ℃	最高気温	令和7年	6.0	10.8	14.1	22.0	28.3	33.9	36.6	35.7	31.2	26.8	16.6	17.0	/	23.3	
		平年値	0.6	1.7	5.8	13.6	19.9	23.8	26.8	28.1	24.0	17.4	10.1	3.0		14.6	
	最低気温	令和7年	-9.8	-9.6	-8.3	-4.2	3.5	8.1	14.6	16.0	8.6	-1.8	-3.9	-7.7	/	0.5	
		平年値	-7.1	-6.9	-3.7	1.6	8.0	13.4	17.9	18.5	13.6	6.3	0.7	-4.1		4.8	
	平均気温	令和7年	-1.2	-1.2	2.4	9.1	14.1	20.8	25.7	24.8	20.2	11.9	5.2	0.7	/	11.0	
		平年値	-2.9	-2.3	1.0	7.4	13.8	18.3	21.9	22.8	18.3	11.4	5.0	-0.5		9.5	
日照時間(時間)			78.8	66.6	110.2	96.9	170.6	179.1	206.3	200.9	171.5	127.4	95.5	39.6	1,543.4	128.6	
降水量(mm)			50.5	62.5	57.5	107.5	106.0	111.5	25.5	330.5	316.5	134.0	176.5	211.5	1,690.0	140.8	
降雪量(cm)			150	184	45	0	0	0	0	0	0	0	6	119.0	504	42.0	
平均湿度(%)			93.1	85.1	80.0	81.3	65.5	84.8	80.9	81.9	81.6	81.3	83.3	83.4	/	81.9	
平均風速(m/s)			1.3	2.4	1.9	2.1	1.8	1.8	1.4	1.3	1.2	1.2	1.6	1.6	/	1.6	
最多風向			SSE	SW	WSW	WSW	WSW	W	W	S	N	S	SSE	SE	/	WSW	
大気現象(日)		霜										1			1	/	
		雷														0	/
		霧	4	1	1							4	7	2		19	/
		雨			8	15	11	9		9	9	9	11	9		90	/
		雹(ヒョウ)														0	/
		雪	11	10	3									2	12	38	/

注\*

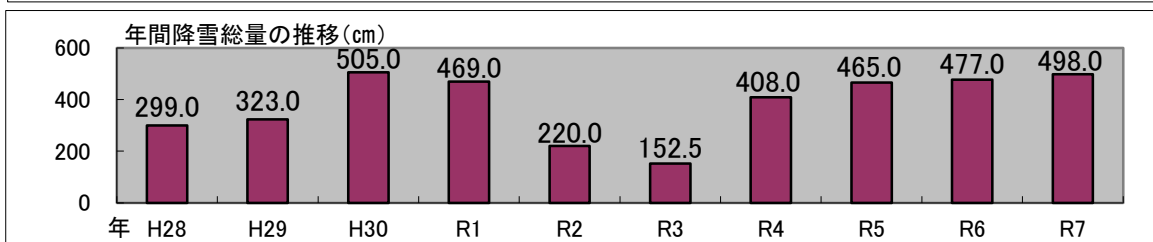
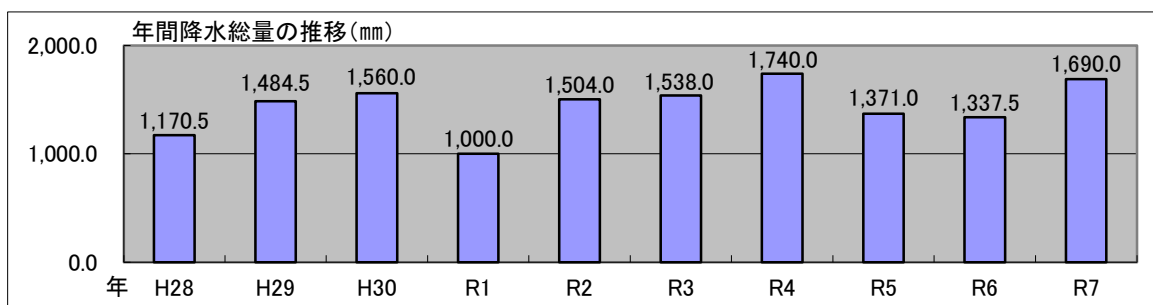
- 平年値は、気象庁の観測値に基づき、1991年から2020年まで(30年間)の平均値です
  - 最高気温、最低気温はその月の最高気温の平均値、最低気温の平均値です
  - 日照時間の数値は、気象庁の地域気象観測システム(アメダス)鹿角観測所のデータです
  - 降雨日数は、0.5mm以上を観測した日数です
- 注\* 12月で除しております

〈極値〉

最高気温	7月30日	36.6℃
最低気温	1月27日	-9.8℃
最高気温30℃以上の日数(真夏日)		47日
最高気温-0.1℃以下の日数(真冬日)		12日
最低気温-0.1℃以下の日数(冬日)		119日
最低気温-10℃以下の日数		0日
最多降雨 1時間	9月2日 9時~10時	35.5 mm
最多降雨 24時間	9月2日	136.5 mm
最深降雪	2月20日	27.0 cm
最深積雪	2月24日	124.0 cm
最多日照日	6月9日	13.8 時間
不日照日	(年間日数)	50日
最大日平均風速	5月2日	11.9 m/s
最大瞬間風速	2月5日	21.3 m/s
最多風向	WSW	14.2 %

## 過去10年間の気象の推移

要素		年									
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
年平均 ℃	平均気温	10.1	9.5	9.9	10.3	10.4	10.4	10.2	11.3	11.3	11.0
	最高気温	15.0	14.3	14.8	15.0	22.4	23.3	22.2	23.9	23.8	23.3
	最低気温	5.8	5.1	5.5	5.6	1.2	0.3	-0.4	0.5	0.4	0.5
極気 温℃	最高気温	36.3	34.1	36.4	35.8	35.5	36.6	34.0	37.2	33.9	36.6
	最低気温	-11.3	-13.1	-16.7	-13.1	-13.7	-15.7	-14.9	-15.4	-12.4	-9.8
平均湿度(%)		85.9	89.2	89.3	87.7	91.3	90.7	91.1	90.7	88.3	82.7
平均風速(m/s)		1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6
総日照時間(h)		1,583.1	1,444.4	1,440.3	1,716.5	1,388.9	1,665.4	1,615.2	1,757.4	1,684.2	1,543.4
降水 量 (mm)	年総量	1,170.5	1,484.5	1,560.0	1,000.0	1,504.0	1,538.0	1,740.0	1,371.0	1,337.5	1,690.0
	一日最多	100.5	142.5	127.0	191.5	80.0	49.0	126.0	86.0	90.5	136.5
降雪 量 (cm)	年総量	299.0	323.0	505.0	469.0	220.0	152.5	408.0	465.0	477.0	498.0
	一日最多	45.0	20.0	20.0	14.0	26.0	35.0	23.0	25.0	40.0	27.0
	最深積雪量	45.0	55.0	85.0	60.0	40.0	41.0	81.0	85.0	67.0	124.0
降雪日数(日)		76	89	79	89	45	44	112	81	81	82
初雪(月日)		11月9日	11月16日	11月22日	11月29日	11月28日	11月26日	11月30日	11月24日	11月18日	11月18日
今冬根雪(月日)		12月16日	12月17日	12月7日	12月20日	12月30日	12月16日	12月14日	12月18日	12月13日	12月26日
雪消え日(根雪)		3月8日	3月22日	3月19日	3月11日	2月21日	3月24日	3月13日	3月14日	3月15日	3月25日



※ 各年、1月～12月の統計です

※ 降雪量の値は、寒候期(前年秋から当年春)の統計ではありません

## 気象観測開始(昭和35年10月1日)からの気象極値

・最も高い気温を観測したとき	平成12年7月31日	38.2 °C
・最も低い気温を観測したとき	昭和42年2月12日	-19.8 °C
・最も強い風が吹いたとき	平成16年9月8日	34.6 m/s
・1時間に最も多く雨が降ったとき	令和4年8月13日	71.0 mm
・1日(24時間)に最も多く雨が降ったとき	平成19年9月17日	161.5 mm
・1日(24時間)に最も多く雪が降ったとき	平成3年1月4日	53.0 cm
・最も多く雪が積もったとき	平成27年2月11日	140.0 cm
	平成27年2月15日	

## 119番着信状況

令和7年  
【単位:件】

種 別	件 数	うち携帯電話
火 災	24	10
救 急	1,508	568
救 助	35	13
警 戒	69	10
問い合わせ	104	47
いたずら	1	0
まちがい	80	49
重 複	99	72
試 験	139	21
通報訓練	292	68
そ の 他	133	45
合 計	2,484	903

## 災害情報配信システム(メール配信)登録状況

令和8年4月1日現在

区 分		登録者(人)
消防職員		85
鹿角市消防団	消防団本部	20
	花輪地区	109
	尾去沢地区	57
	八幡平地区	156
	十和田地区	164
小坂町消防団		61
一般(鹿角市)		8,464
〈極値〉		1,869
合 計		10,985

## 消防緊急通信指令施設等の機器構成

主な装置名	数量	備考
指令装置 指令台 自動出動指定装置 地図等検索装置 支援情報表示装置 長時間録音装置 非常用指令設備 指令制御装置 携帯電話・IP電話受信転送装置 プリンタ カラープリンタ スキャナ	2台 1式 2台 2式 1式 1式 1式 1式 1式 1台 1台 1台	分離設置型、1台2事案対応化  指令台に併設 デジタル記録式  自立型、装置内主要部2重化構成 指令制御装置内蔵
表示盤 車両運用表示盤 支援情報表示盤 多目的情報表示盤 補助表示盤 災害対策室用表示盤 映像制御装置	1面 1面 1面 2面 1面 1式	60インチワイド液晶 2分割・4分割表示対応 60インチワイド液晶 2分割・4分割表示対応 60インチワイド液晶 2分割・4分割表示対応 42インチワイド液晶 2分割・4分割表示対応 50インチワイド液晶
指令電送装置 指令情報送信装置	1台	
気象情報収集装置	1式	風向・風速・温度・湿度・雨量・気圧
災害状況等自動案内装置	1台	
順次指令装置	1台	
音声合成装置	1台	
出動車両運用管理装置 管理装置 車両運用端末装置 車外設定端末装置	1台 17式 11式	6動態登録
本部用ネットワーク装置	1式	
〈極値〉	1式	
電源設備 無停電電源装置 直流電源装置(48V系) 非常用発動発電機(本部用)	1式 1式 1式	消防救急デジタル無線設備と共用
統合型位置情報通知装置	1式	統合型(固定電話、IP電話、携帯電話)
Eメール指令装置	1式	
119受信FAX	1台	
署所設置装置 署所端末装置 駆け込み通報装置 指令情報出力装置 無停電電源装置(署所用) 署所用情報表示盤 高速電源避雷器(署所用) 署所用発動発電機 ネットワーク機器	4台 4台 4台 4式 4式 3式 3式 1式	指令回線共用型(署所用) 車両運用端末管理機能(署所用)  42インチワイド液晶
消防情報支援システム 消防情報管理装置 消防情報支援端末装置 周辺機器 ソフトウェア	1式 7台 3式 1式	データベースサーバ デスクトップ型PC7台(署所用含む) カラープリンタ、スキャナ(署所用含む)
避雷装置(本部) 高速電源避雷器 高速回線避雷器	1式 1式	
サイレン吹鳴システム	1式	
NET119受信装置	1式	デスクトップ型PC、モニタ、プリンタ

# 通信設備状況

令和8年4月1日現在

常置場所		消防本部	通信指令センター	消防署	十和田分署	小坂分署	南出張所	東北自動車道（坂梨トンネル）	鹿角市水晶山	鹿角市八幡平（坂比平）	小坂町大岱	消防団施設	計	合計
設置区分														
有線	119回線		6										6	9
	FAX119回線		1										1	
	119転送回線		2										2	
	災害情報案内サービス		1										1	24
	NEXCO東日本回線		1										1	
	順次指令回線		1										1	
	指令回線		1	1	1	1	1						5	
	緊急通報装置回線		1	1	1	1	1						5	
	内線専用回線	1	1	1	1	1							5	
	一般FAX回線	1	1	1	1	1	1						6	
デジタル無線	基地局						2	1	1	1			5	103
	固定局		1					1		1			3	
	固定局(サイレン局)				1	1	1		1			6	10	
	移動局(卓上型)		2		2	2	1						7	
	移動局(可搬型)	1		1									2	
	移動局(車載型)	5		7	3	3	1						19	
	移動局(携帯型)	6		14	9	9	2						40	
AVM(車載)	3		7	3	3	1						17		
県総合防災情報システム	衛星携帯用電話		1										1	5
	専用電話機		1										1	
	一斉指令受令電話機		1										1	
	防災情報端末		1										1	
	映像受信装置		1										1	
携帯電話等	救急車等			1	1	1	1						4	13
	指揮隊用	2											2	
	IP無線機	1	1	2	1	1	1						7	

# ドクターヘリ 要請状況

令和7年

月別	区分	種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
														転院搬送	その他	
1月	要請件数	0														
	出動件数	0														
	搬送人員	0														
2月	要請件数	1							1							
	出動件数	0							0							
	搬送人員	0							0							
3月	要請件数	1													1	
	出動件数	1													1	
	搬送人員	1													1	
4月	要請件数	0														
	出動件数	0														
	搬送人員	0														
5月	要請件数	3					1			1			1			
	出動件数	3					1			1			1			
	搬送人員	0					0			0			0			
6月	要請件数	1													1	
	出動件数	1													1	
	搬送人員	1													1	
7月	要請件数	6					1			1			1		3	
	出動件数	6					1			1			1		3	
	搬送人員	4					0			0			1		3	
8月	要請件数	5					2	2							1	
	出動件数	4					2	1							1	
	搬送人員	2					1	0							1	
9月	要請件数	5					1			1					3	
	出動件数	4					1			1					2	
	〈極値〉	3					0			1					2	
10月	要請件数	8								4					4	
	出動件数	7								3					4	
	搬送人員	5								1					4	
11月	要請件数	5					1			1					3	
	出動件数	1					1			0					0	
	搬送人員	0					0			0					0	
12月	要請件数	5					2								3	
	出動件数	2					1								1	
	搬送人員	1					0								1	
計	要請件数	40	0	0	0	8	2	1	8	0	0	2	19	0		
	出動件数	29	0	0	0	7	1	0	6	0	0	2	13	0		
	搬送人員	17	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	13	0		

北東北三県ドクターヘリの広域連携に係る他県への要請状況

	岩手県ドクターヘリ	青森県ドクターヘリ (八戸含む)
要請件数	25	2
出動件数	14	0
搬送人員	9	0

# 消防団



## 鹿角市 (かづのし)

鹿角市の「かづの」を図案化したもので、融和団結、円満平和及び伸びゆく鹿角を表したものです。

## 小坂町 (こさかまち)

小坂町出身の故福田豊四郎画伯の案を図案化したもので、中央の星形は小坂の「小」をイメージし周辺の途切れたリングは、鹿角郡の「鹿角」の鹿の角を表したものです。

市の花 ベニヤマザクラ  
市の木 ナナカマド  
市の鳥 声良鶏

町の花 アカシアの花  
町の木 ベニヤマザクラ  
町の魚 ヒメマス





## 消防団装備・階級別実員

《鹿角市消防団》

定数:820人

令和8年4月1日現在

区分 所属	地区	団 員									機 械				施 設				
		団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	機 能 別 団 員	計	うち 女性 団員	消 防 ポン プ	自 動 車	防 災 活 動 車	小 型 動 力 ポン プ	積 載 車	器 具 置 場 数	ホ ー ス 乾 燥 塔	ホ ー ス
消防団本部		1	4				1	8		14	9		1						
第1分団	花 輪			1	1	2	4	19		27		2				2	2	76	
第2分団				1	1	2	5	16		25			5 (1)	3	5	5	158		
第3分団				1	1	2	7	31		42		1	5	3	6	6	164		
第4分団				1	1	2	7	28	4	43	1		6	5 (1)	6	6	131		
第5分団	尾 去 沢			1	1	1	4	6		13		1	2		2	2	104		
第6分団				1	1	2	6	15		25		1	3	1 (1)	4	4	114		
第7分団	八 幡 平			1	1	2	9	32		45		1	5	2 (1)	5	4	154		
第8分団				1	1	2	6	27		37	2		6	2	6	6	114		
第9分団				1	1	2	8	22		34		2	2		3	3	102		
第10分団				1	1	2	6	36		46			5	2	5	5	129		
第11分団	十 和 田			1	1	2	8	32	4	48		1	6	1	7	7	178		
第12分団				1	1	3	4	18		27		1	3	3	4	4	137		
第13分団				1	1	1	2	8		13			3	1	3	3	68		
第14分団				1	1	3	6	21	4	36	9	1	5	2	6	5	203		
第15分団				1	1	3	5	20		30			4	3 (1)	4	3	128		
第16分団				1	1	3	8	31	5	49	2	2	5	1	6	6	166		
第17分団				1	1	3	6	18	4	33			7	3	7	6	118		
事業所								40	40	6									
合 計		1	4	17	17	37	102	388	61	627	29	13	1	72 (1)	32 (4)	81	77	2,244	

( )は全自動型 ( )は軽車両

《小坂町消防団》

定数:150人

令和8年4月1日現在

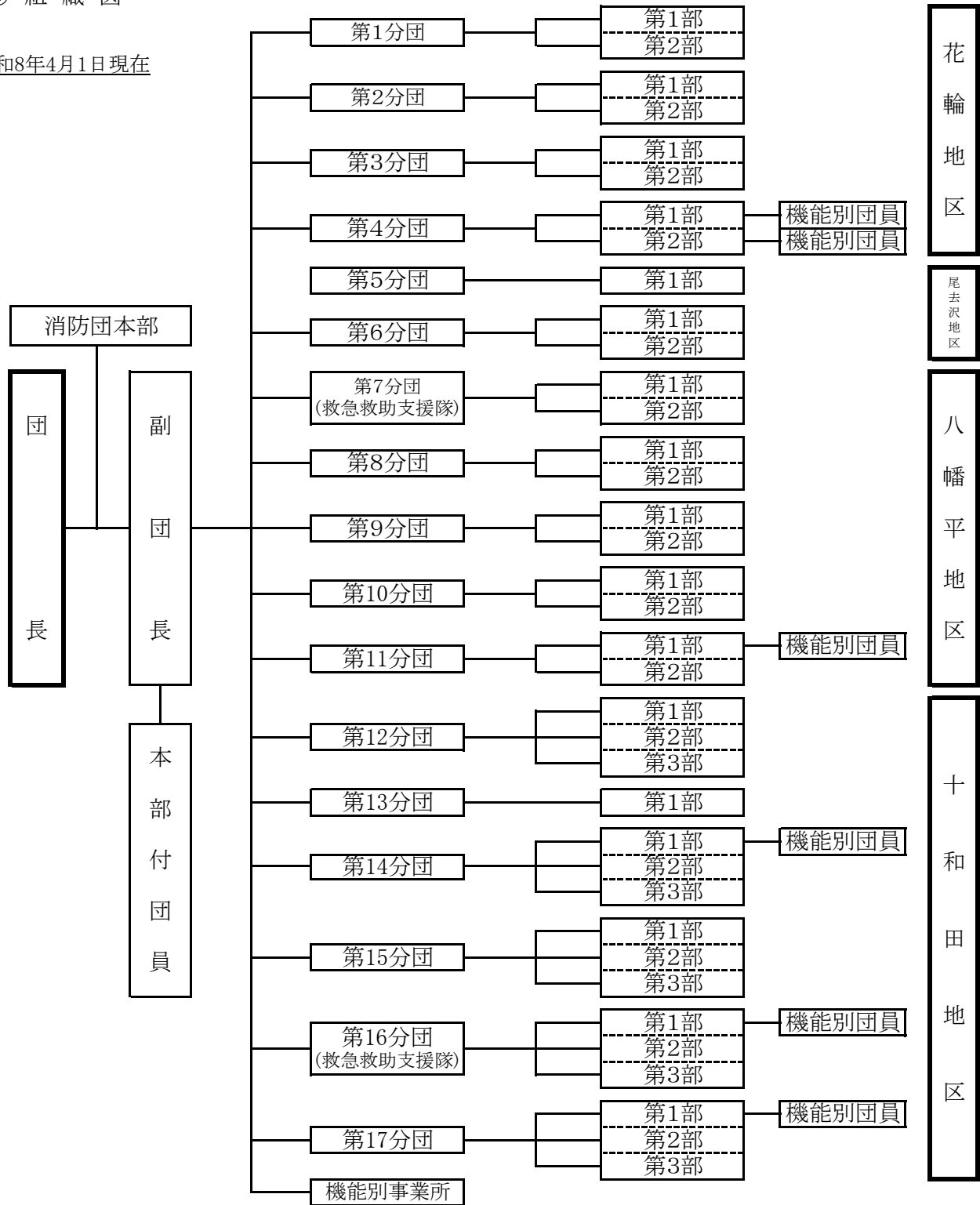
区 所属	団 員									機 械				施 設			
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計	(うち 女性 消防団員)	消 防 ポン プ	自 動 車	小 型 動 力 ポン プ	積 載 車	災 害 活 動 車	器 具 置 場 数	ホ ー ス 乾 燥 塔	ホ ー ス
消防団本部	1	1					5	7	5		1	1	1				
第1分団			1	1	2	3	12	19			3	2 (2)			4	4	33
第2分団			1	1	3	3	10	18		1	3	2 (2)			4	4	42
第3分団			1	1	3	3	7	15		1				1	1	31	
第4分団			1	1	3	3	16	24		1	3	3 (3)			4	4	76
第5分団			1	1	1	3	7	13			5	5 (2)			5	5	57
合 計	1	1	5	5	12	15	57	96	5	3	15	13 (9)			18	18	239

定 数 1 1 5 5 18 20 100 150 (人) ( )は軽車両

# 《鹿角市消防団組織図》

◎ 組織図

令和8年4月1日現在



《救急救助支援隊》本市は広大な面積を有することから、消防署から遠距離で発生した救急及び救助を必要とする交通・災害事故等に対応するため、消防本部と消防団が連携を持ち、一体となって救急救助活動をするを目的としています。（八幡平坂比平から岩手県境、大湯中滝から青森県境）

《機能別団員》消防団員の活動を全て行うのではなく、活動を限定して一定の役割を行う団員です。

## 《鹿角市消防団管轄区域》

分団名	管 轄 区 域	地区
第1分団	市街地一円 東山 柏木森	花 輪
第2分団	鏡田 用野目 狐平 下川原 高屋 花軒田	
第3分団	小深田 乳牛 東町 西町 大曲 高市 鶴田 上台 長野	
第4分団	小平 新斗米 級ノ木 館 寺坂 小枝指 雁府	
第5分団	尾去 西道口 下モ平 蟹沢 新山 城山 上山 水晶山 下夕町	尾 去 沢
第6分団	山方 中央通り 松子沢 瓜畑 軽井沢 市街地 山神社 新堀市営住宅 上新田 中新田 下新田	八 幡 平
第7分団	谷内 永田 熊沢 水沢 深 坂比平 八幡平温泉郷	
第8分団	夏井 小割沢 林崎 檜内 長牛 桃枝	
第9分団	小豆沢 碓 湯瀬	
第10分団	大里 葛岡 玉内 松館 石鳥谷 黒沢	
第11分団	三ヶ田 長内 荒町 野尻 白欠 大久保 長嶺 川部 和田	
第12分団	館 古町 下小路(上・中・下) 城ノ下 南 五軒町 横丁 萱町 陣場 上町 中町 下町 川原 高田 土ヶ久保 中野 蟹沢住宅 蟹沢 甚兵ヱ川原 山田 瀬田石 柏野	
第13分団	高清水 長者久保 上芦名沢 下芦名沢	十 和 田
第14分団	室田 冠田 曲谷地 沢尻 錦丁 古川 浜田 下野添団地 根市戸 五軒屋 申ヶ野 神田	
第15分団	石野 松山 大欠 土深井	
第16分団	大清水 田代 戸倉 熊取平 大平 中滝 白沢 川上 篝畑 堀内 四ノ岱 四ノ岱住宅 荒瀬 中岱 上ノ湯 新道 湯ノ岱 中田 上町 中町 丁内 下ノ湯 松原 川原の湯 中川原 腰廻 関上 大川原	
第17分団	風張 宮野平 一本木 根市 二本柳 保田 中草木 下草木 新田 丸館	

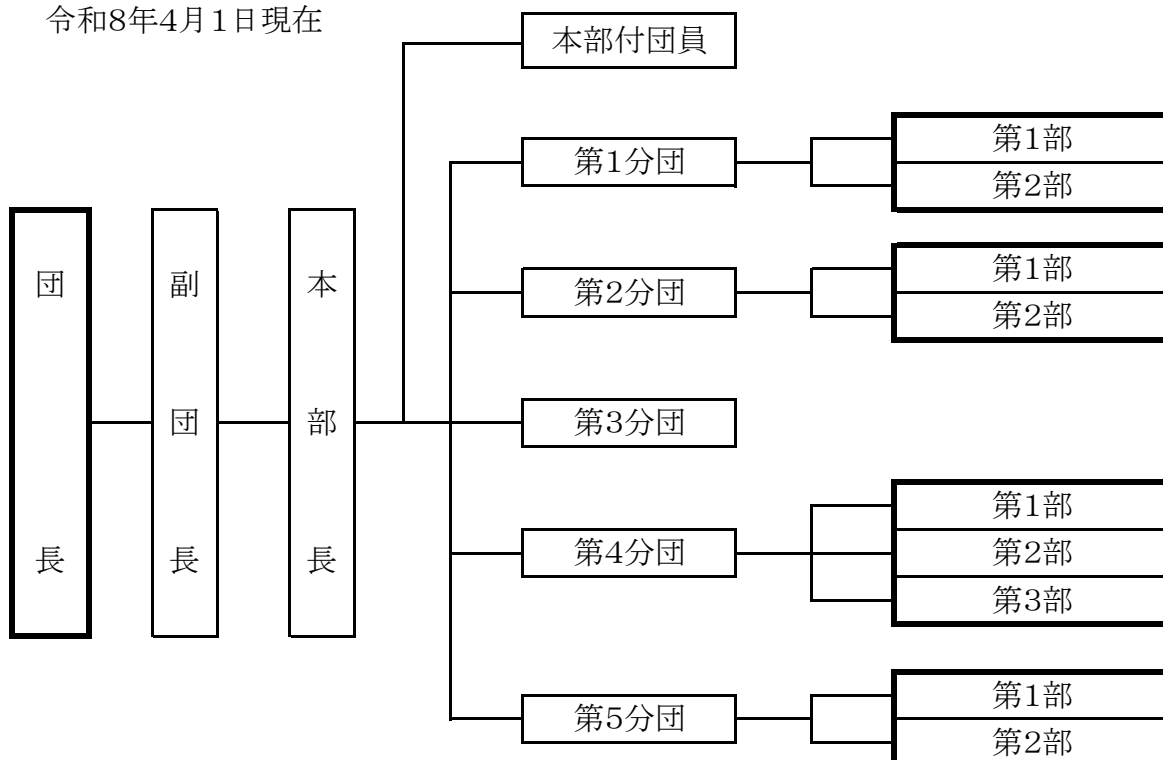
## 《鹿角市消防団員年額報酬及び出動報酬》

令和8年4月1日現在

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年額報酬	¥82,500	¥69,000	¥50,500	¥45,500	¥39,000	¥37,000	¥36,500
定年年齢	なし	67歳	65歳				
出動報酬	区分					金額	
	水火災等の出動の場合			4時間未満		¥4,000	
				4時間以上		¥8,000	
	訓練及び警戒出動の場合					¥2,500	
管理保守報酬	区分			支給単位		金額	
	消防ポンプ自動車			1台につき (月額)		¥3,200	
	小型動力ポンプ付積載車			1台につき (月額)		¥2,200	
	小型動力ポンプ			1台につき (月額)		¥1,600	

## 《小坂町消防団組織図》

令和8年4月1日現在



## 《小坂町消防団管轄区域》

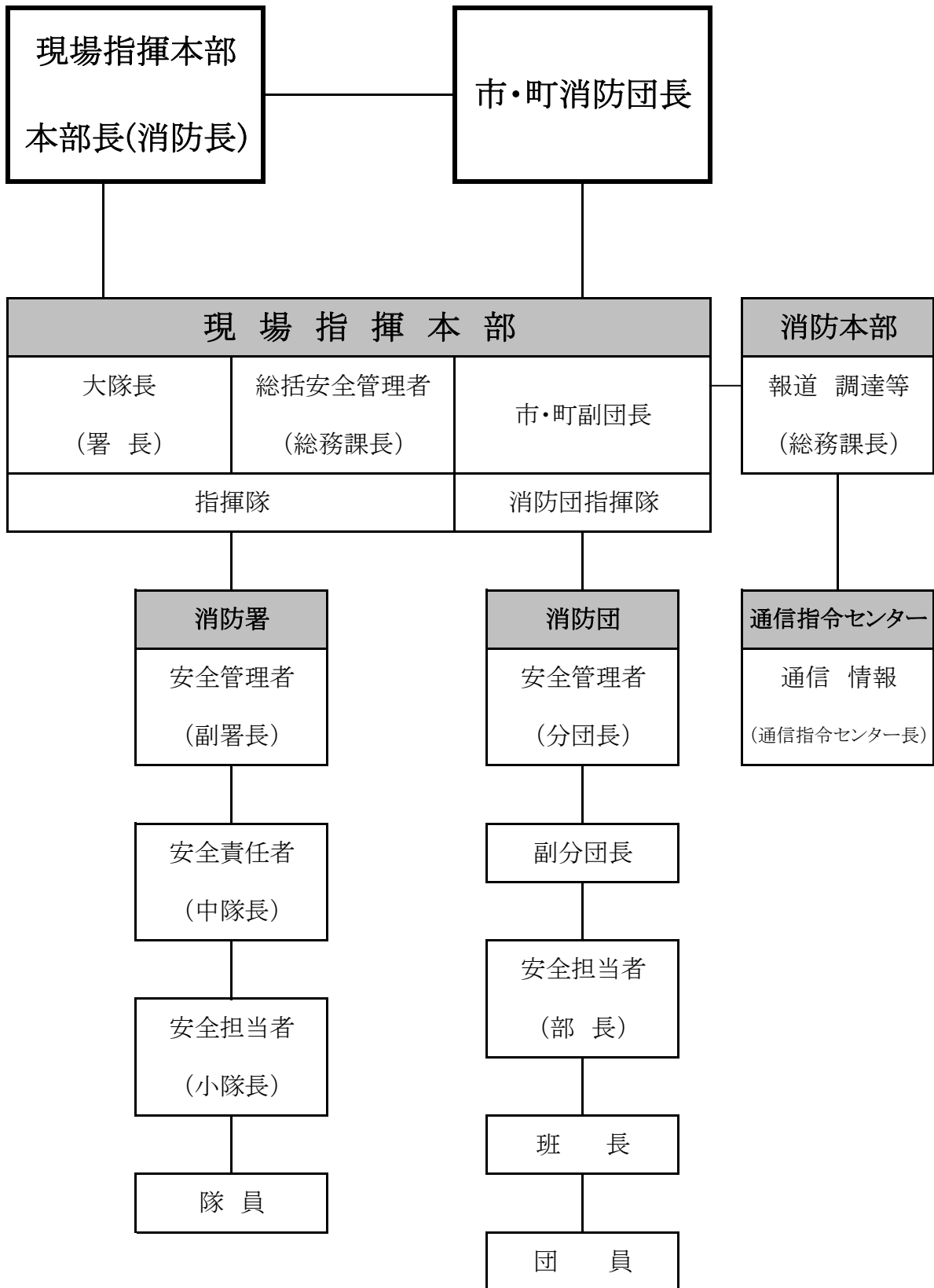
分団名	管 轄 区 域
第1分団	上小坂 中小坂 下小坂 岩沢 大生手 藤倉団地 古苦竹 細前田 細越
第2分団	野口 濁川 余路米 砂子沢
第3分団	町部一円
第4分団	万谷 荒川 上川原 大地 つつじ平 道作団地
第5分団	鳥越 鴫 牛馬長根 狐崎団地 大川岱 休平

## 《小坂町消防団員階級別報酬及び諸手当》

令和8年4月1日現在

	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
年報酬(円)	82,500	69,000	50,500	45,500	39,000	37,000	36,500
定年(歳)	なし						
出場報酬(円)	水・火災等の出場の場合			4時間未満	¥4,000		
				4時間以上	¥8,000		
	訓練及び警戒出動の場合			¥2,500			
管理手当(円)	ポンプ車1台につき(月額)			¥3,200			
	普通積載車1台につき(月額)			¥2,200			
	軽積載車1台につき(月額)			¥1,600			

## 消防本部と消防団との安全管理体制



◎ 秋田県消防操法(訓練)大会成績

回数	年度	ポンプ車操法の部		小型ポンプ操法の部		全国大会出場及び成績
		出場分団	成績	出場分団	成績	
1	S37					
2	S38					
3	S39			八幡平村第5分団		
4	S40					
5	S41					
6	S42					
7	S43			八幡平村団		第1回 小型ポンプ出場
8	S44			八幡平村団		
9	S45			十和田町団		第2回
10	S47			錦木第4分団	優勝	第3回 小型ポンプ出場
11	S49	八幡平第1分団		錦木第4分団	優勝	第4回 小型ポンプ出場
12	S50	八幡平第1分団	優勝	錦木第4分団	2位	
13	S51	八幡平第1分団	優勝	錦木第2分団	2位	第5回
14	S52	毛馬内第1分団	2位	錦木第4分団	優勝	
15	S53	毛馬内第1分団	優勝	八幡平第1分団	2位	第6回
16	S54	錦木第1分団	優勝	錦木第4分団	2位	
17	S55	錦木第1分団第1部	3位	錦木第1分団第3部	優勝	第7回 小型ポンプ出場
18	S56	八幡平第1分団第1部	優勝	八幡平第4分団第2部	2位	
19	S57	八幡平第1分団第1部	優勝	花輪第4分団第1部	優勝	第8回 ポンプ車出場
20	S58	八幡平第1分団第1部	優勝	錦木第1分団第3部	優勝	
21	S59	八幡平第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	2位	第9回
22	S60	錦木第1分団第1部	優勝	錦木第1分団第3部	優勝	
23	S61	錦木第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	優勝	第10回
24	S62	錦木第1分団第1部	優勝	錦木第1分団第3部	8位	
25	S63	八幡平第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	優勝	第11回 小型ポンプ準優勝
26	H元	錦木第1分団第1部	優勝	八幡平第1分団第2部	優勝	
27	H 2	錦木第1分団第1部	5位	錦木第1分団第3部	3位	第12回
28	H 3	八幡平第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	優勝	
29	H 4	八幡平第1分団第1部	3位	錦木第1分団第3部	5位	第13回
30	H 5	錦木第1分団第1部	5位	錦木第1分団第3部	2位	
31	H 6	錦木第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	5位	第14回
32	H 7	八幡平第1分団第1部	3位	錦木第1分団第3部	2位	
33	H 8	錦木第1分団第1部	3位	八幡平第1分団第2部	5位	第15回
34	H 9	錦木第1分団第1部	3位	八幡平第1分団第2部	2位	
35	H10	錦木第1分団第1部	3位	八幡平第1分団第2部	6位	第16回
36	H11	錦木第1分団第1部	6位	尾去沢第1分団第1部	3位	
37	H12	八幡平第1分団第1部	3位	尾去沢第1分団第1部	5位	第17回
38	H13	八幡平第1分団第1部	5位	尾去沢第1分団第1部	4位	
39	H14	八幡平第1分団第1部	7位	尾去沢第1分団第1部	2位	第18回
40	H15	小坂町消防団第4分団	優勝	尾去沢第1分団第1部	7位	
41	H16	小坂町消防団第4分団	優勝	小坂町消防団第4分団	4位	第19回
42	H17	小坂町消防団第4分団	3位	小坂町消防団第4分団	5位	
43	H18	小坂町消防団第4分団	2位	小坂町消防団第4分団	10位	第20回
44	H19	小坂町消防団第4分団	3位	小坂町消防団第4分団	7位	
45	H20	小坂町消防団第4分団	2位	鹿角市消防団第5分団第1部	4位	第21回
46	H21	小坂町消防団第4分団	3位	鹿角市消防団第5分団第1部	2位	
47	H22	小坂町消防団第4分団	2位	鹿角市消防団第5分団第1部	5位	第22回
48	H23	小坂町消防団第4分団	優勝	鹿角市消防団第5分団第1部	優勝	
49	H24	鹿角市消防団第5分団第1部	2位	小坂町消防団第4分団	4位	第23回
50	H25	鹿角市消防団第5分団第1部	5位	小坂町消防団第4分団	優勝	

◎ 秋田県消防操法(訓練)大会成績

回数	年度	ポンプ車操法の部		小型ポンプ操法の部		全国大会出場及び成績	
		出場分団	成績	出場分団	成績		
51	H26	鹿角市消防団第5分団第1部	4位	小坂町消防団第4分団	2位	第24回	
52	H27	鹿角市消防団第5分団第1部	優勝	小坂町消防団第4分団	6位		
53	H28	鹿角市消防団第5分団第1部	中止	小坂町消防団第4分団	7位	第25回	
54	H29	鹿角市消防団第5分団第1部	優勝	小坂町消防団第4分団	4位		
55	H30	鹿角市消防団第5分団第1部	2位	小坂町消防団第4分団	2位	第26回	
56	R元	鹿角市消防団第5分団第1部	優勝	小坂町消防団第4分団	3位		
57	R2	新型コロナウイルス感染症対策により中止					
58	R3	新型コロナウイルス感染症対策により中止					
59	R4	鹿角市消防団第5分団第1部	2位	小坂町消防団第4分団第3部	3位	第29回	
60	R5	鹿角市消防団第5分団第1部	優勝	小坂町消防団第4分団第3部	2位		
61	R6	小坂町消防団第4分団第1部	3位	小坂町消防団第4分団第3部	4位	第30回	
62	R7	小坂町消防団第4分団第1部	2位	小坂町消防団第4分団第3部	4位		

※第53回大会は悪天候のため中止となり、小型ポンプ操法のみ選考会を実施。



災害記録

災害記録



## 災害記録

西 暦	年 号	種 別	記 録
1930	昭和 5年	建物火災	錦木村土深井で12棟を焼失。
1935	昭和10年	建物火災	4月9日 毛馬内町萱町から出火。住家36棟、非住家10棟全焼。 (川原の大火)
		建物火災	6月17日 小坂町元山元神下から出火。87戸で23棟焼失。り災者490名。
		洪水	小坂川が氾濫し大洪水となり大被害。8月23日、24日の両日で流失家屋14棟 損壊家屋60棟、浸水家屋824棟。他に道路、橋、耕地などが被害。被害額は 1,036千円。
		堤防決壊	8月24日 尾去沢鉦山用水取入口堤防が決壊し、流失住家12棟、全半壊住家 35棟に被害が出た。また、田圃135町歩、畑2町歩を流失。
1936	昭和11年	ダム決壊	11月20日 3時40分頃、尾去沢鉦山中沢ダムが決壊。中沢・春木沢・瓜畑・ 笹小屋・新堀・新山・下モ平・蟹沢・西道口の9集落に流出し、死者374名、 住家、非住家合わせて310棟を流失。
1938	昭和13年	雪 害	1月26日 小坂町立実科高等女学校が雪のため倒壊、小坂小学校児童の死者 8名、重傷10名、軽傷25名、訓導(教員)重傷1名。
1941	昭和16年	林野、建物火災	5月15日 小坂町細越で山火事から延焼。23戸で50棟を焼失。
1947	昭和22年	建物火災	3月18日 花輪町旭町の製材所の火災で延焼防止活動中、倒壊した建物の下 敷きとなり死者4名、重軽傷者30名。
		洪水	8月4日 米代川が大洪水となり大被害。堤防決壊40箇所あまり、住家流失2 棟、床上浸水多数、道路決壊、土砂崩れ多数、田畑の流失23町歩あまり、冠 水耕地60町歩あまり。(死亡者あり)
1949	昭和24年	航空機墜落	3月18日 花輪西山高瀬館跡地に米軍機が墜落、アメリカ人兵士1名死亡。
		建物火災	3月21日 大湯町立大湯小学校1棟全焼。
		建物火災	4月9日 小坂町西渡ノ羽鉦山社宅で11棟全焼。
		建物火災	10月2日 花輪駅機関区1棟全焼。損害額1,156千円。
		噴 火	八幡平焼山爆発。泥流、火山灰噴出。
		建物火災	11月8日 宮川村小豆沢、大日堂大日靈貴神社全焼。
		建物火災	12月31日 小坂町古館の小坂鉦山病院で火災。本館・東西病棟焼失、焼失面 積700坪、損害額30,000千円。
1950	昭和25年	建物火災	4月9日 小坂町西渡ノ羽鉦山社宅で11棟全焼、2棟半焼、り災世帯49世帯、 り災者279名、被害額10,000千円。
		建物火災	柴平村東町で大火。住家・非住家23棟全焼。
		噴 火	八幡平焼山で爆発。この噴火による泥土が熊沢川に流入し水田に大被害。 曙村荒町、三ヶ田、大久保周辺の田圃100町歩に堆積。
1951	昭和26年	建物火災	花輪町川原町で6棟全焼。
		建物火災	尾去沢鉦山資材倉庫7棟全焼。
		建物火災	3月 柴平農協事務室から出火。132坪全焼、米倉庫半焼、米2,000俵焼失。
		水 害	7月21日 大湯川堤防決壊、住家7棟流失。21日に降りだした雨で各河川が 増水し、崖崩れ、道路決壊が続出する。中でも下ノ湯、川原ノ湯の被害が 多く、床上浸水260棟、床下浸水781棟、田畑の流失30町歩、冠水300町歩、 柴平以北の橋梁破損流失12箇所。
		水 害	7月21日 荒川川・汁毛川が氾濫。護岸21箇所、道路11箇所、橋12箇所のほ か耕地が被害、被害額200,000千円。
		交通事故	9月6日 第三回鹿角郡消防連合訓練大会(小坂町営陸上競技場開催)出場途 上、小坂町白岩地区において毛馬内第3分団手引動力ポンプ1台と毛馬内第 5分団腕用ポンプ1台を積載した国鉄トラックが転落し、乗車中の消防団員 17名が振り落とされ死傷者を出す。
		噴 火	3月 八幡平焼山で一部爆発。
		林野火災	花輪町大久保で天皇陛下記念造林地15町歩焼失。
1952	昭和27年	建物火災	花輪町用野目で住家3棟、非住家2棟、合計5棟を全焼。損害額5,340千円。

1953	昭和28年	建物火災	5月14日 小坂町尾樽部で火災が発生し、役場・山手社宅に延焼。全焼9世帯、り災者43名、被害額53,730千円。
		車両、建物火災	国鉄陸中花輪駅で客車1両と待合室1棟全焼。損害額2,250千円。
		建物火災	4月9日 七滝村大地で住家12棟全焼。り災12世帯95名、被害額14,550千円。
1954	昭和29年	建物火災	5月 柴平村小平で住家3棟、非住家4棟全焼。
		建物火災	5月 毛馬内町高田で住家8棟焼失。
		建物火災	5月 大湯銚子発電所住宅5棟全焼。
		建物火災	花輪町新町で放火により住家4棟全焼。損害額7,480千円。
		建物火災	花輪町狐平で製材所1棟、住家1棟焼失。
		建物火災	柴平村鶴田の製材所120坪、材木その他資材焼失。損害額5,000千円。
1955	昭和30年	落雷	9月12日 曙村杉山で落雷により住家3棟、非住家2棟全焼。
		建物火災	12月19日 尾去沢町下モ平で住家4棟、非住家1棟全焼。
		建物火災	12月 尾去沢町蟹沢でバラック建長屋(5戸)で1棟焼失。
		建物火災	宮川村小豆沢で住家3棟、非住家4棟が全焼。
		水害	6月 八幡平村で水害が発生し堤防決壊多数、床上浸水も多数。
		建物火災	7月18日 大湯町川原ノ湯で劇場など6棟全焼。
		建物火災	8月13日 十和田町毛馬内高田で住家3棟、非住家1棟全焼。
		建物火災	8月 十和田町錦木申ケ野で住家9棟、非住家4棟全焼。り災者71名、損害額10,440千円。
		建物火災	花輪町久保田で8棟全焼。
		建物火災	大湯町で製材工場火災、工場と住家2棟焼失。り災世帯8世帯、損害額5,000千円。
1956	昭和31年	林野火災	4月 十和田町山根で山林火災発生。民有林103町歩焼失。損害7,000千円。
		林野火災	5月21日 尾去沢町十文字の山林から出火。花輪町花軒田にかけて国有林及び民有林合わせて10町歩焼失。
		水害	7月23日 花輪町120mm、八幡平村200mmの豪雨により銭川温泉、玉川・両国両鉱山住宅2棟全壊。夏井橋、長嶺橋、夜明島橋、水沢橋等熊沢川全橋10箇所流失、栃木川原、赤渕等護岸決壊、水田10町歩以上冠水被害。長牛橋、用野目橋、高屋橋が損傷。損害額30,000千円以上。
1957	昭和32年	建物火災	11月21日 小坂町銀山町で火災。住家23棟、非住家4棟全焼。り災者101名損害額29,800千円。
		林野火災	十和田町崩森国有林で山林火災発生。焼失面積8ha。
1958	昭和33年	建物火災	5月3日 小坂町荒川で住家26棟、非住家17棟全焼。り災世帯27世帯、り災者159名、被害額50,000千円。
		建物火災	2月9日 十和田町毛馬内の寺院全焼。
1959	昭和34年	建物火災	3月24日 八幡平村大里(上村)で住家6棟、非住家7棟全焼。
		建物火災	4月5日 花輪町鶴田で住家2棟、非住家2棟全焼。
1961	昭和36年	建物火災	12月12日 放火により花輪町小坂で住家1棟全焼。
		建物火災	十和田町錦木申ケ野で大火。8棟全焼。
		建物火災	3月20日 花輪町新町で住家2棟、工場1棟全焼。負傷者5名、損害額7,749千円。
		建物火災	4月3日 花輪町柴内高市で住家2棟、非住家1棟全焼。死者1名、損害額1,383千円。
		洪水	4月4日 異常高温による雪解けと暖風に豪雨が重なり河川が増水。花輪町で米代川が増水し用野目橋流失、狐平・下川原護岸決壊。八幡平村赤渕で水田4,040haが冠水。小坂町で若木立橋流失。合計損害額4千数百万円。
		建物火災	5月5日 八幡平村蛇沢で住家3棟、非住家2棟全焼。
		建物火災	5月24日・6月5日 連続放火により花輪町小深田で火災(ボヤ)発生。
		林野火災	5月25日 花輪町雁府で山林火災発生。焼失面積4.5ha。
		建物火災	5月25日 八幡平村湯瀬のホテル食堂炊事場でプロパンガスの配管工事中、ガス漏れによる爆発火災。死者1名、重軽傷者5名。

1962	昭和37年	建物火災	8月10日	花輪町東山で住家1棟、非住家2棟全焼。損害額1,029千円
		林野火災	5月12日	十和田町大湯中滝で山林火災発生。14日夜まで続き4000ha焼失。
		林野火災	5月14日	花輪町柴内で山林火災発生。国有林5ha焼失。
1963	昭和38年	建物火災	5月17日	尾去沢鉱山で住家6棟全焼。
		建物火災	1月11日	十和田町大湯上町で住家4棟全焼。
1965	昭和40年	建物火災	2月	花輪町高屋で住家2棟、非住家1棟半焼、鶏2000羽、ヒナ鳥13000羽が焼死。
		林野火災	5月	花輪町大曲水無沢町有林50ha焼失。
		建物火災	5月25日	連続放火により花輪町舟場で住家1棟全焼、住家、非住家3棟半焼 負傷者1名、損害額3,299千円
		建物火災	6月13日	連続放火により花輪町舟場で住家1棟全焼。住家、非住家4棟半焼 損害額1,034千円
		建物火災	7月10日	連続放火により花輪町立花輪第一中学校校舎2棟全焼。焼失面積 1,848㎡、損害額17,000千円。
		台風		能代沖を通過した台風23号は、風速20mの強風を伴い稲の倒伏45ha、果樹 の落下2万箱、被害額40,000千円。
		建物火災	11月10日	花輪町中町で住家3棟全焼、住家2棟半焼、損害額12,131千円。
		建物火災	5月23日	花輪町谷地田町で住家2棟、非住家1棟全焼、住家・非住家6棟半 焼、死者1名、損害額3,389千円。
		水害	8月12日	小坂町川上地区で河川が増水、住家1棟流失。土木及び農地被害 37箇所、損害額113,950千円。
		建物火災	9月6日	花輪町立柴内小学校校舎1棟全焼。焼失面積2,450㎡。原因はカマ ドの煙突の破損、損害額19,453千円。
1967	昭和42年	建物火災	3月24日	花輪町下夕町の整備工場で火災、死者3名。
		建物火災		十和田町浜田で住家1棟、倉庫185.6㎡全焼、損害額2,500千円。
		建物火災	5月31日	花輪町花軒田で住家3棟、非住家1棟全焼。損害額5,232千円。
		建物火災	10月	花輪町鶴田で製材工場330㎡1棟、住家85㎡1棟全焼。
		建物火災		十和田町大湯川原ノ湯でアパート火災。1棟171.6㎡(6世帯)全焼、損害 額4,000千円。
1968	昭和43年	建物火災		尾去沢町尾去で鶏舎と作業小屋396㎡全焼。鶏300羽、豚2頭焼死。
		建物火災	2月19日	花輪町舟場で住家2棟全焼、住家2棟半焼、損害額8,504千円。この 火災で消火活動中の消防職員1名が殉職。
		建物火災		八幡平村黒沢で住家1棟、非住家3棟全焼。損害額4,000千円。
1969	昭和44年	地震	5月16日	9時50分頃、北海道十勝沖を震源地とする地震が発生。秋田県では 震度4を記録し、鹿角地区では1日に数十回の余震が1週間程度続いた。 この地震により花輪町の大堰水路の水が横揺れし、道路へ水が飛散した。 また、花輪小学校をはじめ住家の一部が破損し土蔵等の壁が崩れるなどの被 害が続出した。
		建物火災	8月3日	尾去沢町下モ平で住家7棟、非住家1棟全焼。損害額29,750千円。
		建物火災	4月24日	花輪町大町で3棟全半焼。
		林野火災	5月4日	花輪町甘露の山林15ha焼失。
		林野火災	5月7日	尾去沢町で水晶山国有林植樹祭記念造林地2ha焼失。
		建物火災		花輪町横町で3棟全半焼。損害額15,000千円。
		交通事故	8月15日	花輪町新町の火災(ボヤ)現場にオートバイで駆け付ける途中、 自家用車と接触し、消防団員1名殉職。
		建物火災	10月11日	花輪町東山で養畜舎1棟全焼。死者2名、負傷者1名、牛数十頭 焼死、損害額7,063千円。
		建物火災	9月16日	花輪町新町の醤油味噌醸造工場で工場、倉庫併せて3,260㎡全焼。 損害額は100,000千円。
		建物火災	11月24日	花輪町谷地田町の下駄製造工場から出火。5棟1,150㎡全焼。
1971	昭和46年	建物火災	5月27日	小坂町尾樽部で住家5棟全焼。り災世帯5世帯、り災者22名、損害

			額22,460千円
1972	昭和47年	建物火災	5月29日 十和田町毛馬内下陣場で製材所(370㎡)1棟、住家2棟、非住家2棟全焼。
		水害	7月8日から9日にかけて大雨のため、道路決壊21箇所、堤防決壊15箇所、田畑の流失、毛馬内下高田橋流失等の被害が発生する。
1973	昭和48年	建物火災	1月30日 八幡平松館で住家2棟全焼、住家1棟・非住家2棟半焼。損害額2,583千円
1974	昭和49年	雪害	2月3日 前日からの大雪により八幡平地区で住家全壊2棟、半壊8棟、一部破損多数。
		交通事故	11月10日 秋季防火週間の初日、花輪地区消防団車両が不時演習への出動途上、国道282号の信号機のある交差点で大型トラックと衝突した。消防車は右側店舗に突っ込み、大型トラックは左側店舗に突っ込む。消防車に乗っていた消防団員13名は振り落とされて、死者3名、重傷者3名、軽傷者7名が発生した。
1975	昭和50年	労働災害	5月 花輪鉦山で落盤事故発生。死者1名。
		建物火災	6月10日 花輪古館で工場2棟、非住家1棟全焼、非住家1棟半焼。損害額4,700千円。
1976	昭和51年	建物火災	2月15日 大湯上ノ湯で旅館1棟(739㎡)全焼。負傷者3名、損害額8,644千円。(自動火災報知設備の警報ベルが作動したのに無視し、ベルを停止したもの。)
		労働災害	8月 尾去沢鉦山で落盤事故発生。死傷者2名。
1977	昭和52年	建物火災	2月6日 旧毛馬内小学校校舎1棟全焼。負傷者(団員)3名、焼失面積2,646㎡、損害額6,453千円。
		建物火災	4月22日 八幡平谷内で非住家5棟全焼。損害額3,897千円。
1977	昭和52年	建物火災	6月4日 花輪旭町で工場2棟、住家2棟、非住家2棟全焼。損害額12,496千円。
1978	昭和53年	建物火災	3月9日 花輪柴内の不動尊神社1棟全焼。
		建物火災	4月23日 八幡平碓で住家2棟全焼、1棟半焼。負傷者(消防職員)1名。損害額2,841千円。
		建物火災	9月22日 鉛山鉦山(株)大湯破碎場1棟全焼、負傷者(団員)1名。焼失面積643㎡、損害額8,964千円。原因は硫火鉦の自然発火。
1979	昭和54年	大雨	3月31日 鹿角市全域暴風雨。土木施設33件、農林施設26件、文化施設11件、建物の破損80棟以上の被害。
		林野火災	5月6日 十和田山根地区で林野火災が発生。焼失面積2,396a。損害額18,574千円
1980	昭和55年	大雨	4月6日 鹿角市全域の大雨及び融雪のため堤防決壊25件、道路決壊3件、家屋の一部破損2件、田圃の流失3町歩の被害。
		建物火災	6月12日 尾去沢鉦山(株)で選鉦所の一部焼失。焼失面積1,342㎡、損害額442千円
1981	昭和56年	台風	8月23日 台風15号のため家屋全壊15棟、半壊10棟、一部破損100棟以上の被害。
1983	昭和58年	地震	5月26日 日本海中部地震で震度4を記録。1日に数回の余震が続き、住家・水田・道路等に被害が出た。被害額200,000千円。
		車両火災	10月9日早朝 花輪東山国有林地内で乗用車が焼失し、車内で親子4名が焼死。この年は計6名の焼死者が発生。
1984	昭和59年	建物火災	4月20日 花輪葉ノ木谷地で住家全焼。死者1名、損害額15,245千円。
		建物火災	5月10日 毛馬内三の丸で住家全焼。死者1名、損害額2,008千円。
		建物火災	5月14日 花輪諏訪野で住家部分焼。死者1名、損害額260千円。
		建物火災	6月5日 花輪上中島で放火により住家半焼。死者1名、損害額589千円。
		建物火災	6月18日 八幡平谷内の寺院826㎡全焼、林野7a焼失。損害額64,476千円。
1985	昭和60年	建物火災	7月17日 八幡平湯瀬で住家全焼。死者2名、損害額2,344千円
1986	昭和61年	水害	8月5日 台風10号による豪雨のため河川が増水、床下浸水住家2棟、非住

1987	昭和62年	建物火災	家1棟、工場及び事務所各1棟の被害。通算雨量103.5mm 2月6日 尾去沢下モ平で住家1棟全焼。死者1名、損害額3,794千円。
1988	昭和63年	交通事故	1月31日 東北自動車道上り線588KP付近で普通乗用車に普通トラックが追突。重軽傷者3名、うち1名は五ノ宮橋から約14m下へ転落。
1989	平成元年	建物火災	7月31日 花輪合ノ野で縫製工場全焼。損害額29,329千円。
		建物火災	9月22日 毛馬内中台地で住家部分焼。死者1名、損害額297千円。
		建物火災	7月30日 花輪谷地中で牛舎全焼。牛17頭焼死、損害額14,741千円。原因は干し草の自然発火。
1990	平成2年	建物火災	1月13日 花輪長野で住家全焼。死者1名、損害額5,020千円。
		建物火災	12月28日 花輪下夕町で住家1棟全焼、1棟半焼。死者1名、損害額9,380千円。
1991	平成3年	台風	9月28日未明、鹿角市内は台風19号の暴風圏内に入り、全域にわたり大きな被害を受ける。重軽傷者13名、住家被害826棟、被害額939,000千円。農産物被害額はリンゴを中心に2,595,000千円など、総被害額4,813,940千円。
1992	平成4年	建物火災	11月20日 尾去沢中沢の寺院513㎡全焼。死者1名、損害額68,067千円。
		火災	鹿角市で5月16日から12月16日まで7ヶ月間の無火災を記録。年間火災件数も市発足以来最少の5件となる。
		建物火災	10月26日 小坂町尾樽部で住家3棟全焼。死者1名、り災世帯3世帯、り災者13名、損害額34,228千円。
1993	平成5年	建物火災	12月21日 錦木山谷で住家1棟全焼。死者1名、損害額9,026千円。
1994	平成6年	建物火災	10月27日 花輪荒屋敷で住家2棟全焼。死者1名、損害額13,956千円。
1995	平成7年	建物火災	1月10日 小坂町万谷で住家1棟全焼、死者1名、損害額20,003千円。
1996	平成8年	危険物漏洩	7月6日 八幡平湯瀬の危険物施設で軽油600ℓが米代川へ流出。
1997	平成9年	自然災害	5月11日 八幡平熊沢国有林地内で大規模な土砂災害が発生。澄川、赤川両温泉施設の合計16棟が流失する。人的被害なし。
1998	平成10年	建物火災	1月18日 毛馬内で建物火災。死者1名。
		建物火災	3月30日 八幡平大里で製材工場2棟半焼。
		建物火災	6月3日 花輪狐平で住家全焼。死者1名
		集団救急	8月3日 田沢湖町玉川温泉で集団食中毒が発生。52名を救急搬送。
		集団救急	9月10日 後生掛温泉で毒キノコによる食中毒が発生。9名を救急搬送。
2001	平成13年	林野火災	4月から5月にかけて、野焼き・枯れ草焼却の不始末による林野火災が10件発生。
2001	平成13年	建物火災	7月19日 草木砂派で牛舎全焼。牛20頭焼死、車両1台全焼。
2002	平成14年	建物火災	1月1日 花輪級ノ木で牛舎全焼。牛18頭焼死。
		建物火災	5月6日 尾去沢新堀市営住宅部分焼。
2004	平成16年	危険物漏洩	1月18日 小坂町尾樽部で工場から苛性ソーダが24㎡流出。原因は貯蔵タンクの腐食。
		建物火災	2月3日 花輪下花輪で住家2棟全焼、1棟半焼。
		建物火災	3月4日 尾去沢新堀で住家1棟全焼、車両1台全焼。死者1名
		建物火災	3月27日 花輪上台で非住家3棟全焼、非住家1棟半焼。
		建物火災	2月7日 錦木冠田で住家全焼。死者2名
2005	平成17年	建物火災	9月中に毛馬内押出で連続火災。住家1棟全焼、車両1台全焼。
		危険物漏洩	4月16日 尾去沢蟹沢の危険物施設で重油2,100ℓが米代川へ流出。
		建物火災	5月13日 毛馬内押出で住家1棟全焼。死者1名。
2006	平成18年	建物火災	8月23日 小坂町尾樽部で工場火災。工場部分焼、損害額302,208千円。
		建物火災	10月25日 毛馬内鹿倉崎の環境衛生センターごみ処理場で爆発火災。負傷者無し、損害額21,000千円。
		建物火災	12月9日 草木二本柳で住家1棟全焼。死者1名。
2007	平成19年	集中豪雨	9月16日から17日にかけて、秋田県北部を中心とする集中豪雨のため、鹿角市では降り始めからの総雨量が260mmに達し過去最高を観測。 鹿角市では避難勧告（377世帯1,175名）、避難指示（519世帯1,228名）。

2008	平成20年	林野火災 建物火災	住家被害は住家半壊3棟、一部損壊1棟。床上浸水は住家9棟、非住家1棟。床下浸水は住家72棟、非住家30棟。農業被害は水田の流失・埋没21.6ha、冠水156ha。畑の流失・埋没2.5ha、冠水3.5ha。その他に水道66戸、農地・農業用施設220箇所、道路40箇所、橋りょう2箇所、河川46箇所など合わせて農林水産業施設815,800千円、公共土木施設374,215千円、農産物等被害42,895千円となり、総額1,232,910千円の被害を出す。人的被害なし。 4月から5月にかけて林野火災が多発。特に4月5日は1日5件を記録する。 5月1日 八幡平谷内の製材工場で火災。製材工場、事務所、倉庫の3棟を全焼。損害額46,519千円。この火災で鹿角市消防団は28年ぶりとなる特命出動を発令。消防団員400名が出動する。
2009	平成21年	警 戒	4月5日 北朝鮮の飛翔体発射に係る特別警戒本部を設置。被害無し。
2010	平成22年	集中豪雨	7月29日から30日にかけて、秋田県北部を中心とする集中豪雨のため、鹿角市では降り始めからの総雨量は157mmに達する。 鹿角市では、住家被害が床上浸水1棟、床下浸水15棟、農地・農業用施設71箇所、道路37箇所、河川13箇所の被害を出す。人的被害なし。
2011	平成23年	雪 害	1月1日 前日からの大雪で鹿角市十和田地区で倒木2件、溢水4件、小坂町で溢水3件発生する。倒木による交通障害なし。溢水により冠水及び床上・床下浸水したが実害なし。
		建物火災	1月3日 末広上屋布で住家1棟全焼。死者2名、負傷者4名、り災世帯1世帯り災者7名。
		地 震	3月11日 東日本大震災発生。鹿角市では震度4、小坂町では震度3を記録する。鹿角市は全域が停電となったが、人的被害、倒壊等の被害はなし。小坂町は小坂製錬及び関連建物以外が停電となったが、人的被害倒壊等の被害はなし。
		集中豪雨	8月17日 秋田県全域に大雨による被害が発生。降り始めからの総雨量は鹿角市123.5mm、小坂町97.5mm。住家被害は鹿角市で床上浸水1棟、床下浸水2棟、人的被害なし。小坂町で鉄砲水による住家1棟一部破損。り災世帯1世帯、り災者5名、人的被害なし。
2012	平成24年	暴 風	4月4日 強い寒気の影響による暴風で各地に被害が発生。被害状況は、鹿角市で住家7棟、非住4棟、倒木7件、信号機1件、電線・電柱2件、消防標識1件。小坂町で住家1棟、倒木1件。人的被害なし。
		建物火災	4月19日 小坂町大稲坪で工場火災。クーリング棟及び物置小屋全焼。
		そ の 他	4月20日 八幡平クマ牧場で熊38頭の内、4頭が檻外へ脱走。飼育員2名が襲われ、2名とも社会死状態で発見される。脱走した熊4頭は、猟友会により駆除される。
		建物火災	5月10日 小坂町横道の町営住宅1棟全焼、1棟半焼。り災世帯1世帯、り災者3名。
		危険物漏洩	5月19日 小坂町大稲坪の工場より灯油12,000リットル流出。周囲への影響等なし。
		建物火災	8月6日 花輪級ノ木で住家1棟全焼。り災世帯1世帯、り災者2名。
		建物火災	10月17日 花輪寺坂で住家1棟全焼。
		建物火災	12月26日 尾去沢新山で市営住宅1棟部分焼。り災世帯3世帯、り災者4名。
2013	平成25年	暴 風	4月7日 発達中の低気圧による暴風で各地に被害が発生。被害状況は、鹿角市で住家2棟、非住12棟、倒木2件、人的被害なし。小坂町で倒木等被害なし。
		建物火災	5月10日 尾去沢上山で住家1棟全焼。り災世帯1世帯、り災者2名。
		車両火災	6月2日 十和田湖生田地内国道103号上で車両1台全焼。死者1名。
		建物火災	8月7日 八幡平谷内の木材加工工場で火災。木材加工工場1棟を全焼。
		集中豪雨	8月9日 秋田県北部を中心とする集中豪雨のため、鹿角市では、10時52分までの1時間に108.5mmを記録、土砂災害や浸水害が多数発生した。 鹿角市で避難勧告（1,150世帯2,707名）住家被害は鹿角市で住家3棟半壊

2014	平成26年	台風	非住家1棟全壊、床上浸水23棟、床下浸水187棟、人的被害なし。 小坂町で床上浸水1棟、床下浸水2棟、人的被害なし。 9月16日 台風18号による大雨により、鹿角市で避難勧告（316世帯860名） 避難指示（2,118世帯5,435名）、住家被害は鹿角市で床上浸水1棟、床下 浸水26棟、人的被害なし。小坂町で被害なし。
		建物火災	11月8日 花輪鶴田の自動車リサイクル工場火災。自動車リサイクル工 場1棟を半焼。負傷者1名。
		建物火災	12月14日 花輪西町で住家1棟全焼。り災世帯1世帯、り災者5名。
		建物火災	12月15日 大湯川原ノ湯で住家1棟全焼。り災世帯1世帯、死者1名。
		その他火災	6月17日 小坂町小坂杉沢地内にて工場火災発生。ベルトコンベアーを焼 損。
		水難事故	7月6日 花輪大川添地内米代川にて7歳男児が川に流され死亡。
2015	平成27年	水害	8月1日 東北地方の上空約6,000メートルに氷点下6度以下の寒気が入り込み、 南から暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が不安定となり、雷を伴 った激しい雨が降った。鹿角市各地で建物被害(住家床上浸水2棟、住家床 下浸水6棟、非住家浸水7棟)、道路橋梁被害(国道2箇所、市道5箇所、橋2 箇所)発生。捜索活動中であった警察官2名が熊に襲われる。死者1名、負傷者2名。 鹿角市で避難勧告（水沢、熊沢、永田自治会に対して 134世帯410人）。
		水害	8月15日 大雨により鹿角市各地で道路冠水3箇所、住家床下浸水1棟、用 水路溢水1箇所の被害が発生。
		雪害	12月26日 平年を大幅に超える積雪により、鹿角市において雪害連絡室が 設置され、消防本部においても消防本部雪害連絡室を設置する。
		建物火災	1月24日 小坂町上向子坂地内で住家1棟全焼。死者1名。
		交通事故	2月9日 東北自動車道上り597.6KP付近（鹿角市花輪字中柴内地内）にお いて、ホワイトアウト（吹雪による視程障害）による多重衝突事故が発生 する。車両35台が関係する交通事故で、軽症者4名の救急搬送を行う。
		雪害	2月10日 鹿角観測点において最大積雪深130cmを観測する。 2月16日 豪雪による人的被害（死者3名、重傷12名、軽傷1名）及び建物 被害（住家被害49件、非住家59件）が多数発生し対策を講ずるため、鹿角 市初となる、鹿角市雪害対策本部が改組設置される。（4月30日午後5時廃 止）。これに併せ、消防本部においても消防本部雪害対策本部を設置する。
2016	平成28年	林野火災	4月26日 鹿角市工業団地にて原野274a焼失。
		建物火災	12月27日 花輪寺坂地内で住家1棟全焼。負傷者1名。
		建物火災	4月6日 尾去沢獅子沢地内で建物火災が発生。平成20年秋以来となる特命 出場。工場2,240㎡、倉庫682㎡全焼、作業場1,558㎡半焼。
		その他災害	5月～6月 大湯熊取平及び田代平地内で山菜採り客が熊に襲われる被害が 発生し、4名死亡、負傷者2名が発生。
2017	平成29年	建物火災	6月17日 大湯根市地内で住家1棟、非住家1棟全焼。り災世帯1世帯、死者 1名。
		林野火災	5月31日 大湯熊取平地内で原野287a焼失。
		水害	7月22日 東北地方及び北陸地方付近に停滞する前線に向かって暖かく湿っ た空気が流れ込んだ影響で、前線の活動が活発になり、東北地方や北陸 地方を中心に大雨が降った。住家床下浸水11件、非住家床下浸水3件、道路 関係35件、農作物関係60件の被害が発生。八幡平及び十和田地区で延べ15 世帯、53人が避難。
2018	平成30年	建物火災	9月3日 大湯戸倉地内で住家1棟全焼。負傷者2名。
		建物火災	5月3日 大湯権現堂地内で住家兼工場など4棟全焼、4棟部分焼、り災世帯4 世帯。
2019	平成31年 令和元年	建物火災	1月16日 八幡平湯瀬地内で住宅1棟、非住家1棟全焼、住宅2棟部分焼。死 者1名。
		建物火災	12月4日 尾去沢下モ平地内で住宅1棟全焼、負傷者1名。

2020	令和2年	林野火災 落石事故	6月3日 夜明島林道沿いで2件の連続火災発生。林野66.13a焼失。 9月24日 八幡平大場谷地地内から茶釜の滝へ向かう途中、観光客1名が落石に遭い頭部を負傷する救助事案が発生。
2022	令和4年	建物火災 集中豪雨	1月15日 十和田岡田大道で住家1棟全焼。り災世帯1世帯、死者1名。 8月13日 8月2日から秋田県北部で断続的な雨による被害が発生。降り始めからの雨量が鹿角市で417.0mm、小坂町で377.0mmを記録する。床下浸水1件、土砂崩れ1件。
2023	令和5年	建物火災 建物火災 建物火災	9月12日 小坂町小坂小又で住家1棟、小屋1棟全焼、車庫1棟部分焼。り災世帯1世帯、死者1名。 9月30日 小坂町小坂砂森「小坂町交流センターセパーム」で放火事案が発生。建物の一部と収容物が焼損。 12月5日 十和田山根熊坂で住家1棟全焼、小屋1棟部分焼。り災世帯1世帯、死者2名。
2024	令和6年	建物火災 建物火災 その他災害	3月10日 十和田山根長畑で住家1棟部分焼。り災世帯1世帯、死者1名。 3月13日 小坂町小坂鉾山古川で住家2棟全焼、住家3棟部分焼。死者1名。 5月15日～18日 大湯大平地内で山菜採り客1名が熊に襲われる。捜索活動中であつた警察官2名が熊に襲われる。死者1名、負傷者2名。
2025	令和7年	建物火災 建物火災	5月26日 十和田毛馬内嶋ノ越で住家1棟全焼。り災世帯1世帯、死者2名。 9月21日 十和田毛馬内毛馬内で住家1棟部分焼。り災世帯1世帯、死者1名。
2026	令和8年	その他災害 雪害 建物火災	5月～11月の間にクマ外傷による救急搬送件数8件、搬送人員9人となった。 2月2日 鹿角観測点においてこれまでの最大積雪深を更新し、146cmを観測する。 2月25日 尾去沢新山で市営住宅1棟部分焼。り災世帯2世帯、死者1名。

---

編集・発行

## 鹿角広域行政組合消防本部

〒018-5201

秋田県鹿角市花輪字向畑100番地2

TEL 0186-23-5601(代表)

FAX 0186-23-5605(消防本部)

FAX 0186-23-5603(消防署)

E-MAIL [info@fdkazuno.jp](mailto:info@fdkazuno.jp)

ホームページアドレス

<https://www.fdkazuno.jp>

---